

令和6年度福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議

日時：令和6年8月28日（水） 午後3時

場所：福岡市総合図書館3階 第1会議室

< 次 第 >

1 開 会

2 議題 新ビジョン事業計画の令和5年度点検評価について

- (1) 令和5年度新ビジョン事業計画の取組状況及び内部評価について
- (2) 令和5年度新ビジョン事業計画の外部評価の提出について

【別添資料】

- ・福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議 委員名簿
- ・新ビジョン事業計画一覧表
- ・【様式1】令和5年度福岡市総合図書館運営に関する評価調書（事業別）
- ・【様式2】令和5年度福岡市総合図書館運営に関する評価調書（総括）
- ・福岡市総合図書館新ビジョン
- ・福岡市総合図書館新ビジョン事業計画及び成果指標
- ・利用者アンケート調査報告書
- ・図書館要覧（抜粋）
- ・令和4年度評価調書

福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議委員名簿

(五十音順)

	所属等
上村 篤子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (社会教育関係)
岡本 洋幸	公益財団法人九州経済調査協会 BIZCOLI館長
白川 義人	福岡市総合図書館運営審議会委員 (家庭教育関係)
白根 恵子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (学識経験者)
田中 優	福岡市総合図書館運営審議会委員 (本市の住民)

○新ビジョン事業計画一覧表

	図書館像	項目		内容	R5年度 内部評価	(参考) R4年度 内部評価
1	誰もが楽しめる 魅力ある図書館	図書資料の貸出・ 返却拠点の新設	1	分館の新設	A	A
2			2	貸出・返却拠点等の新設	B	B
3		利用時間の見直し	3	休館日、開館時間の見直し	B	B
4		図書館イベントの充実	4	図書館イベントの充実	A	B
5		快適な空間づくり	5	快適な空間づくり	A	A
6	さまざまな情報を求める 市民に応える図書館	図書館サービスの充実	6	資料収集の充実	B	A
7			7	レファレンス(相談)サービスの充実	B	A
8			8	課題解決型支援の充実	A	A
9		地域読書活動への支援	9	団体貸出先の拡大	B	B
10			10	地域読書活動への支援	B	A
11		市関連施設の図書室の 相互協力	11	市施設の図書室との相互協力	B	B
12	子どもと本をつないで 豊かな心を育む図書館	子どもへの読書普及	12	モデル児童図書目録の配布	A	A
13			13	子どもの貸出カード作成推進	B	B
14			14	ヤングアダルト層(12歳~18歳)への働きかけの強化	A	B
15			15	読書活動ボランティア講座の強化	A	A
16		学校図書館への支援	16	学校図書館支援センターの充実	A	A
17	総合図書館の特色を 生かした図書館	映像資料部門の充実	17	図書館外施設での映像資料上映事業	A	A
18			18	資料展示事業	A	B
19		文書資料部門の充実	19	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実	A	B
20			20	文学館の利用拡大	B	B
21	効率的で効果的な 図書館運営	図書館運営の強化	21	運営方法の検討	A	A
22			22	図書館ボランティアとの共働きの推進	B	B
23			23	職員の育成及び技術向上	B	B
24			24	施設の有効活用などによる財源確保	B	B
25		情報発信の推進	25	情報発信の推進	A	A

A 13 12

B 12 13

C 0 0

D 0 0

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判定	評価内容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	分館の新設				
事業計画	早良南地域交流センターの2021年11月の開館に合わせて分館開館準備に取り組みます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	【早良南図書館】 開館準備			◇開館	
令和5年度					
計画	円滑な分館運営を行うことで、利用者満足度の高い図書館運営を目指す。 新たな市民センター等の建替改修等がある場合は、魅力のある分館づくりに努める。				
取組状況	<p>早良南図書館については、指定管理者による地域交流センターとの連携や地域への図書館利用促進等に積極的に取り組むなど、地域に密着した管理運営を行っており、利用者アンケート調査では、窓口サービス(あいさつ、接遇など)や総合評価について満足度が100%と評価が高く、高い目標値の入館者数と個人貸出利用者数は達成はならなかったものの、個人登録者数や個人貸出冊数は目標値を超えるなど、円滑な分館運営を行っている。(個人登録者数:目標値4,000人→実績5,706人、個人貸出冊数:目標値350,000冊→実績358,021冊)</p> <p>令和5年9月議会において、博多、中央、城南、早良、西の各市民センターについては、施設の劣化度合いや施設を取り巻く状況などを踏まえ、中央から1館ずつ順次改修していくこととされた。12月議会で中央市民センターの大規模改修について基本的な計画が示され、改修に向けて関係局との協議を行った。</p> <p>また、令和6年2月議会において、「南区における拠点施設の基本的考え方」が報告され、西南部地域に「地域交流センター」を新たに整備し、「図書館」「ホール・会議室等」などの機能配置について、具体的な検討を進めることとされており、議会報告にあたってはそれぞれの関係局と報告内容の調整を行った。</p>				
令和6年度					
計画	<p>新たに整備が検討されている南区地域交流センター(仮称)の基本構想の策定に併せて、設置が想定される分館の運営方針やコンセプト等の検討を行う。</p> <p>また、令和7年度中頃に予定されている中央市民センターの大規模改修に併せて、中央図書館の書架配置の見直しなど、より良い分館づくりに取り組む。</p>				
内部評価 (令和5年度)					
<p>早良南図書館は開館してから2年以上経ち、運営が安定しているとともに、利用者の満足度も高く、着実に実績を上げている。</p> <p>関係局と調整しながら、新たな分館や中央図書館の改修に向けた検討が開始されたことから、A評価とする。</p>					A
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

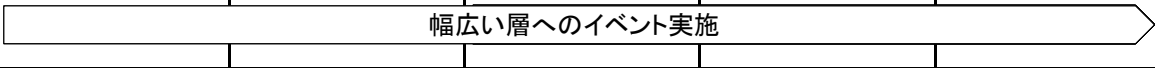
令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	貸出・返却拠点等の新設				
事業計画	利用者の利便性の向上を考慮し、交通の便の良い公共施設等における図書の貸出・返却拠点の設置を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	検討、協議				
			◇設置		
令和5年度					
計画	引き続き、既設の貸出・返却拠点等の維持に努めるとともに、市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との協議を進める。				
取組状況	令和5年2月に、返却拠点の1つであった西新駅構内のハートフルショップmomoが閉店したことに伴い、同施設での図書返却サービスが終了したが、令和5年8月に、西新駅お客様サービスセンター内に返却ポストを新たに設置した。 貸出・返却拠点の設置について、貸出拠点が目標15地点に対し、現在14地点、返却拠点が目標27地点に対し、現在26地点のため、関係部署、関連民間企業等と新たな拠点になりうる場所の協議・検討を継続した。				
令和6年度					
計画	既設の貸出・返却拠点等の維持に努めるとともに、市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との実現に向けた協議を進める。				
内部評価 (令和5年度)					
廃止になった地下鉄西新駅構内の図書返却拠点の代替として、関係部署との調整と返却ポストの準備に一定の時間を要したが、同駅構内に返却ポストを設置することができた。新たな拠点の設置については協議を進めたが、具体化には至らなかったことから、B評価とする。					B
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	利用時間の見直し		
内容	休館日、開館時間の見直し				
事業計画	図書館分館ごとの市民ニーズ等に基づき、休館日と開館時間の見直しを検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	【休館日】 検討	段階的に実施			
	【開館時間】 検討	段階的に実施			
	令和5年度				
計画	引き続き、利用者アンケートの結果、東図書館、早良南図書館での実施状況、成果を検証し、継続的に検討を行う。				
取組状況	<p>東図書館と早良南図書館は他の分館よりも休館日を少なく、開館時間を長くしており、利用者アンケートでは満足度は高い。</p> <p>2館での図書館別時間帯別入館者を分析すると、令和5年度の全時間帯に占める割合は、東図書館では19時台6.4%、19時台3.7%、早良南図書館では18時台5.0%、19時台2.8%であり、他の時間帯と比較すると大幅に少ない。また、夜間の入館者数は、日の長い春夏には多く、日が短い秋冬は少なく、また比較的金土曜日が多く、火水木曜日が少ない傾向が見られた。</p> <p>令和6年度の市民を対象としたアンケートの実施に向けて、他都市の実施状況を確認するなど検討を行った。</p>				
令和6年度					
計画	無作為抽出された多数の市民を対象とした「市政に関する意識調査」のテーマの一つとして、図書館に係る幅広い意見を問い、利用していない、利用が少ない層の利用促進に向けた分析を行う。				
内部評価 (令和5年度)					
4年度に実施した市政アンケートは全市での調整を要し数年に一度しか実施は難しく、普段利用していない市民の意見を聞くことはできなかった。利用状況等の分析を行うとともに、6年度のアンケート実施に向け検討を行った。以上のことから、B評価とする。				B	
外部評価 (令和5年度)					
				A : B : C : D :	

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書館イベントの充実		
内容	図書館イベントの充実				
事業計画	<p>子ども向けのおはなし会や体験講座、大人向けの講座など、幅広い層に向けて多様なイベントを実施し、これまで図書館を利用していなかった層への訴求や、参加者の満足度の向上を目指し、引き続き、読書の普及や図書館の活用促進を図ります。</p> <p>また、市の関連部署と連携したイベント、総合図書館の映像資料部門や文書資料部門、各分館との連携による企画を実施していきます。</p>				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
					
令和5年度					
計画	<p>新型コロナウイルス感染症の状況や対策に十分に配慮しながらも、総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「絵本月間」、「こどもの読書週間」、「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを企画・実施する。</p>				
取組状況	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、概ね予定していたイベントの開催ができた。「図書館マンス」の「カラフル図書館」をはじめ、「こどもの読書週間」でのイベント、おはなし会の開催、SDGs関連本展示や起業・経営相談会、がん情報講演会など課題解決型支援を行った。</p> <p>コロナを契機に開始した、こども図書館講座のYouTubeでの動画配信では、新たに1本を作成し、楽しく図書館利用を学べるようにした。</p> <p>12月の絵本月間では、各館において、さまざまな「おはなし会」、絵本づくり、工作、絵本展示などを行い、読書行事には合計2,148名の参加があった。</p> <p>その他、中学生・高校生を対象としたSDGsに関するワークショップでは、社会的課題を題材に、グローバルな活動を行っている大学生とともに解決策を検討した。高等学校ビブリオバトル福岡県大会では16校が参加して「読みたくなる本」の知的書評合戦が行われ、会場が熱気に包まれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書行事等イベント 総合図書館、分館 1,041回 19,136人(R4 778回、14,268人) ・展示 総合図書館 138回 (R4 130回) 				
令和6年度					
計画	<p>総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を毎年10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「絵本月間」、「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを企画・実施する。</p>				
内部評価 (令和5年度)					
<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、おはなし会を始めとしたイベントの開催回数、参加者とも大幅に前年度を上回る結果となり、読書活動の促進に取り組むことができたことから、A評価とする。</p>					A
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	快適な空間づくり		
内容	快適な空間づくり				
事業計画	<p>やすらぎや交流の場といった、初めての来館者も過ごしやすい環境の創出など、大幅な館内レイアウトの変更について、施設設備の大規模更新による休館(6カ月程度)にあわせて行うこととし、長期保全計画に基づく設備更新を計画的に推進します。</p>				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
令和5年度					
計画	<p>引き続き、計画的に設備更新工事を行う。 令和6年度に実施する、休館を伴う全館空調設備更新工事に向けた実施設計を行い、休館が必要な範囲・期間、工事期間中の運営体制等について検討を行う。</p>				
取組状況	<p>長期保全計画に基づき、レストランホール空調設備更新工事を行うとともに、令和6年度的全館空調設備更新工事の実施設計を行った。課題であったビデオライブラリーコーナーの活用とこども図書館の閲覧スペースの拡充など館内レイアウト変更の検討を行い、関係部署との協議により6年度に改修を行う予算の確保ができた。</p>				
令和6年度					
計画	<p>全館空調設備更新工事及び駐車場整備工事を図書館運営への影響を最低限に抑えながら実施する。 また、こども図書館及びビデオライブラリーのレイアウト変更を実施する。</p>				
内部評価 (令和5年度)					
<p>全館空調設備更新工事の実施設計において、工事範囲や、施工方法を工夫することで、図書館運営への影響を最低限に抑える工事計画を策定することができた。 また、総合図書館において、竣工から35年頃を目途に行われる大規模改修前の、館内レイアウト変更の実現に向けて一定の筋道を立てることができたため、A評価とする。</p>					A
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	資料収集の充実				
事業計画	公共図書館としての役割を発揮するため、前期で見直した図書資料の収集方針に沿って資料収集を行い、市民ニーズに応えるよう努めます。 また、電子書籍の取り扱いについて、業界や他都市の動向を踏まえて、検討を継続していきます。さらに、収集した資料を幅広く活用できる方策を検討していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	資料収集方針に沿った資料収集				
令和5年度					
計画	市民ニーズを測りながら、総合図書館及び分館の収集方針に沿って幅広く資料収集を行う。また、電子図書館の選書も本館・分館で分担して行い、バラエティに富んだコンテンツの充実に努める。				
取組状況	公共図書館として市民の教育、学術、文化の発展に寄与するため、総合図書館及び分館の収集方針に沿って幅広く資料収集を行うとともに、市民ニーズと蔵書のバランスを図りながら、リクエストへの対応や予約待ち人数が多い図書の複本購入等を実施した。 電子図書館については、特集テーマを担当する館の読書相談員が工夫しながら選書を行い、幅広い市民ニーズに応えるコンテンツの収集を行った。 ・コンテンツ数：令和5年度末 11,737点（令和4年度末 10,852点）				
令和6年度					
計画	総合図書館及び分館の収集方針に沿って、市民ニーズを捉えながら幅広く資料収集を行っていく。電子図書館については、読み放題の児童向けコンテンツの期間限定導入など、利用者ニーズを踏まえたコンテンツの充実に努める。				

内部評価（令和5年度）

限られた予算の中で総合図書館及び分館の資料収集に努め、予約待ち人数が多く市民ニーズが高い図書の複本購入等も実施した。また、電子図書館については幅広い市民ニーズに応えるべく選書を行い、コンテンツ数を増やした。しかしながら、十分な予算の確保が難しく、選書は工夫しているものの、資料収集の充実には不足している面があることからB評価とする。	B
--	---

外部評価（令和5年度）

	A : B : C : D :
--	--------------------------

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	レファレンス(相談)サービスの充実				
事業計画	窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施するとともに、レファレンス情報のホームページでの提供を進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	レファレンスサービスの実施				
	令和5年度				
計画	HPにおけるレファレンス事例の周知を図るとともに、窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスの利用促進をより一層図っていく。				
取組状況	<p>窓口、電話、電子メール、文書によるレファレンスを実施し、総合図書館や分館において、情報を求める利用者に対し調査の手伝いを行った。</p> <p>・総合図書館 主題別部門及び文書資料部門のレファレンス件数 24,798件(R4 25,491件)</p> <p>利用者が来館しなくてもサービスが利用できるよう、当館のHP上で国立国会図書館のレファレンス協同データベースを活用し、当館取り扱い事例117件の紹介に加え、より幅広いレファレンス事例について参照可能としている。</p> <p>また、蔵書検索システム「OPAC」内の「テーマ資料」では、随時情報を更新しており、特集展示関連の図書や中高生向けのお薦めの図書などを紹介した。</p>				
	令和6年度				
計画	窓口、電話、電子メール、文書によるレファレンスの利用促進を図るとともに、HPへのレファレンス事例の掲載について周知を行っていく。				

内部評価 (令和5年度)

レファレンス件数は減少したものの、様々な手法での問い合わせに対応しており、また、国のデータベース上で積極的に当館のレファレンス事例を紹介していることから、B評価とする。	B
--	---

外部評価 (令和5年度)

	A : B : C : D :
--	--------------------------

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	課題解決型支援の充実				
事業計画	ビジネスや医療、子育て支援などの課題解決に対して、関係部局及び国・県等と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示や講演会、相談会等を行っていきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	医療・ビジネス・子育て支援等の情報提供				
令和5年度					
計画	医療、ビジネス、行政、国などの課題解決支援として、市の関係部局・機関および外部の機関等と連携して展示を行うなど、図書館資料を活用した情報提供や関連事業を実施する。				
取組状況	<p>ビジネス支援として、創業に関するセミナーを開催したほか、定期的に中小企業診断士による起業・経営相談会を開催し、前年度より相談件数が増加した。</p> <p>医療支援として、総合図書館、分館で九州がんセンターや済生会福岡総合病院から医師等を講師として招き、講演会を実施した。健康関連の企画展示を行うとともに、蔵書検索システム「OPAC」内の「テーマ資料」でがん情報に関する本を紹介している。</p> <p>また、児童虐待防止、選挙、認知症、相続と遺言、税などをテーマとして、市の関係部署や福岡法務局、福岡国税局と連携して、ロビーなどでのパネル掲示や、図書の展示を行った。加えて、国連寄託図書館の独自企画としてSDGsに関する展示を行った。</p> <p>令和3年3月から開始した電子図書館では、課題解決にも繋がるよう、多様な切り口からの特集で本の紹介を積極的に行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業・経営相談会 本館71回 相談30件、分館 60回 相談22件 ・創業セミナー 分館4回 参加 65人 ・医療に関する講演会 本館1回 参加21人、分館3回 参加79人 				
令和6年度					
計画	効果的に、行政情報、医療関連情報などの提供やビジネス支援を行うため、関係機関と連携し課題解決支援の充実を図る。				
内部評価 (令和5年度)					
<p>起業・経営相談会の開催回数と相談件数が増加し、がん講演会を医療機関と協力して実施、行政支援においては関係機関と連携して図書展示などに取り組んだ。</p> <p>また、電子図書館を活用して課題解決に資する書籍を紹介するなど、積極的に取り組んだことからA評価とする。</p>					A
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	団体貸出先の拡大				
事業計画	地域の読書活動の拠点である地域文庫や学校、高齢者福祉施設等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	団体貸出先の拡大				
令和5年度					
計画	令和5年度は460団体の登録を目標に、地域での貸出機会の拡大を目指し、公民館の登録数の増加に向けた取り組みを一層進める。				
取組状況	読書活動ボランティア講座等の催事機会や公民館に団体貸出制度の案内を行うなどの取り組みを行い、団体貸出の登録団体は令和5年度末時点で470団体となり、令和4年度に比較して16団体増加した。このうち、公民館の登録は78館で3館増加し登録率53%、放課後児童クラブの登録は132か所で2か所増加し登録率94%となっている。 なお、登録団体に対し、新着本の紹介等を行い、貸出図書の利用の促進に努めた。				
令和6年度					
計画	配本件数の増加に対応できるよう効率的な配本を行い、未登録の公民館や放課後児童クラブ及び地域文庫、高齢者施設等への団体貸出先の拡大を図るとともに、市民局と連携して公民館へのサービス周知を図る。				

内部評価 (令和5年度)

令和5年度目標の460団体登録を達成できたが、公民館は3館増で登録率は53%に留まったため、B評価とする。	B
---	---

外部評価 (令和5年度)

	A : B : C : D :
--	--------------------------

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	地域読書活動への支援				
事業計画	地域において読書活動を行っている団体の活動状況を調査してニーズを把握するとともに、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言や支援等を行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	地域読書活動への支援				
令和5年度					
計画	地域における読書ボランティアの活動の支援及び公民館における子どもの読書活動の推進に重点的に取り組むため、スタンダード文庫の地域住民への周知や公民館の運営を支援する部署と連携した公民館の団体貸出登録の促進に努める。				
取組状況	<p>希望する公民館に講師を派遣し、スタンダード文庫を活用した親子対象の読み聞かせ講座を実施することで、スタンダード文庫の周知を図った。</p> <p>・読み聞かせ講座 24館、484人参加 (R4 24館、347人参加)</p> <p>地域文庫の活動拠点や活動状況等を紹介した「地域文庫マップ」や、定期情報紙「子どもと本の日通信」・「学校図書館支援センターだより」を配布するとともに、公民館の運営を支援する部署と連携し、団体貸出における公民館の登録数を令和4年度と比較し3団体増やし78団体とした。</p>				
令和6年度					
計画	地域文庫及びボランティア希望者と、公民館等をつなぐ取り組みとしての地域文庫マップの配布を行うなど、ボランティアの活動を支援するとともに、各公民館と連携し、スタンダード文庫の一層の活用を図る。				
内部評価 (令和5年度)					
スタンダード文庫読み聞かせ講座を活用したスタンダード文庫の周知に努め、講座参加者は4割増加した。文庫間交流の支援を進めるとともに、公民館の団体登録勧奨に努めたが、公民館の登録率は53%に留まったため、B評価とする。					B
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力		
内容	市関連施設の図書室の相互協力				
事業計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を実施するとともに、今後とも市関連施設との連携について検討していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	相互協力の実施				
令和5年度					
計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザ各図書室との相互協力を継続するとともに、議員や職員、市民への周知を図る。				
取組状況	<p>市議会議員及び行政職員の調査研究支援のため、議会図書室を通じて図書資料の貸し出しを実施したが、利用は58件に留まった。</p> <p>福岡市科学館のサイエンスナビ(図書室)において、図書資料の貸出・返却の実施を継続するとともに、HPでの図書貸出・返却サービスの利用日の周知の改善を図った。</p> <p>・科学館での予約貸出冊数 51,913冊(R4 48,823冊)</p> <p>ふくふくプラザでは、相互の図書資料の返却の実施を継続した。</p> <p>各施設においては、相互に利用周知を図った。</p>				
令和6年度					
計画	議会図書室や福岡市科学館、ふくふくプラザ各図書室との相互協力をを行い、利用者サービスの向上を図る。				

内部評価 (令和5年度)	
それぞれの市関連施設との相互協力での連携が継続実施できており、周知も行っているが、利用実績が十分とは言えないため、B評価とする。	B

外部評価 (令和5年度)	
	A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	モデル児童図書リストの配布			
事業計画	子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	令和5年度 (令和7年度迄継続)			
	作成・配布			
令和5年度				
計画	令和5年度版のモデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園、小学校、公民館等)へ配付するとともに、「司書が選ぶ100冊の絵本」に掲載されている図書と併せて、こども図書館での常設展示や12月の絵本月間期間中の集中広報などを行い貸出を促進する。			
取組状況	<p>モデル児童図書リストに掲載した図書の企画展示を行うとともに、モデル児童図書リスト(前年の受入図書の中から選定した本)を配付(約2,800部)し、カウンターでのレファレンスのツールとしても有効に活用した。</p> <p>また、令和3年度作成の「司書が選ぶ100冊の絵本」及び従来のモデル児童図書目録(S62年～H27年作成)に掲載された図書を常設で展示し、貸出を行った。</p> <p>[参考]令和4年度モデル児童図書リスト掲載図書の、年間1冊当たりの貸出回数の平均 ・幼児用133回 ・小学1・2年用100回 ・小学3・4年用62回 ・小学5・6年用28回</p>			
令和6年度				
計画	<p>令和6年度版のモデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園、小学校、公民館等)へ配付するとともに、「司書が選ぶ100冊の絵本」に掲載されている図書と併せて、こども図書館での常設展示や1階本の森での企画展示、12月の絵本月間期間中の各館での広報などを行い貸出を促進する。</p> <p>また、保護者(予定含む)等を対象に、司書が選んだ本などを基に、本の読み聞かせや本の選び方など、すぐに実践できる体験的な講座を実施し、子どもの読書活動推進の取り組みを推進する。</p>			

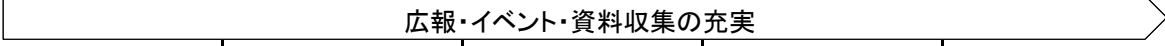
内部評価 (令和5年度)	
モデル児童図書リストの配付、モデル児童図書の展示や企画展示、紹介等を計画通り行い、掲載図書の貸出を促進することができたことから、A評価とする。	A

外部評価 (令和5年度)	
	A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	子どもの貸出カード作成推進				
事業計画	図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの作成を推進することにより、読書の普及等を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	検討, 協議	実施			
令和5年度					
計画	図書館催事や講座、団体貸出、学校訪問等の機会を捉え、図書館の貸出カードの作成を促す声かけに努める。特に、小学生読書リーダー養成講座は「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した各小学校での実施により受講者数の増加が期待でき、その際に併せて貸出カードの作成案内を行う。				
取組状況	小学生の図書館見学や、各小学校に実施を依頼している動画等の資料による「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した、小学生読書リーダー養成講座(42校634名が参加)等において、貸出カードの作成案内を行った。また、学校図書館支援センターによる学校図書館訪問時に、図書館の利用案内とともに貸出カードの作成案内を行った。 ・令和5年度個人登録者数 児童・生徒 62,011人 (R4 59,977人)				
令和6年度					
計画	図書館催事や講座、団体貸出、学校訪問等の機会を捉え、図書館の貸出カードの作成を促す声かけに努める。特に、各館で来館増が期待される小学生の図書館見学や、各小学校に動画での実施を依頼する小学生読書リーダー養成講座において貸出カードの作成勧奨を行う。				
内部評価 (令和5年度)					
小学生の図書館見学や小学生読書リーダー養成講座の小学校での実施などの機会を捉えて、貸出カードの作成案内に努めたことからB評価とする。					B
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化			
事業計画	広報やイベントを充実させるとともに、中高生に訴求する資料収集を進めます。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	令和5年度 (令和7年度迄継続)			
				
令和5年度				
計画	ヤングアダルト向けに電子図書館等を活用して図書の紹介を行うとともに、ヤングアダルト層を対象とするイベントを実施し、図書館の利用促進につなげる。			
取組状況	<p>電子図書館を活用し、ヤングアダルト向けの特集を組みコンテンツを提供するとともに、HPのテーマ資料においてもヤングアダルトのカテゴリで図書を紹介した。また、ヤングアダルト向けの図書の収集や、お薦め本のリストの配付など従来の方法も並行して行った。</p> <p>高等学校ビブリオバトル福岡県大会には昨年度より2校多い16校が参加し、お薦め本の知的書評合戦を繰り広げ、会場が熱気に包まれた。</p> <p>さらに、中学生・高校生を対象としたSDGsに関するワークショップでは、社会的課題を題材に、グローバルな活動を行っている大学生とともに解決策を検討した。</p>			
令和6年度				
計画	ヤングアダルト層を対象とするイベントの実施や、電子図書館やHPを活用してヤングアダルト向けの図書を紹介することで、図書館の利用促進につなげて行く。			

内部評価 (令和5年度)

電子図書館でヤングアダルト向けの特集を組んだ他、折々で電子図書及び図書の収集を進め、さらに多様な方法でヤングアダルト向けの図書利用促進に取り組んでいるため、A評価とする。	A
---	---

外部評価 (令和5年度)

	A : B : C : D :
--	--------------------------

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	読書活動ボランティア講座の強化				
事業計画	読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	読み聞かせ講座の実施				
	ストーリーテリング講座・おさらい会の実施				
令和5年度					
計画	令和5年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコース、2月にスキルアップコース(新設)を実施する。 講座受講修了者には、地域文庫MAPを配布し、地域活動への参加につなげる。				
取組状況	令和5年5月～6月に絵本の読み聞かせコース(定員40名、受講者40名)、9月～11月にストーリーテリングコース(定員40名、受講者33名)、2月にスキルアップコース(定員40名、受講者15名)を実施した。講座受講者には、福岡市内で活動している文庫団体の活動拠点及び活動状況を掲載した地域文庫MAPを配布し情報提供を行った。				
令和6年度					
計画	令和6年5月～6月に、絵本の読み聞かせコース(定員60名)を実施する。 講座受講修了者には、地域文庫MAPを配布し、地域活動への参加につなげる。				

内部評価 (令和5年度)	
講座の各コース「絵本の読み聞かせコース、ストーリーテリングコース、スキルアップコース」を計画どおり実施し、講座受講修了者には、地域文庫MAPを配布することで、地域での活動に繋がるよう支援を行っていることから、A評価とする。	A

外部評価 (令和5年度)	
	A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	学校図書館への支援		
内容	学校図書館支援センターの充実				
事業計画	<p>前期での成果を踏まえ、総合図書館内に設置した学校図書館支援センターにおいて、市立小・中・特別支援学校の学校図書館への人的・物的支援を行い、学校司書の活動をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 ・学習支援用図書の貸出、学校司書への支援 				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	公共図書館司書の専門性を生かした学校図書館への支援				
	学習支援図書の貸出				
	学校図書館の活用・運営に係る情報収集と提供				
令和5年度					
計画	<p>学校現場の意向、要望に沿った支援及び定期的な支援をすすめると共に、学校司書未配置校の支援、新任司書への研修支援、新設校の計画段階からの助言、読書に困難がある児童・生徒のための資料の貸出を進めるなど事業の充実を図る。</p>				
取組状況	<p>令和5年度は95回の学校訪問を実施するとともに、88件のメール等相談に対応した。小学生用の学習支援用図書貸出については、59校から151回の利用があり5,256冊の貸出を行った。中学生用の学習支援用図書貸出については、3校から6回の利用があり、89冊の貸出を行った。また、令和6年4月新設校の初期購入図書の選書及び図書館内レイアウトの作成等を行った。</p> <p>学校司書の新規採用者研修及び全体研修会に講師として参加し、講義及び支援内容の説明等を行った。</p> <p>市内小学校5・6年生を対象に「小学生読書リーダー」に認定する「小学生読書リーダー養成講座」について、学校と連携し「福岡TSUNAGARU Cloud」により動画等の資料を配信し、42校で実施があり、受講者634名全員を認定した。</p> <p>特別支援学校については、おはなし会やブックトークの実演、選書や配架の工夫など、具体的な支援を行った。また、特別支援学校高等部の卒業生を対象に図書館利用案内を作成し配付した。</p> <p>マルチメディアDAISYは、点字絵本やLLブック等も含め「たつちるつくセット」として小学校1校に貸出を行った。</p>				
令和6年度					
計画	<p>学校現場の意向、要望に沿った支援及び定期的な支援をすすめると共に、学校司書未配置校の支援、新任司書への研修支援、令和7年4月予定の新設校の計画段階からの助言、読書に困難がある児童・生徒のための資料の貸出を進めるなど事業の充実を図る。</p>				
内部評価 (令和5年度)					
<p>小中学校への支援は、学校訪問及びメール等の相談により、学校司書及び学校図書館関係者に具体的な支援を実施するとともに、訪問や研修会等の機会を活かして、学習支援用図書の貸出利用の促進に努めた。特別支援学校向け支援についても、特に令和5年4月開設校の状況に配慮しながら、各校の状況に応じた支援に努めたことから、A評価とする。</p>					A
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の充実		
内容	図書館外施設での映像資料上映事業				
事業計画	収集した映像資料についてさまざまな手法を用いて市民等に提供することで、効果的な図書館の映画保存事業のアピールを行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	手法検討	上映事業の実施			
令和5年度					
計画	これまで希望がなかった博多区、城南区も含め全ての区の公民館29館で上映会を開催する。上映会に活用する作品を2作品程度選定し、ブルーレイディスク制作を行い、上映可能作品を増やしていく。				
取組状況	年度当初までに申し込みがあっていた29館の公民館と、上映会の実施に向けた打合せ等を行い、計画的に事業を実施した。また、追加での申し込みもあり、令和5年度は、34館で、のべ35回の上映会を開催し、のべ715人の市民の参加があった。 また、アジア映画のブルーレイディスクを2作品制作し、上映会に活用できる作品を12作品とするなど、事業の充実に努めた。				
令和6年度					
計画	令和6年2月に行った希望調査に基づき作成した実施計画に基づき、公民館23館で上映会を開催する。上映会に活用する作品を2作品程度選定し、著作権者と交渉のうえ、ブルーレイディスク制作を行い、上映可能作品を増やしていく。				
内部評価 (令和5年度)					
<p>広報を継続し年度途中の申し込みも積極的に受け入れた結果、当初計画より5館増、令和4年度の2倍の34館の公民館で上映会を開催することができ、より多くの市民にアジア映画に触れる機会を提供することができた。</p> <p>著作権者との交渉を進めるとともに、映像事業に関する助成金などの活用を図り、新たに2作品ブルーレイディスクを制作し、上映可能作品のラインナップを増やすことができた。</p> <p>観覧者のアンケートでは、65歳以上の方が多数で、総合図書館のシネラは行ったことがないと回答された方が遠方の公民館では特に多く、身近な公民館で見れてよかったという意見もあり、シネラの利用が難しい方々に楽しんでいただけたことが伺える。</p> <p>以上のことからA評価とする。</p>					A
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の充実		
内容	資料展示事業				
事業計画	展示事業をシネラの広報に限定せず、アジア映画のポスター展を中心に多様な展示を計画し、映像文化の普及・振興、市民サービスの促進を行います。場所はビデオライブラリーを使った展示空間の新設を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	多様な資料の展示				
	展示エリアの検討		展示エリアの整備		
令和5年度					
計画	<p>上映企画に合わせたショーケース展示として、「安住の地を求めて」(4月)、「映画の中の食卓」(5月)のポスター展示を実施する。また、シネラエントランスでの上映企画に合わせたポスター展示を毎月実施していく。</p> <p>新たな展示エリアの検討に関して、設備改修との調整を進めていく。</p>				
取組状況	<p>ショーケース展示については、「安住の地を求めて」(4月)、「映画の中の食卓」(5月)のポスター展示を実施するとともに、シネラエントランスでの上映企画に合わせたポスター展示を毎月実施した。</p> <p>新たな展示エリアについては、設備改修との調整協議を行い、令和6年度の改修予算を確保した。</p>				
令和6年度					
計画	<p>ショーケース展示については、西側ショーケースを概ね年間を通して使用し、毎月の上映企画に合わせた展示を行っていく。</p> <p>新たな展示エリアについては、地域の映像資料や映像以外のポスターなど紙資料を含めた展示ができるよう、ビデオライブラリーコーナーのレイアウト変更を行い、展示コーナーを新設する。</p>				
内部評価 (令和5年度)					
<p>上映企画に合わせたショーケース展示については、予定どおり展示ができた。また、シネラエントランスでの上映企画に合わせたポスター展示も毎月実施し、上映作品のPRができた。</p> <p>展示空間の新設については、予算確保ができ、6年度新設に向けて目途がたった。</p> <p>以上のことから、A評価とする。</p>					A
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の充実		
内容	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実				
事業計画	文書資料(歴史的公文書・行政資料・古文書資料・郷土資料)のデジタルデータ化・活用を進めるとともに、文学情報提供システムを拡張することにより、文書資料の情報提供システムを構築し、文書資料への理解と利用の促進を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	デジタルデータ化・活用の推進				
	デジタルデータの作成・蓄積, ホームページ掲載・展示・市民提供等				
	文書資料情報提供システムの構築(文学情報提供システムの拡張)				
	検討	システムの拡張・情報提供			
令和5年度					
計画	<p>広報紙「古文書だより」第3号の刊行を行うとともに、ホームページ「コレクション紹介」及び古文書資料収蔵品データベースの更なる充実を図る。 世界水泳選手権2023福岡大会に合わせて、福岡のプールに関する歴史的公文書等の展示を実施する。</p>				
取組状況	<p>古文書資料に関する情報発信を目的とした「古文書だより」第3号を刊行し、配布、ホームページ掲載を行った。ホームページの「コレクション紹介」に2点の古文書資料を掲載した。 周船寺公民館での「宮崎安貞翁生誕400年顕彰祭」にあわせて、当館寄託資料の「宮崎家伝来農業全書」(福岡県指定文化財)のパネル展示を行った。 「古文書資料収蔵品データベース」に、新たに整理・保存が終了した資料1,589点の目録データを追加掲載した。 1階ショーケースを活用して、世界水泳福岡大会の関連イベントとして、「図書館資料で見る福岡のプール展」を実施し、歴史的公文書等の展示を行った。また、「博覧会と共にあゆむ福岡～変わりゆく福岡をふりかえる～」展を実施し、古文書資料、郷土資料、行政資料、歴史的公文書の展示を行った。</p>				
令和6年度					
計画	<p>「古文書だより」の刊行、ホームページ「コレクション紹介」及び古文書資料収蔵品データベースの更なる充実を図る。 行政資料(写真フィルム)のデジタル化を進め、将来の公開に向けた準備を行う。</p>				
内部評価 (令和5年度)					
<p>古文書資料については、計画どおり内容の充実に取り組んだほか、公民館と連携して展示を実施することができた。 歴史的公文書等については、関心が高い世界水泳開催に合わせて展示を行ったほか、完結後30年を経過したアジア太平洋博覧会(よかトピア)の資料を含め、福岡市で開催された博覧会に関する資料で構成した展示を行い、当館所蔵の文書資料を紹介することができた。 以上のことから、A評価とする。</p>					A
外部評価 (令和5年度)					
					<p>A : B : C : D :</p>

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の充実		
内容	文学館の利用拡大				
事業計画	市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、事業の充実及び情報提供の強化による利用拡大を図ります。また、インターネットによる福岡ゆかりの文学情報提供システムを新たに構築します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	総合図書館HP等での情報提供の充実				
	企画展、常設展、文学講座等の情報提供の充実				
	企画展の開催、広報強化				
	企画展開催・報道機関等による広報強化				
事業計画	福岡ゆかりの文学情報提供システムの構築				
	構築				
	情報提供				
令和5年度					
計画	福岡市文学館企画展については、これからの企画内容や実施方法などを含め、福岡市文学振興事業実行委員会に意見を諮りながら進めていく。 常設展示として、(上半期)「風よ—作品・書簡からみた伊藤野枝(仮)」、(下半期)「成層圏の時代—竹下しづの女と龍骨(仮)」および関連講座を実施する。 また、コロナ禍で停滞していた大学等外部機関、組織との連携事業を充実させ、文学館の認知度アップを図る。				
取組状況	福岡市文学振興事業実行委員会に諮り、今回2か年で1つの企画展に取り組むこととし、企画展の6年度開催に向け、準備作業を行った。 常設展示として、4年度から継続で「映画化された小説」を、また新たに「風よ—作品・書簡からみた伊藤野枝」を実施し、関連でトークイベント「知る・伊藤野枝」を開催、同名の記録集を発行した。 定例文学講座に加え、九州大学との地域連携事業として高校生を対象とした文学講座を開催した。このほか、国文学研究資料館との共同事業として、上野英信自筆資料・原稿のデジタル公開準備に取り組んだ。 一方で、年度途中で照明の不具合が発覚し一定期間展示施設が使用できなかったことから、下半期の常設展については年度内開催を見合わせることにした。				
令和6年度					
計画	企画展として、福岡市文学振興事業実行委員会に諮りながら5年度から準備を進めてきた展示を行う。 国文学研究資料館との共同による「上野英信自筆資料・原稿」のデジタル公開に併せ、当館収蔵の上野英信資料収蔵品展示を行う。また常設展示、関連講座、定例文学講座を開催する。				
内部評価 (令和5年度)					
伊藤野枝関連の常設展示(観覧者のべ5,287名)及びトークイベント(聴講者78名)は、没後100年という開催のタイミングが良く複数の報道で取り上げられ、人気も高く、加えて新しい客層を呼び込めた。また新たに外部機関(国文学研究資料館及び九州大学)と各々の連携事業に取り組んだ。 一方で、展示施設を使用できない期間が半年にわたって生じ、想定していた展示事業については当初の計画どおりには取り組むことができなかった。上記のことから、B評価とする。					B
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	運営方法の検討				
事業計画	現在指定管理制度を導入している総合図書館および東図書館の成果を検証し、図書館の運営方法を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	総合(建物管理のみ)、東(運営)				
	早良南(仮称)				
令和5年度					
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを引き続き実施し、必要に応じて協議するなど、満足度の高い、適切な運営に反映するよう努める。				
取組状況	各施設の指定管理者に対し、引き続き定期的なモニタリングを実施し、適切な運営に反映するよう努めた。また、指定管理者の提案による様々な事業やイベントでもアンケート等による満足度を調査した。指定管理者による企画や取り組みが利用者にとどのように評価されているか、利用者からの声などがどのように反映されているかの検証も行った。				
令和6年度					
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを引き続き実施し、必要に応じて協議するなど、満足度の高い、適切な運営に反映するよう努める。				
内部評価 (令和5年度)					
各指定管理者の事業報告やモニタリング等を基に検証したところ、総合図書館、東図書館、早良南図書館の各々の指定管理者が、一定の管理運営経験と実績を有していることもあり、安定的な管理運営で、利用者満足度も高く、適正な運営ができた。また、各指定管理者において、利用者からの声にも真摯に耳を傾け、可能な限り対応し、利用者の満足度を向上させるための取組が行われていることから、A評価とする。					A
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	図書館ボランティアとの共働の推進				
事業計画	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため図書館ボランティアとの共働を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	活動内容の追加・実施				
	令和5年度				
計画	ボランティア活動機会の増加を図るため、活動範囲の拡大について検討する。				
取組状況	<p>通常募集開始を行う時期には感染状況の見通しが不明であり、令和5年度の新規ボランティア募集を行わなかったため、令和5年4月1日時点の登録者数は49名(前年度登録者数63名)。 登録者数減に伴い活動実績の総時間数は減少したが、1人当たりの活動時間数は伸びた。 ・活動実績 1,982時間、40時間/人 (R4 2,208時間、35時間/人) 活動内容は「図書資料の修復」が1,655時間(83%)で最多、次いで「郷土・特別資料室に関する作業」が134時間(7%)となっている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、令和6年度の新規ボランティア募集を行い、新たに43名を受け入れることとした。 この他、図書館でボランティア活動を希望する方々の活動機会、範囲を拡げるため、総合図書館指定管理者にも環境美化活動等によるボランティア募集と受入れを提案し、活動が行われた。</p>				
令和6年度					
計画	ボランティア活動機会の増加を図るため、活動範囲の拡大について検討する。				
内部評価 (令和5年度)					
<p>コロナ禍により新規ボランティア募集を抑制している中で、登録者1人当たりの活動時間数は伸びたが、コロナ前の活動時間数(令和元年度2,542時間)まで復調していない。 しかしながら、コロナ5類移行に対応し、新年度に向けた新規募集を再開し、指定管理者と連携し活動範囲の拡大についても取り組むことができたため、B評価とする。</p>					B
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	職員の育成及び技術向上				
事業計画	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。また、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施し、研修成果の情報共有を図ることで、図書館サービスの向上と充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	研修等の強化(分館での研修の充実)				
令和5年度					
計画	<p>全体研修については、福岡市職員、図書館職員としての基本となる研修のほか、防災研修など年間を通して計画的に実施していく。</p> <p>専門研修については、令和5年度も会場集合形式で開催されるもの、オンラインによるもの、併用によるものなど多様な開催形式が想定されるため、有効に活用して積極的に参加し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。</p>				
取組状況	<p>全体研修については、公務員倫理研修、ユニバーサルサービス(人権)研修、業務改善研修等、やさしい日本語の研修、避難訓練等の防災研修などを実施。</p> <p>専門研修については、全国図書館大会、図書館基礎講座、地区別研修会などへの派遣及び県立図書館のレファレンス、資料整理保存、児童図書館専門講座などのテーマ別研修の受講、オンラインによる講習会参加などを奨励し専門知識の習得に努めた。</p> <p>・主な研修への参加状況 全国図書館大会(岩手大会:盛岡市)2名、地区別研修(九州・沖縄地区:熊本市中央区)5名、レファレンス研修(県立図書館)2名</p>				
令和6年度					
計画	<p>全体研修については、引き続き福岡市職員、図書館職員としての基本となる研修のほか、防災研修など年間を通して計画的に実施していく。</p> <p>専門研修については、集合研修、オンライン研修、併用の研修を有効に活用して積極的に参加し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。</p> <p>また10月からの図書館システムの更新に当たり、円滑なサービス提供ができるよう、更新後のシステムの基本操作に加え、新しいサービス提供(AI探索等)に係る研修を、各分館や連携図書室も含めた職員を対象に実施する。</p>				
内部評価(令和5年度)					
<p>予定した研修を計画どおりに行い、時代に合わせたユニバーサルサービス(人権)研修、業務改善研修等の研修を実施することができた。</p> <p>また、参加可能な範囲で専門研修への派遣を行ったことから、B評価とする。</p>					B
外部評価(令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	施設の有効活用などによる財源確保				
事業計画	駐車場収入による財源確保に努めるとともに、寄付金収入等の増額方法について検討します。 また、デジタルサイネージや施設広告、施設の目的外利用等について、新たな収入確保を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	駐車場収入による財源確保				
	新たな他財源 の検討	その他財源の確保			
令和5年度					
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、その他財源確保における手法等について検討する。				
取組状況	駐車場の運営について、駐車場用地の土地貸付収入等により、約580万円の歳入があった。 また、他都市等へも積極的なPRを行い、映画フィルム貸与料で約85万円の歳入があった。 ふくおか応援寄付による図書館への寄付金については、SNSや様々な機会を活用し広報に努め、約900万円寄せられた。 ホームページ上でのバナー広告主の募集については、従来の市全体の所管課を通じた募集に替えて、図書館独自に募集要項を策定し、1か月、1枠単位でのバナー広告掲載を可能にするなど掲載要件を緩和し財源確保に取り組んだが、問合せはあったものの契約にまでは至らなかった。				
令和6年度					
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、引き続き財源確保における手法等について検討する。				
内部評価 (令和5年度)					
駐車場運営では前年比で約156%の収入増、ふくおか応援寄付金は前年比で約2倍の寄付金額収入増となり、一定の成果が出てきていると判断される。 また、ホームページ上でのバナー広告主の募集については、掲載要件や募集方法の見直しに取り組んだことなどから、B評価とする。					B
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	情報発信の推進		
内容	情報発信の推進				
事業計画	引き続き、インターネット等を活用した情報発信に努めるとともに、新聞やミニコミ誌などのメディアへの働きかけを進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (令和7年度迄継続)
	検討	実施			
	令和5年度				
計画	効率的で効果的な広報を目指し、ホームページおよびSNSの運用方法の見直しを含めた改善策を探りながら、情報発信を行う。また、市の文化施設を中心に、展示やイベントの連携を積極的に行い、情報の共有や拡散を行う。				
取組状況	<p>他施設と情報交換を行って連携展示を推進し、他施設との相互リポストなどから情報発信・拡散を行ったことで、SNSのインプレッション(表示回数)が増加した。</p> <p>図書館の開館情報やイベント情報等も、ホームページやSNSを通して発信した。また、パブリシティによる情報発信も行った(報道機関への資料提供数3件に対し報道又は掲載件数41件)。X(旧ツイッター)は前年度よりも投稿回数を伸ばし649回、インプレッションは前年度190%の1,165,178回。フェイスブックは今年度から映像部門による情報発信専用となり、投稿回数は156回と減少したが、インプレッションは前年とほぼ変わらず、18,681回となっている。媒体ごとの登録者数は、X(旧ツイッター)2,771人、フェイスブック481人、メルマガ634人と増加した。(昨年度ツイッター2,319人、フェイスブック426人、メルマガ589人)。</p>				
令和6年度					
計画	効率的で効果的な広報を目指し、ホームページおよびSNSの運用方法の見直しを含めた改善策を探りながら、情報発信を行う。また、市の文化施設を中心に、展示やイベントの連携を今後も積極的に行い、情報の共有や拡散を行う。				
内部評価 (令和5年度)					
報道機関などへの資料提供は減少(6件→3件)したが、他施設と情報交換を行って連携展示を推進し、他施設との相互リポストなどから情報発信・拡散を行い、インプレッション数も大幅に増加、SNSでの登録者も着実に増えてきていることからA評価とする。					A
外部評価 (令和5年度)					
					A : B : C : D :

令和5年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(総括)

福岡市総合図書館新ビジョン基本理念	
市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館	
利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。	

成果指標					
成果指標	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
図書館利用者における図書館サービスの満足度【令和7年度:90%】	—	85.4%	89.7%	89.9%	90.5%
<総合図書館開館日>	271日	246日	221日	288日	291日
※図書館サービスに関する調査3項目の満足度のうち、最も低い値を成果とした					
※()は前年度からの増減					
※令和元年度は利用者アンケート調査を実施せず。					

目標数値					
目標数値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①入館者数【令和7年度:3,500千人】	2,627,641人	1,640,847人 [-986,794] [-37.6%]	1,543,636人 [-97,211] [-5.9%]	2,215,702人 [672,066] [43.5%]	2,384,703人 [169,001] [7.7%]
②個人貸出冊数【令和7年度:4,800千冊】	3,958,372冊 [-150,601] [-3.7%]	3,251,539冊 [-706,833] [-17.9%]	3,108,085冊 [-143,454] [-4.4%]	3,923,418冊 [815,333] [26.2%]	3,884,860冊 [-38,558] [-1.0%]
③貸出利用者数【令和7年度:1,400千人】	1,178,884人 [-35,518] [-2.9%]	949,860人 [-229,024] [-19.4%]	897,574人 [-52,286] [-5.5%]	1,156,751人 [259,177] [28.9%]	1,169,152人 [12,401] [1.1%]
④新規登録者数【令和7年度:30千人】	22,528人 [-2,184] [-8.8%]	16,558人 [-5,970] [-26.5%]	18,648人 [2,090] [12.6%]	21,363人 [2,715] [14.6%]	23,831人 [2,468] [11.6%]
※[]は前年度からの増減。					
※コロナ関連の臨時休館	総合図書館のみ	令和2年2月27日から同年3月20日まで			
	総合図書館及び分館	令和2年4月4日から同年5月25日まで			
	総合図書館及び分館	令和3年5月12日から同年6月20日まで			
※工事に伴う長期休館	南図書館	令和3年1月5日から令和4年8月26日まで			
	博多南図書館	令和6年2月29日から令和6年11月上旬まで			

内部評価	事業別評価	
<p><評価> 成果指標である「図書館サービスの満足度」は90.5%となっており、目標の90%を超えることができた。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行後はイベント等の取組みも増加し、入館者数、貸出利用者数、新規登録者数は前年度と比較し増加した。しかしながら、コロナ禍以前の令和元年度の利用状況にまでは戻っていない。</p> <p>事業別評価については、イベントの実施等、昨年度と比較して推進できた事業が多かったため、昨年度と比べてプラス評価となっている。</p> <p><対応> 令和7年度まで継続することとなった福岡市総合図書館新ビジョンの推進及び目標達成に向けて、計画的に事業を実施するとともに、図書館サービスの向上を図るための取組みを推進していきながら、次期の基本的運営方針の策定にむけた検討を進めていく。</p>	A評価	13事業
	B評価	12事業
	C評価	—
	D評価	—

外 部 評 価

事 業 別 評 価									
委員①		委員②		委員③		委員④		委員⑤	
A評価		A評価		A評価		A評価		A評価	
B評価		B評価		B評価		B評価		B評価	
C評価		C評価		C評価		C評価		C評価	
D評価		D評価		D評価		D評価		D評価	

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判 定	評 価 内 容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

福岡市総合図書館新ビジョン

福岡市教育委員会

— 目 次 —

はじめに	1
I 新ビジョン策定の経緯	2
II 新ビジョンの位置付け	3
III 計画期間	3
IV 福岡市図書館の課題	4
V 目指す図書館像	6
1 基本理念	6
2 新たな図書館像	7
(1) 誰もが楽しめる魅力ある図書館	7
(2) さまざまな情報を求める市民に応える図書館	8
(3) 子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	9
(4) 総合図書館の特色を生かした図書館	10
3 効率的で効果的な図書館運営	12
(1) 施設の有効活用と管理運営体制	12
(2) 職員の研修体制の確立	12
(3) 積極的な情報発信	12
VI 新ビジョンの推進に向けて	13
用語集	14

はじめに

福岡市総合図書館は、「福岡市新図書館基本計画」(平成3年2月策定)に基づき、「市民に開かれた図書館として、市民ニーズに的確に応える生涯学習社会の中核的役割を果たしていく」という基本方針に従って、図書、映像及び文書資料の3部門で構成する新しい型の図書館として平成8年6月に開館し、21世紀における魅力ある学習・情報・文化の拠点施設を目指し、様々な施策を推進してきました。

これまで、平成12年に博多南図書館、平成15年に和白図書館、平成22年に西部図書館を開設するとともに、インターネットや検索機による予約受付を開始するなどインフラ整備に努めてきました。また、「福岡市文学館」の開設や国際フィルム・アーカイヴ連盟^①への加盟、大学図書館との相互貸借や福岡都市圏の公共図書館の広域利用など図書館サービスの充実を図ってきました。

しかしながら、基本計画の策定から約20年が経過する中、社会状況は大きく変わり、図書館を巡る環境も情報化の急速な進展、図書館サービスに対する市民ニーズの高度化、多様化など大きく変化しています。

こうした社会状況の変化に対応するため、これまでの取り組みの方向を改めて整理するとともに、今求められる図書館の役割を踏まえ、図書館を取り巻く新たな環境変化に対応するため、「福岡市総合図書館新ビジョン」を策定しました。

この新ビジョンに基づき、市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館づくりを進めてまいります。

おわりに、新ビジョンの策定にあたり、貴重なご意見をいただいた「これからの図書館のあり方について」懇話会の委員をはじめ、総合図書館運営審議会の委員やアンケートにご協力いただいた市民の皆様に深く感謝いたします。

平成26年6月

福岡市教育委員会

教育長 酒井 龍彦

I 新ビジョン策定の経緯

福岡市総合図書館は、平成8年6月、早良区百道浜に図書資料部門、映像資料部門及び文書資料部門の3部門で構成され、映像ホールなどを併設する新しい型の図書館として開館しました。同時に、図書館サービス網の構築を図るために、各区市民センター図書室を「分館」と位置づけ、分館とネットワークを結ぶ「総合図書館オンラインシステム」を稼働しました。

その後、「福岡市文学館」の開設や国際フィルム・アーカイヴ連盟への加盟を行うとともに、インターネットや検索機による予約受付を開始するなど、図書館サービスの充実を図ってきました。分館の整備についても、福岡市基本計画の実施計画に基づき、地域交流センターの建設に合わせ、「博多南」、「和白」、「西部」の3館を整備してきました。

しかしながら、「福岡市新図書館基本計画」の策定から約20年が経過する中、今日の社会状況は、少子・高齢化や高度情報化、国際化の進展など、大きく変化するとともに、市民の学習活動や文化活動もますます活発になっており、その内容も高度化・多様化しています。

この間、国においては、これからの図書館の在り方検討協力者会議から「これからの図書館像」（平成18年3月）が報告されました。また、図書館法では教育基本法における家庭教育の重視などを受け、一部改正（平成20年6月）が行われました。さらに、社会状況の変化などに対応して「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が改正（平成24年12月）されるなど、これからの図書館運営に必要な新たな視点や方策などが示されました。

一方、福岡市では、平成24年12月に「福岡市基本計画」（第9次）を策定し、「福岡市基本構想」に掲げる都市像の実現に向けたまちづくりの目標や施策を総合的・体系的に示しました。さらに、平成25年6月に「行財政改革プラン」を策定しましたが、今後、社会保障関係費や公共施設などの改修・修繕経費が増加することが見込まれる中、必要な財源確保と行政運営の仕組みや発想、手法の抜本的な見直しが求められています。

これら社会状況の変化に対応し、福岡市の図書館がこれまで以上に市民や地域に役立つ図書館になるため、「これからの福岡市図書館のあり方」について、総合図書館運営審議会に諮問し、平成25年11月に答申をいただきました。

この答申を参考に、これからの福岡市総合図書館が目指すべき図書館像を定める「福岡市総合図書館新ビジョン」を策定するものです。

II 新ビジョンの位置付け

「福岡市総合図書館新ビジョン」は、平成3年に策定した「福岡市新図書館基本計画」の後継となる計画です。

この新ビジョンは、「福岡市基本計画」(第9次)、「新しい福岡の教育計画」を上位計画とし、「福岡市子ども読書活動推進計画」と連携して、近年の図書館を取り巻く社会状況の変化に対応し、これからの図書館サービスを推進していくための基本計画です。

III 計画期間

新ビジョンは、平成26年度を始期とし、10年間を計画期間とします。

新ビジョンをもとに重点的に取り組む具体的な施策・事業については、5年ごとに示していきます。

IV 福岡市図書館の課題

福岡市の図書館行政は、平成3年2月に策定した「福岡市新図書館基本計画」に基づいて様々な施策を推進してきたところですが、新ビジョンの策定にあたり、「これからの図書館のあり方について」懇話会の意見や総合図書館運営審議会の答申を踏まえ、福岡市総合図書館の課題を次のとおり整理しました。

1 これまで図書館を利用していない層への利用促進

これまでの図書館利用者の傾向をみると固定化してきており、幅広く利用を促す必要があります。このため、これまで図書館を利用したことがない市民や図書館に興味を持てなかった市民にとって魅力的な図書館となるよう、総合図書館が持つ施設空間を有効活用し、くつろぎと交流の場づくりや新たな利用のきっかけとなる新たなサービスが求められています。

2 身近で便利な図書館サービス

福岡市の図書館は、総合図書館と分館の11館で図書館サービスを行っていますが、利用者からは、身近なところで図書の貸出・返却ができるサービス拠点の設置や開館時間の延長、休館日の変更・削減などサービスの向上を求める要望が多くなっています。

また、働く世代や子ども、高齢者、障がい者などへの配慮も行う必要があります。

3 課題解決型のサービス機能の充実

図書館では、市民の暮らしや仕事上の課題を解決するために必要な資料や情報を提供するなど、課題解決型のサービス機能の充実が求められています。そのためには、レファレンスサービス^②の充実や福岡市の施設の図書室とネットワークを構築して、幅広い分野の資料を提供する必要があります。

また、情報化の進展に対応できる新たな図書館サービスが求められています。

4 子ども読書活動の推進

子どもが本に親しみ読書習慣が身に付くよう、「福岡市子ども読書活動推進計画」(第2次)^③の着実な推進が求められています。

また、子どもたちにとって一番身近な場である学校図書館に対する総合図書館からの支援が確立されておらず、早急に支援する体制が必要です。

5 映像資料・文書資料の有効活用

総合図書館内に設置されている映像ホールや天神にある赤煉瓦文化館内のサテライト文学館については、存在を知らない人も多く、市民に十分に利用されていない状況にあります。

また、これまで収集したアジア映画や郷土福岡に関する貴重な地域資料は、総合図書館の特色であり、市民に広く公開・提供する必要があります。

6 運営体制のあり方

さまざまな図書館サービスを提供するため、利用者に向き合い、利用者の目線に合った改善を行っていく必要があります。

また、厳しい財政状況の中でサービスを向上していくためには、これまで以上の効率化が求められています。さらに、高度化、多様化する市民ニーズに応えていくため、職員の資質の向上、他の図書館や関係機関、ボランティアとの連携により幅広い分野の資料や情報を提供することが求められています。

V 目指す図書館像

1 基本理念

**市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、
新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館**

福岡市の図書館は、市民にとって最も身近な生涯学習施設であり、必要な知識や情報を提供し、学習や調査研究活動を援助する役割を担っています。

また、年齢、性別や国籍、障がいの有無等を問わず、すべての人が自由に快適に利用できることなど、現在、福岡市が進めるユニバーサルデザインの理念に基づいた図書館づくりが求められています。

これまでの図書館は、読みたい本を借りるところ、学生や生徒が静かに勉強するところ、本が好きな人が利用するところというイメージがあり、総合図書館の特色の一つである映像ホールでの映画の上映や図書館でじっくり調べものや研究ができる機能があることを多くの人に十分知られていない状況です。

新しい「福岡市基本計画」(第9次)には、市民生活の質の向上と都市の成長の好循環を創り出すためには、人材の多様性とその交流や対話から生まれる創造力が必要であり、それを支える基盤として、さまざまな人材が育ち、集まり、活躍できる環境づくりに取り組むことが示されています。

また、総合図書館が福岡タワーなど市を代表する観光スポットであるシーサイドももち地区に立地していることから、地の利を生かし、工夫をこらすことにより観光客をはじめ幅広い層の利用を見込むことができます。

これらのことから、今後の総合図書館は、これまでの機能を充実するとともに、地域の情報や市民が求める様々な情報を集約し提供する情報拠点の機能を強化していきます。そのために、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人や観光客などが集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指していきます。

2 新たな図書館像

基本理念を実現するため、新たな福岡市の図書館像を定め、図書館サービスを提供していきます。

(1) 誰もが楽しめる魅力ある図書館

ア 誰もが利用できる図書館サービス

子どもから高齢者まで、障がいのある方も、誰もが気軽に利用できるよう福岡市ユニバーサルデザインの理念に基づく図書館サービスを目指すとともに、どこに住んでいても、仕事帰りでも図書館が利用できる仕組みを検討していきます。

特に、利用したくても時間的に来館が困難な働く世代などへの対応として、交通の便の良い公共施設などへのサービス拠点の設置や開館時間の延長などについて検討していきます。

イ 魅力ある図書館

図書館に行く地域の情報や観光に関する情報など様々な情報が集約されていて、だれでも直ぐに情報を得ることができ、そこから新たな交流の輪が広がる。そのような、すべての人々に開かれ、誰もが気軽に立ち寄りたくなる図書館であることが求められています。そのために、市民が図書館で思い思いに自由な時間を過ごし、くつろぎ楽しむ、そのような潤いややすらぎの場となるように、エントランスホールや中庭、正面玄関前広場などを活用して、快適な空間づくりを進めていきます。

また、社会の動きや市民の関心の高いテーマに関する展示や文化人や専門家等による講演会など、市民と図書館を結ぶ行事・イベントの充実を図ったり、子どもの「おはなし会」^④だけでなく、大人向けの「読書会」を開催するなど魅力ある図書館を目指します。

《新たな取り組み》

- 人と人との交流の場、潤いややすらぎの場として施設空間の有効活用
- 来館が困難な人に対応した新たなサービス拠点の検討
- 働く世代などに対応した開館時間延長の検討
- 幼児から高齢者まで利用できるよう、市の関連施設への団体貸出

(2) さまざまな情報を求める市民に応える図書館

ア 幅広い資料・情報の収集・保存

市民の多様な読書・情報ニーズに対応するとともに、公共図書館としての役割を發揮できるような資料収集に努めます。また、分館における図書資料収集については、全体の蔵書構成を考慮しつつ、地域の実情にあわせて特色を持たせた資料収集に努めていきます。

イ レファレンスサービスの充実・強化

レファレンス需要に対応していくため、各専門機関のオンラインデータベースやホームページの活用など、レファレンスツールの充実を図ります。また、専門知識を習得するための研修など、職員の資質の向上を図ります。関心が高いビジネス支援や子育て支援など地域の課題解決や市民ニーズに対応したサービスの充実を図っていきます。

ウ ネットワーク機能の充実

分館を中心に、学校・公民館・文庫などとの地域のネットワークの充実に努め、地域での読書活動推進を図っていきます。また、少年科学文化会館、ふくふくプラザ、議会図書室など、福岡市が管理する図書室資料の総合目録化と相互協力化について検討していきます。

エ 情報化の進展に対応したサービスの向上

情報化の進展に伴い、これまでの紙資料による提供だけでなく、インターネットなどによる電子媒体を組み合わせる利用できる図書館を目指します。

また、無線LANの導入やタブレット等が利用できる環境を検討していきます。

《新たな取り組み》

- 窓口、電話だけでなく電子メールでのレファレンスサービスの実施
- 議会図書室などと連携した政策企画・立案などの行政支援
- タブレットなどが利用できる無線LANの設置
- デジタル化資料^⑤の閲覧などへの対応

(3) 子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館

ア 「福岡市子ども読書活動推進計画」に基づく子どもの読書活動の推進
子どもが本に親しみ読書習慣が身に付くよう、平成 23 年度に策定した「福岡市子ども読書活動推進計画」(第 2 次)に基づき、ヤングアダルト®へのサービスの充実や地域文庫などの紹介を行っていきます。

また、地域における読書普及活動を活性化させるため、読書ボランティア養成などの支援を充実するとともに、「おはなし会」や地域文庫活動を積極的に周知していきます。

イ 学校図書館との連携

子どもたちの身近な読書の間である学校図書館に対して、適切な指導助言を行えるようにするとともに、図書の貸出や情報提供、学校司書への研修などの支援を学校図書館支援センターを中心に積極的に行っていきます。

《新たな取り組み》

- 地域の読書普及活動を支援する読書ボランティア講座の実施
- 子どもたちの読書活動を支援する学校図書館支援センターの設置

(4) 総合図書館の特色を生かした図書館

ア 映像資料部門の充実

● 映像資料の公開機能の充実

映像資料については、国内外の芸術・文化・教育・記録などの優れた映像作品、特に、アジア各国の貴重な映像作品や福岡市や九州にゆかりのある映画・ビデオなどの映像・音声資料などを中心に収集しており、今後とも、アジアフォーカス・福岡国際映画祭との連携を強化するとともに、上映作品の収集に努めていきます。

また、収集した様々なビデオやアジア映画のポスターなどの有効活用を図るとともに、収集したアジア映画の公開について、映像ホールだけでなく、市の施設で公開上映ができるよう市民が映像資料に親しめる事業の企画を検討していきます。

さらに、市民の映像活動を支援するためにデジタル上映環境への整備を進めていきます。

● ビデオライブラリーの方向性

技術の革新により新しい機器が出現して、これまで収集した媒体が家庭で再生できない状況にあります。レンタル店が普及していることやデータ配信サービスが進んでいる中で、総合図書館としての提供、保存のあり方について検討していきます。

《新たな取り組み》

- 市内施設でのアジア映画上映の検討
- アジア映画のポスター展や講演会の実施

イ 文書資料部門の充実

● 歴史的公文書・行政資料の有効活用

福岡市の公文書館機能を有する保存センターとしての役割を果たすため、これまで収集・保存した歴史的・文化的資料を広く市民が活用できるように提供していきます。また、公文書に関する企画展などを定期的を実施することにより、対外的に公文書館の存在をアピールしていきます。

● 古文書資料・郷土資料の後世への伝承

福岡の歴史に係わりのある古文書資料や郷土資料、地域に根ざした文書資料は、地域の歴史などを調査・研究するための貴重な資料です。今後も、福岡市に関する資料については積極的に収集し、この貴重な資料の保存・提供の両立を図り、後世に伝えるため資料のデジタル化の検討を進めていきます。また、普及活動として資料を活用した講座などの開催や広報誌などの刊行を一層図っていきます。

● 市民に認知される福岡市文学館の環境整備

福岡市文学館のサテライトである赤煉瓦文化館^⑦は、市の中心地にあるため、市民や観光客への情報発信拠点となっており、一定の効果をあげています。さらに、市民へ認知される福岡市文学館を目指して情報発信をしていくためには、総合図書館内に分散した展示室等を1か所に集約し、市民が利用しやすい配置を含め資料保存・提供などについて検討していきます。

《新たな取り組み》

- 貴重な古文書資料の保存のためのデジタル化の検討
- 総合図書館内の文学館展示室の集約化

3 効率的で効果的な図書館運営

(1) 施設の有効活用と管理運営体制

- ア 開館時間の拡大など図書館サービスを向上していくため、指定管理者制度などの民間活力の導入を含めた運営方法について検討します。
- イ 駐車場の有料化や広告収入など施設の有効活用や、個人・団体からの支援の受け入れなどにも取り組み、財源確保に努めていきます。
- ウ これまで、「おはなし会」や読書ボランティア講座などについては、ボランティア団体の協力により実施してきましたが、今後は、さらに館内の利用案内や各種資料の整理など新たな分野における図書館ボランティアとの共働を実施していきます。そのため、新たに、ボランティアの養成や学生のインターンシップを導入していきます。

(2) 職員の研修体制の確立

図書館職員の専門知識や技術の向上を目指し、業務マニュアル等を作成するとともに、職員の研修を計画的に実施します。また、著しく進展する情報化に対応するため、電子資料やインターネットによる情報などを活用できる職員の養成を行っていきます。

(3) 積極的な情報発信

図書館の利用方法やサービス内容をお知らせするため、ホームページを充実するとともに、子どもから高齢者まで分かりやすく、使いやすいホームページとなるように工夫します。

また、様々な図書館の催しものなど多くの情報を、効果的な手法により、積極的に発信・提供することで、図書館の利用が少ない層への利用を促進していきます。

VI 新ビジョンの推進に向けて

《新ビジョンの進行管理と評価》

「福岡市総合図書館新ビジョン」を着実に推進するために、事業計画や成果指標を定め、計画的に事業を実施していきます。

そのため、年度ごとに図書館サービスや業務について、市民アンケートを実施しながら、内部評価を行います。

内部評価について意見を聴くため、「福岡市図書館評価委員会（仮称）」を設置して、市民や有識者の視点を取り入れた外部評価を行い、結果を公表します。

用語集

① 国際フィルム・アーカイヴ連盟

The International Federation of Film Archives, 略称：*FIAPF*（フィアフ）は世界の映画保存機関（フィルム・アーカイヴ）から構成される国際組織です。映画フィルムを文化遺産、歴史資料として、破損・散逸から救済・保存することを目的に1938年パリで結成されました。現在、本部をベルギーのブリュッセルにおき活動しています。全世界で73ヶ国約150の施設が加盟していますが、国内では東京国立近代美術館フィルムセンターと福岡市総合図書館の2つだけです。

② レファレンスサービス

特定の情報を求める図書館利用者に対して、図書館員が図書館資料やその他の情報収集活動を通して、必要としている情報を示しそのアクセス方法を教えたり、回答を提供する人的な援助です。総合図書館では、2階に3か所のレファレンスカウンターを設置し、専門の職員が対応しています。来館のほか、電話やFAX、文書での受け付けも可能です。メールでの受け付けも開始する予定です。各分館でも受付しています。

③ 福岡市子ども読書活動推進計画（第2次）

平成17年3月に子どもの読書環境づくりを推進するために策定された1次計画を受けて平成23年5月に策定されました。子どもたちが読書の楽しさ、素晴らしさを感じ、生き生きと生きていくための「ことばの力」、「生きる力」を身に着け、「ことば輝く街」を目指しています。概ね18歳以下の子どもを対象にしています。

④ おはなし会

総合図書館と分館では、幼児や乳児づれの親子を対象に、毎月数回定期的にお話を聞かせる集会を開いています。本の世界の素晴らしさを体験し、その後の読書活動へとつなげる重要なサービスと位置付けています。

⑤ デジタル化資料

紙媒体に印された従来の資料とは異なり、CD、DVD、ハードディスクからのLAN配信、インターネットからの配信などアクセスでディスプレイ装置に表示される資料類の総称です。図書館が所蔵する資料を独自にデジタル化するほか、さまざまな団体が有料、無料で提供しています。文字情報のほか、画像情報、画像と文字の情報を組み合わせたものがあり、それぞれの資料ごとに独自の検索画面や方法を取っているため、図書館職員はそれぞれの情報の特性やアクセス方法ダウンロードや印刷方法に精通する必要があります。

⑥ ヤングアダルト

一般に中学生から高校生などティーンエイジ，すなわち児童と成人の間の年齢層を指しています。この年齢層を対象に行う図書館サービスをヤングアダルトサービスと呼び，コーナーを設けて独自の蔵書を構成しています。

⑦ 赤煉瓦文化館

福岡市中央区天神一丁目 15-30 にある経済観光文化局文化財保護課所管の建築物で，明治時代のわが国を代表する建築家辰野金吾工学博士，片岡安工学士の設計により，日本生命保険株式会社九州支店として明治 42 年（1909）2 月に竣工しました。ドームや小塔，屋根窓を配した銅板葺きの屋根や赤煉瓦と白い花崗岩の外壁は，19 世紀末の英国様式を応用したものです。昭和 44 年（1969）3 月に国の重要文化財に指定されたのを機に福岡市に譲渡され，長く歴史資料館として活用された後，平成 6 年（1994）2 月からは赤煉瓦文化館として市民に親しまれてきました。平成 14 年（2002）5 月福岡市文学館のサテライトを 1 階に開設し，文学に関する様々な情報を収集・提供しています。企画展や文学講座「赤煉瓦夜話」，読書講座などを開催しています。

－ 福岡市総合図書館新ビジョン －

発行／平成 26 年 6 月

福岡市教育委員会総合図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜三丁目 7 番 1 号

電話 092-852-0600(代表)

F A X 092-852-0609

E-mail library-unei.BES@city.fukuoka.lg.jp

U R L <http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>

福岡市総合図書館新ビジョン
事業計画及び成果指標

(令和元 年度～令和5 年度)

福岡市教育委員会

1 趣旨

平成8年6月の福岡市総合図書館開館以来、少子高齢化や高度情報化、国際化の進展など、社会状況が大きく変化しています。このような状況の中で、市民ニーズの高度化、多様化という新たな環境変化に対応していくため、今求められる図書館の役割を踏まえ、これから目指すべき図書館像を定める「福岡市総合図書館新ビジョン」を平成26年6月に策定しました。

この「福岡市総合図書館新ビジョン」は平成26年度を始期とする10年間を計画期間としており、新ビジョン推進のため、重点的に取り組む具体的な施策・事業について5年ごとにその事業計画を作成し、成果指標を定めて計画的に事業を実施していくものです。

2 事業計画の枠組み

(1) 計画の期間

①前期事業計画

計画の期間は、2014年度（平成26年度）から2018年度（平成30年度）までの5年間とします。

②後期事業計画

計画の期間は、2019年度（令和元年度）から2023年度（令和5年度）までの5年間とします。

(2) 計画の構成

事業計画は、「福岡市総合図書館新ビジョン」で掲げる「目指す図書館像」に沿った項目ごとに整理し、それぞれの内容と成果指標、スケジュールから構成されています。

3 進行管理と評価

新ビジョンを着実に推進していくために、年度ごとに図書館サービスや業務についての評価を行い、進行管理を行っていきます。

そのため、年度ごとに図書館サービスや業務について、アンケートを実施しながら、内部評価を行います。さらに、内部評価について意見を聴くため、「福岡市図書館評価委員会」を設置して、市民や有識者の視点を取り入れた外部評価を行い、結果を公表します。その評価内容に応じて、図書館サービスの改善を図っていきます。

(1) 内部評価

毎年4月 アンケートの実施

6月 アンケートの結果や成果指標などに基づく内部評価

(2) 外部評価

毎年7月 福岡市図書館評価委員会による外部評価及びその公表
評価内容に応じた改善

4 前期事業計画の振り返り

福岡市総合図書館では、「福岡市総合図書館新ビジョン」に掲げる「目指す図書館像」を達成するため、前期事業計画に基づき施策・事業を推進してまいりました。その結果、潤いややすらぎの場の創出や一部の図書館ではありますが開館時間の延長、また、地域読書活動への支援を目的とした団体貸出制度の拡充など一定の成果を得られました。

一方では、急速なIoT化の発展や市民意識の変化、社会情勢の変化等で図書館利用者が年々減少傾向であり、改めて図書館に求められる役割と機能を考えていく必要があります。

(1) 前期事業計画の成果

①学校図書館支援センターの立ち上げ

各学校が学校図書館を効果的に運用できるよう、総合図書館内に学校図書館支援センターを開設し、支援を開始

②団体貸出制度の拡充

地域文庫や学校、高齢者施設等への団体貸出サービスを充実
344 団体(2013 年度) → 390 団体(2018 年度)

③図書館利用時間の拡大

総合図書館及び東図書館において開館時間の延長を実施
(東図書館においては休館日も見直し)

④貸出・返却拠点の新設(4 拠点)

貸出・返却拠点：福岡市科学館
返却拠点：木の葉モール橋本，ふくふくプラザ，九州がんセンター

⑤図書館イベントの充実

子ども向けのイベント(おはなし会など)に加え、大人向けイベント(各種講演会・講座等)、アジア映画の館外上映などを実施

(2) 福岡市図書館を取り巻く現状

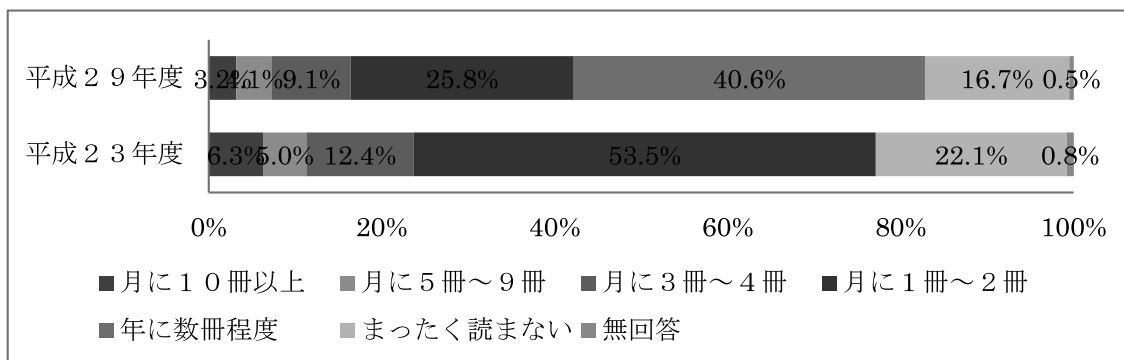
①市民の読書への考え方の変化

ア 本が読みたくなった時の行動

(平成23年度, 平成29年度 市政アンケートより)

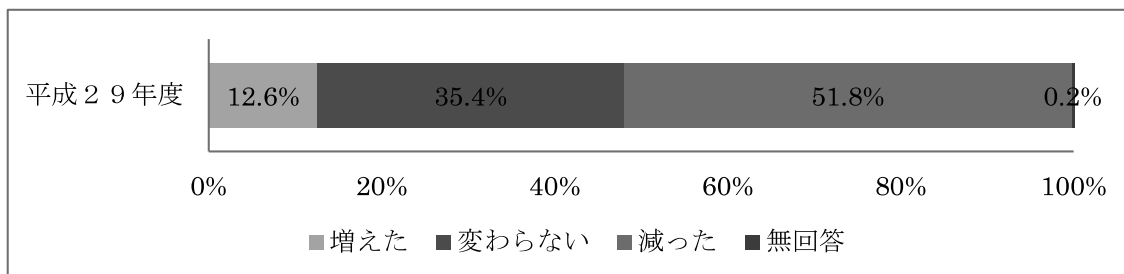
項目	平成23年度	平成29年度
書店(コンビニ購入を含む)で購入する	72.5%	61.6%
公立図書館を利用する	17.0%	13.7%
通信販売で購入する	3.8%	9.3%
職場, 学校の図書室やブックカフェを利用する	1.5%	1.8%
電子書籍等を購入する	0.2%	3.6%
その他	4.0%	4.5%
無回答	1.0%	5.7%

イ 1カ月当たりの平均読書量

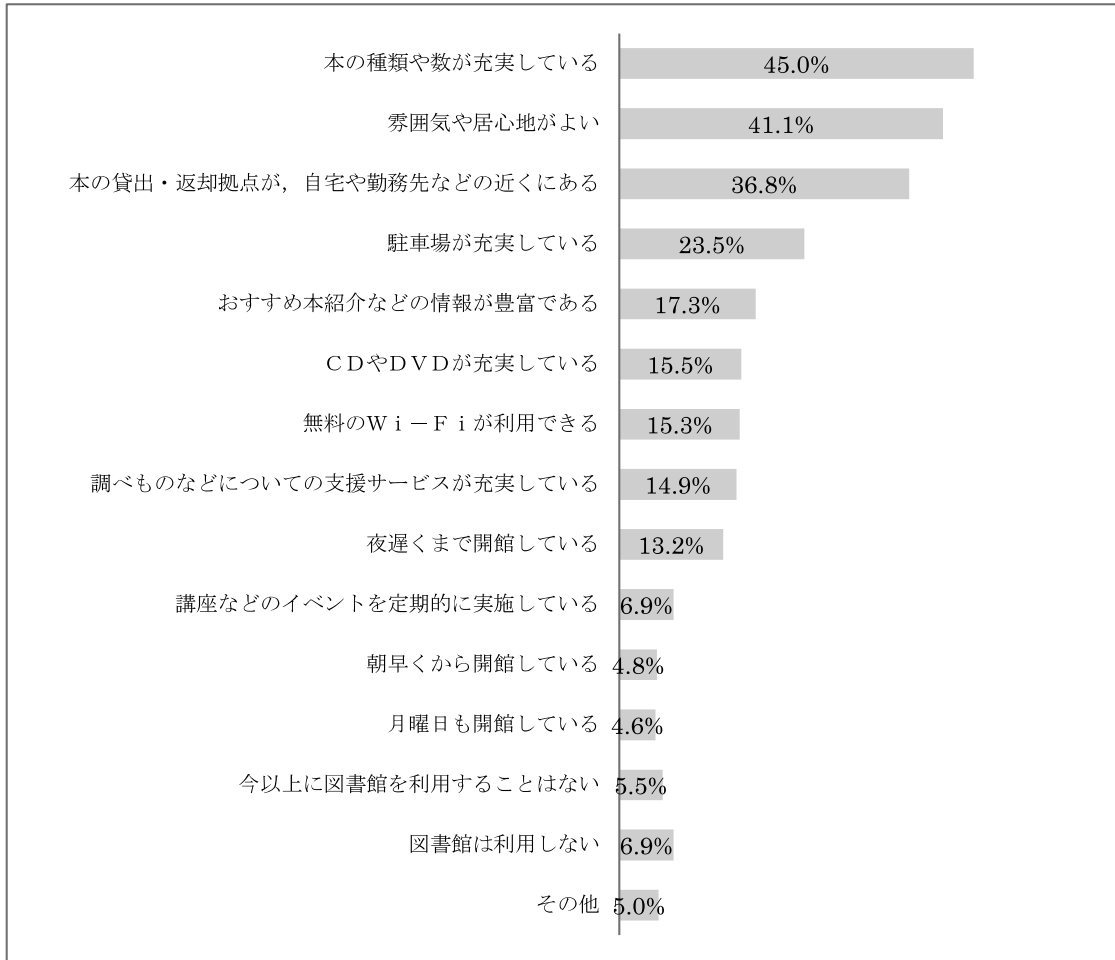


ウ 5～6年前と比較した1日の読書時間

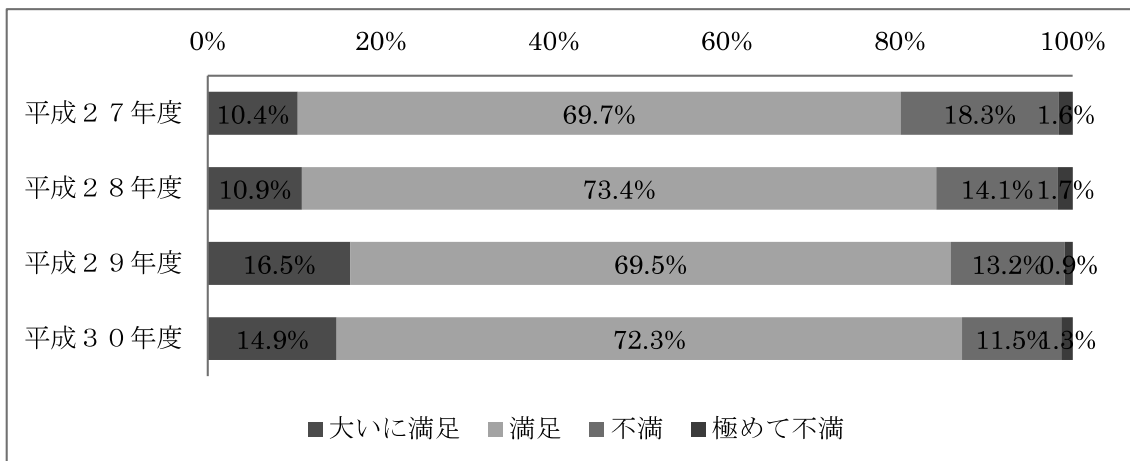
(平成29年度 市政アンケートより)



エ 図書館をいま以上に利用するための条件
(平成29年度 市政アンケートより)



オ 図書館利用者の開館時間及び休館日における満足度
(平成27～30年度 図書館利用者アンケートより)



②図書館利用者の減少

○個人貸出冊数 4,378 千冊(2014 年度) → 4,167 千冊(2017 年度)

○貸出利用者数 1,227 千人(2014 年度) → 1,211 千人(2017 年度)

※福岡県全体においても個人貸出冊数は減少傾向である。

・個人貸出冊数(県内図書館の総数)

24,448 千冊(2014 年度) → 23,705 千冊(2017 年度)

5 後期事業計画への取り組みの姿勢

福岡市総合図書館新ビジョンの推進については、実現へ向けた取り組みとして、2014 年度から 2018 年度までを前期として、また、2019 年度から 2023 年度までを後期として位置付け、それぞれ事業計画を策定することとしています。

今回、後期事業計画を策定するにあたり、前期事業計画で取り組みが十分でなかった項目を中心に見直しを行っており、これらの様々な施策、事業の実施につながるよう、計画的な推進に取り組んでまいります。

また、学校教育及び生涯学習における読書活動推進の観点を踏まえ、図書行政の改革に取り組んでまいります。

福岡市総合図書館新ビジョン 基本理念

**市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる
新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館**

内容

利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。

成 果 指 標

図書館利用者における図書館サービスの満足度

【2013年度】75.5% → 【2018年度】85% → 【2023年度】90%

【2013年度 実績】

- 貸出利用者数 1, 291 千人
- 個人貸出冊数 4, 633 千冊
- 入館者数 ー 千人
- 新規登録者数 30 千人



【2018年度 見込】

- 貸出利用者数 1, 205 千人
- 個人貸出冊数 4, 046 千冊
- 入館者数 3, 090 千人
- 新規登録者数 24 千人



【2023年度 目標】

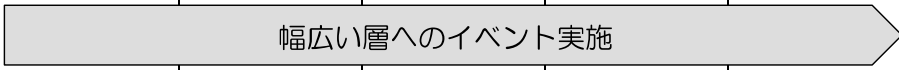
- 貸出利用者数 1, 400 千人
- 個人貸出冊数 4, 800 千冊
- 入館者数 3, 500 千人
- 新規登録者数 30 千人

※「入館者数」については、2013年度の当初から計測に誤りがあったこと、また、その他の項目についても近年の図書館の利用状況に鑑み、2018年度の見込をもとに2023年度の数値目標を新たに設定しております。

(1) 誰もが楽しめる魅力ある図書館

		部門	運営・図書		
項目	内容				
図書資料の貸出・返却 拠点の新設	<p>① 分館の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> 早良南地域交流センターの2021年11月の開館に合わせて分館開館準備に取り組みます。 <p>② 貸出・返却拠点等の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の利便性の向上を考慮し、交通の便の良い公共施設等における図書の貸出・返却拠点の設置を推進します。 				
		2013年度	2018年度	2023年度	
	貸出拠点数	13地点	13地点	15地点	
返却拠点数	21地点	24地点	27地点		
○前期の振り返り					
<p>① 分館の新設</p> <p>早良南地域交流センターについて、整備事業の実施方針及び要求水準書を2017年12月に公表し、2018年4月にPFI事業者の公募を開始、2018年11月に事業者が決定した。</p> <p>② 貸出・返却拠点等の新設</p> <p>2013年から返却拠点3地点（木の葉モール橋本、ふくふくプラザ、九州がんセンター）を新設した。また、少年科学文化会館の貸出・返却拠点を同館の閉館に伴い2016年に廃止したが、2017年開館の福岡市科学館に新たに拠点を設置した。</p>					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
分館 (早良南)	開館準備			◇開館	
貸出・返却 拠点	検討、協議				
			◇設置		
※市の施設や地下鉄駅、民間施設・店舗などへの拠点設置の可能性を検討する。					

		部門	運営・図書・文書・映像			
項目	内容					
利用時間の見直し (休館日、開館時間の 見直し)	図書館分館ごとの市民ニーズ等に基づき、休館日と開館時間の見直しを検討します。					
○前期の振り返り						
<ul style="list-style-type: none"> ・総合図書館は、2016年4月より開館時間を延長した。 ・東図書館は、移転開館した2016年6月より開館日・開館時間の拡大を実施した。 						
○スケジュール						
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
休館日	検討	段階的に実施				
開館時間	検討	段階的に実施				

		部門	運営・図書		
項目	内容				
図書館イベントの充実	<p>子ども向けのおはなし会や体験講座，大人向けの講座など，幅広い層に向けて多様なイベントを実施し，これまで図書館を利用していなかった層への訴求や，参加者の満足度の向上を目指し，引き続き，読書の普及や図書館の活用促進を図ります。</p> <p>また，市の関連部署と連携したイベント，総合図書館の映像資料部門や文書資料部門，各分館との連携による企画を実施していきます。</p>				
		2013年度	2018年度	2023年度	
	イベント回数 (総合・分館)	809回 /年	1,033回 /年	1,150回 /年	
	参加者数	48,671人 /年	52,224人 /年	55,000人 /年	
※2018年度見込みは2017年度の実績値を仮記入					
<p>○前期の振り返り</p> <p>総合図書館においては，従前から開催していた子ども向けおはなし会や講座，読書活動ボランティア講座に加え，新たに大人向け読書イベントとして，がんについての講演や教養講座，本の修理講座などの各種講演会・講座や読書会などを実施した。</p> <p>また，分館においては，地域の特色を生かしたテーマや独自の観点による多様なイベントを実施した。</p>					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
イベント					
<p>(例) 図書館を舞台にした撮影会・写真コンテスト</p> <p>SNS を活用したイベント周知</p> <p>出前講座形式での図書館イベント実施</p> <p>作家や文化人による講演会開催</p> <p>自動貸出機やOPACなどの使用法を案内する図書館 Q&A 講座の開催</p> <p>幅広い層を対象とした夜のおはなし会の実施</p> <p>小(高学年)中高生向けの図書館司書体験</p> <p>総合の各部門・分館合同でのイベント など</p>					

		部門		運営・図書・文書・映像	
項目	内容				
快適な空間づくり	<p>やすらぎや交流の場といった、初めての来館者も過ごしやすい環境の創出など、大幅な館内レイアウトの変更について、施設設備の大規模更新による休館（6カ月程度）にあわせて行うこととし、長期保全計画に基づく設備更新を計画的に推進します。</p>				
<p>○前期の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合図書館において、エントランスホールを活用した語らいの広場を設置するとともに、指定管理者による季節に応じたイベントを開催した。 ・2017年度に長期保全計画を作成し、施設の保全・更新を優先して実施している。 					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
レイアウト 変更					

(2) さまざまな情報を求める市民に応える図書館

	部門	運営・図書						
項目	内容							
図書館サービスの充実	<p>① 資料収集の充実</p> <p>公共図書館としての役割を發揮するため、前期で見直した図書資料の収集方針に沿って資料収集を行い、市民ニーズに応えるよう努めます。</p> <p>また、電子書籍の取り扱いについて、業界や他都市の動向を踏まえて、検討を継続していきます。</p> <p>さらに、収集した資料を幅広く活用できる方策を検討していきます。</p> <p>② レファレンス（相談）サービスの充実</p> <p>窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施するとともに、レファレンス情報のホームページでの提供を進めます。</p> <p>③ 課題解決型支援の充実</p> <p>ビジネスや医療、子育て支援などの課題解決に対して、関係部局及び国・県等と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示や講演会、相談会等を行っていきます。</p> <table border="1" data-bbox="555 1108 1241 1198"> <thead> <tr> <th></th> <th>2018 年度</th> <th>2023 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施事業</td> <td>6 件／年</td> <td>12 件／年</td> </tr> </tbody> </table>			2018 年度	2023 年度	実施事業	6 件／年	12 件／年
	2018 年度	2023 年度						
実施事業	6 件／年	12 件／年						
<p>○前期の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子書籍に関しては、図書館での利用が認められているジャンルやタイトルが極めて限定的であるため、現時点での導入は見送っている。 前期において、総合図書館収集方針を改定するとともに、各分館で地域の実情に合わせ特色を持たせた収集方針を策定し、選書等を行った。 電子メールによるレファレンスを 2016 年度から開始し、徐々に件数が増加している。 福岡市及び国等のホームページに掲載されたインターネット情報の複写サービスを開始した。 起業・経営、医療、子育て支援などの事業を着実に実施できた。 無線 LAN 環境の整備については、2014 年度に総合図書館、2016 年度に東図書館へ公衆無線 LAN「Fukuoka City Wi-Fi」が導入されたが、他の分館については、各施設の管理者と導入を協議していく。 								

○スケジュール

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
資料収集	資料収集方針に沿った資料収集				
レファレンス	レファレンスサービスの実施				
課題解決型支援	医療・ビジネス・子育て支援等の情報提供				

(例) ①大活字本等を所蔵館以外の館に一時的に配架する

柱, 壁, 本棚側面を活用した本の顔を見せる展示スペースの創出 など

②HPを一部改修し, 利用者の調べものを支援するレファレンスガイド(調べもの案内)の情報をネット上で提供する。

		部門	図書		
項目	内容				
地域読書活動への支援	①団体貸出先の拡大 地域の読書活動の拠点である地域文庫や学校、高齢者福祉施設等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。				
	②地域読書活動への支援 地域において読書活動を行っている団体の活動状況を調査してニーズを把握するとともに、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言や支援等を行います。				
		2013年度	2018年度	2023年度	
	登録団体数	344団体	390団体	420団体	
配本冊数	236,455冊	220,000冊	244,000冊		
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> 登録団体数は増加を続けており、登録団体数については目標達成の見込みであるが、新規登録団体に小規模な団体が多いほか、配本能力の制約があり一部団体の配本周期を伸ばしたことから、配本冊数は頭打ちとなっている。 団体貸出の主体である地域ボランティアを対象に地域文庫交流会を開催し、支援の拡大を図ることで、公民館の団体貸出が5団体増加した。 					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
団体貸出					
地域読書活動への支援					
<p>※未登録の公民館や高齢者施設、病院などに制度周知を行い、貸出先の拡充を図る。</p> <p>※地域における講座等の開催を拡充していく。</p>					

		部門	図書		
項目	内容				
市関連施設の図書室の相互協力	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を実施するとともに、今後とも市関連施設との連携について検討していきます。				
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度から、議会図書室を通じて、市議会議員及び行政職員への図書資料の貸出による支援を開始。 平成 27 年度から、ふくふくプラザで図書資料の返却を開始（福祉図書・情報室窓口での返却受付、施設入口に返却ポスト設置）。 平成 29 年度から、福岡市科学館のサイエンスナビにおいて、図書資料の貸出・返却を開始。また、同館の夏休み展示において、総合図書館に所蔵する科学関連の児童図書を一部展示。 					
○スケジュール					
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
市施設との相互協力					

(3) 子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館

		部門	図書		
項目	内容				
子どもへの読書普及	<p>①モデル児童図書リストの配布 子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。</p> <p>②子どもの貸出カード作成推進 図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの作成を推進することにより、読書の普及等を図ります。</p> <p>③ヤングアダルト層（12歳～18歳）への働きかけの強化 広報やイベントを充実させるとともに、中高生に訴求する資料収集を進めます。</p> <p>④読書活動ボランティア講座の強化 読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。</p>				
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> モデル児童図書に関して、作成期間やコストの観点から判型等を見直し、冊子形式の目録から毎年発行で幅広く配布可能なリスト形式に変更。多様な層への配布や当該図書の展示により、関連図書の貸出増加を図ることができた。 新1年生への貸出カードの付与は個人情報保護の観点から実現に移せず。小学1年生を対象とした推薦図書リストの全員配布と併せて、貸出カード作成の案内文書を配布したが、成果は限定的であった。 ヤングアダルト向けの推薦図書のブックリストを作成・配布し、読書普及を図った。また、ヤングアダルトイベント（ビブリアバトル、TRPG、ボードゲーム、）など新しい動きが出てきた。 読書活動に関心のある市民向けにボランティア講座を実施するとともに、受講者に地域文庫マップを配布し地域で活動する団体の情報提供に努めた。 					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
モデル児童 図書目録	各グレード	作成・配布			
子どもの 貸出カード	検討協議	実施			

ヤングアダ ルト層への 働きかけ	広報・イベント・資料収集の充実				
読書ボラン ティア講座	読み聞かせ講座の実施				
	ストーリーテリング講座・おさらい会の実施				

※子どもの貸出カードについて、さまざまな場面を捉えて作成を促す。

(例) 授業での図書館見学の際に学校と連携して事前登録・カード作成・交付を実施

※地域の読書活動を支える人材を育成し、生涯学習課と連携して活動に繋げていく方策を検討する。

(例) ヤングアダルト向けイベント時に、若い世代のボランティアを募集する。

		部門	図書		
項目	内容				
学校図書館への支援	①学校図書館支援センターの充実				
	<p>前期での成果を踏まえ、総合図書館内に設置した学校図書館支援センターにおいて、市立小・中・特別支援学校の学校図書館への人的・物的支援を行い、学校司書の活動をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 ・学習支援用図書の貸出、学校司書への支援 				
		2013 年度	2018 年度	2023 年度	
	学校図書館への配本数	0冊/年	3,200冊/年	4,500冊/年	
学校図書館への対応件数	0件/年	100件/年	120件/年		
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> ・市立小・中学校全校へ訪問し、学校図書館を視察して運営や選書等について相談を受けるとともに、学校図書館支援センターの役割や支援方法などを説明。 ・小学校については周知が進み、支援用図書の貸し出しも大きく伸びているが、中学校については、わずかな伸びに留まっている。 ・特別支援学校については発達教育センターと連携してニーズを把握し、支援に繋げるべく情報収集を行った。 ・各校の訪問や相談対応を重ね、また制度周知が進むにつれ、特に小学校において設置直後に比べ学校現場の課題やニーズに即した助言や支援が実施できるようになり、活用件数が増加している。また、利用した学校司書や教員が継続して相談・利用するケースが増えている。 					
○スケジュール					
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
学校図書館支援センター	公共図書館司書の専門性を生かした学校図書館への支援				
	学習支援図書の貸出				
	学校図書館の活用・運営に係る情報収集と提供				
<p>※学校図書館支援センター利用の手引きを作成し、引き続き教員・学校司書への利用勧奨を行っていく。</p> <p>※特別支援学校に対し、具体的支援を行っていく。</p>					

(4) 総合図書館の特色を生かした図書館

		部門	映像		
項目	内容				
映像資料部門の充実	<p>① 図書館外施設での映像資料上映事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した映像資料についてさまざまな手法を用いて市民等に提供することで、効果的な図書館の映画保存事業のアピールを行います。 <p>② 資料展示事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示事業をシネラの広報に限定せず、アジア映画のポスター展を中心に多様な展示を計画し、映像文化の普及・振興、市民サービスの促進を行います。場所はビデオライブラリーを使った展示空間の新設を検討します。 				
○前期の振り返り					
<p>① 図書館外施設でのアジア映画上映事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 博多、東、城南区市民センターで館外上映を実施。図書館のアジア映画収蔵を知らない観客への一定の広報効果はあったが、費用対効果の課題があった。 <p>② 資料展示事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ポスター展示をシネラのアジア映画上映企画に連動し、1階ショーケースで年に1回～2回開催。 					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
上映事業	手法検討	上映事業の実施			
展示事業	多様な資料の展示				
	展示エリアの検討	展示エリアの整備			

		部門	文書										
項 目	内 容												
文書資料部門の充実	<p>①文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実 文書資料(歴史的公文書・行政資料・古文書資料・郷土資料)のデジタルデータ化・活用を進めるとともに、文学情報提供システムを拡張することにより、文書資料の情報提供システムを構築し、文書資料への理解と利用の促進を図ります。</p> <p>②文学館の利用拡大 市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、事業の充実及び情報提供の強化による利用拡大を図ります。 また、インターネットによる福岡ゆかりの文学情報提供システムを新たに構築します。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2013 年度</th> <th>2018 年度</th> <th>2023 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者</td> <td>5,901 人</td> <td>1,044 人</td> <td>2,100 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※企画展，文学講座，読書講座等参加者 ※2013 年度は大河ドラマ「黒田官兵衛」に併せた企画展を実施</p>						2013 年度	2018 年度	2023 年度	参加者	5,901 人	1,044 人	2,100 人
	2013 年度	2018 年度	2023 年度										
参加者	5,901 人	1,044 人	2,100 人										
○前期の振り返り													
<ul style="list-style-type: none"> 歴史的公文書・行政資料については、デジタルデータ化した歴史的公文書等の展示により公文書館機能の理解促進を図ることができた。 歴史的公文書システムの構築については、総務企画局における文書管理システムの更新に併せて検討することとしていたが、更新の予定がないため後期計画から除外する。 古文書資料・郷土資料については、デジタルデータ化に係る検討を進めるとともに、一部の資料のデジタルデータ作成を行ってきた。 文学館事業については、新聞・テレビなどを活用した広報により、文学館の認知度向上に努めた。 福岡ゆかりの文学者等について紹介する企画展等を開催したが、テーマにより参加者に増減が生じている。 													
○スケジュール													
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度								
文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実	デジタルデータ化・活用の推進												
	デジタルデータの作成・蓄積，ホームページ掲載・展示・市民提供等												
	文書資料情報提供システムの構築(文学情報提供システムの拡張)												
	検討	システムの拡張・情報提供											

文学館の 利用拡大	総合図書館HP等での情報提供の充実			
	企画展，常設展，文学講座等の情報提供の充実			
	企画展の開催，広報強化			
	企画展開催・報道機関等による広報強化			
	福岡ゆかりの文学情報提供システムの構築			
構築	情報提供			

(5) 効率的で効果的な図書館運営

		部門	運営・図書・文書・映像	
項目	内容			
図書館運営の強化	① 運営方法の検討	現在指定管理制度を導入している総合図書館および東図書館の成果を検証し、図書館の運営方法を検討します。		
	② 図書館ボランティアとの共働の推進	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため図書館ボランティアとの共働を推進します。		
		2013年度	2018年度	2023年度
	活動時間	4,084時間	4,500時間	5,000時間
図書館運営の強化	③ 職員の育成及び技術向上	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。また、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施し、研修成果の情報共有を図ることで、図書館サービスの向上と充実を図ります。		
	④ 施設の有効活用などによる財源確保	駐車場収入による財源確保に努めるとともに、寄付金収入等の増額方法について検討します。 また、デジタルサイネージや施設広告、施設の目的外利用等について、新たな収入確保を検討します。		
		2013年度	2018年度	2023年度
	収入額	785千円	6,000千円	9,000千円
○前期の振り返り				
①総合図書館の建物管理(2016.4～)及び東図書館の運営(2016.6～)について、指定管理者制度を導入。				
②書架整理や図書資料の修繕等を行うボランティアの新規申し込みを毎年実施。インターンシップ研修生を受け入れ。				
③全体研修として、接遇・クレーム・業務改善等の研修を実施。研究集会や県立図書館の研修への参加、保健所等による出前講座の実施(子育て支援や地域福祉等)。国立国会図書館のインターネット遠隔研修の受講(著作権等)				
④バナー広告等をはじめ、総合図書館駐車場を図書館利用者以外にも有料開放して収入を確保。雑誌スポンサー制度は継続性の観点から見送り。				

○スケジュール

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
運営方法の検討	モニタリング 実施・検証	公募 選定	総合（建物管理のみ）、東（運営）		
	運営方法 検討・決定	開館準備	早良南（仮称）		
ボランティア	活動内容の追加・実施				
職員の育成 及び技術向上	研修等の強化（分館での研修の充実）				
財源確保	駐車場収入による財源確保				
	新たな 財源の 検討	その他財源の確保			

※財源確保については、図書館へのふるさと納税寄付金の促進方法について検討。
また、その他の財源としてデジタルサイネージや施設広告などの新たな財源確保について検討。

※ボランティア活動の内容については、イベント・ガーデニング・広報等、新たな分野の追加を検討・実施する

※図書館オリジナルのノベルティグッズを製作・販売

		部門	運営														
項目	内容																
情報発信の推進	引き続き、インターネット等を活用した情報発信に努めるとともに、新聞やミニコミ誌などのメディアへの働きかけを進めます。																
		2013年度	2018年度	2023年度													
	ホームページアクセス	224万回/年	207万回/年	230万回/年													
	メールマガジン登録者数	0人	285人	800人													
<p>○前期の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年9月にHPをリニューアルし見やすさ、使いやすさを改善。 ・facebook や twitter, LINE など SNS で情報発信。 ・2016年5月から月1回のメールマガジンを配信。 																	
<p>○スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信の推進</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">実施</td> </tr> </tbody> </table>							2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	情報発信の推進	検討	実施			
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度												
情報発信の推進	検討	実施															
<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3部門のイベント情報やお役立ち情報等を統括した情報誌の発行 ・都心部でのイベントで図書館PRを設置 																	

福岡市総合図書館利用者アンケート調査
～報告書～

令和6年5月

福岡市

目次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果.....	2
III. 前年度比較	4
①来館頻度.....	4
②窓口サービス(あいさつ、接遇など)についての評価.....	5
③図書館利用サービス(貸出冊数、貸出期間など)についての評価.....	6
④開館時間及び休館日についての評価	7
⑤総合な評価.....	8
IV. 時系列比較	9
V. 調査票.....	16

I. 調査の概要

1. 委託件名：福岡市総合図書館利用者アンケート調査業務委託
2. 調査目的：福岡市内の公立図書館を利用する中学生以上に対し、利用頻度や利用満足度を確認し、今後の図書館のあり方を検討するための基礎資料とする。
3. 調査対象：中学生以上の男女個人（※但し、図書館利用後の方を対象）
4. 調査方法：対象者による「自記入式」（※但し、記入が困難な人は「面接」でも可）
5. 調査場所、実施日時、調査件数

No	図書館名	調査日時	調査件数
1	総合図書館	5 / 4 (土) 10:00～17:00	500 件
2	東図書館	5 / 5 (日) 10:00～17:00	100 件
3	和白図書館	5 / 3 (金) 10:00～17:00	100 件
4	博多図書館	5 / 3 (金) 10:00～17:00	100 件
5	中央図書館	5 / 3 (金) 10:00～17:00	100 件
6	南図書館	5 / 3 (金) 10:00～17:00	100 件
7	城南図書館	5 / 6 (月) 10:00～17:00	100 件
8	早良図書館	5 / 5 (日) 10:00～17:00	100 件
9	早良南図書館	5 / 3 (金) 10:00～17:00	100 件
10	西図書館	5 / 3 (金) 10:00～17:00	100 件
11	西部図書館	5 / 3 (金) 10:00～17:00	100 件
計			1,500 件

6. 集計作業上の処理：
 - ・「①福岡市の図書館の利用頻度」が「初めて」と回答した方は、
「年に1回程度」として集計。
 - ・②～⑤の質問で選択肢と選択肢の中間に○を記入された方は、
選択肢の低い評価の方で集計。
7. 調査結果の留意事項：各数値は小数点第2位を四捨五入している関係上、合計が100.0%にならない場合がある。

II. 調査結果

①来館頻度

	年に1回程度		年に数回程度		月に1~2回程度		週に1~2回程度		ほぼ毎日		計 (人)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
総合	34	6.8	72	14.4	219	43.8	143	28.6	32	6.4	500
東	8	8.0	9	9.0	45	45.0	30	30.0	8	8.0	100
和白	9	9.0	9	9.0	53	53.0	22	22.0	7	7.0	100
博多	7	7.0	11	11.0	54	54.0	18	18.0	10	10.0	100
中央	6	6.0	10	10.0	54	54.0	27	27.0	3	3.0	100
南	4	4.0	13	13.0	55	55.0	27	27.0	1	1.0	100
城南	1	1.0	12	12.0	56	56.0	28	28.0	3	3.0	100
早良	1	1.0	7	7.0	45	45.0	38	38.0	9	9.0	100
早良南	4	4.0	11	11.0	52	52.0	28	28.0	5	5.0	100
西	2	2.0	10	10.0	46	46.0	34	34.0	8	8.0	100
西部	3	3.0	18	18.0	48	48.0	27	27.0	4	4.0	100
全体	79	5.3	182	12.1	727	48.5	422	28.1	90	6.0	1,600

②窓口サービス(あいさつ、接客など)についての評価

	大いに満足		満足		不満		極めて不満		計 (人)	満足度 (%)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
総合	151	30.2	347	69.4	2	0.4	-	-	498	99.6
東	31	31.0	69	69.0	-	-	-	-	100	100.0
和白	31	31.0	69	69.0	-	-	-	-	100	100.0
博多	29	29.0	71	71.0	-	-	-	-	100	100.0
中央	20	20.0	77	77.0	3	3.0	-	-	97	97.0
南	30	30.0	69	69.0	1	1.0	-	-	99	99.0
城南	24	24.0	75	75.0	1	1.0	-	-	99	99.0
早良	34	34.0	64	64.0	2	2.0	-	-	98	98.0
早良南	31	31.0	69	69.0	-	-	-	-	100	100.0
西	22	22.0	75	75.0	3	3.0	-	-	97	97.0
西部	36	36.0	63	63.0	1	1.0	-	-	99	99.0
全体	439	29.3	1,048	69.9	13	0.9	-	-	1,487	99.1

③図書館利用サービス(貸出冊数、貸出期間など)についての評価

	大いに満足		満足		不満		極めて不満		計 (人)	満足度 (%)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
総合	141	28.2	340	68.0	19	3.8	-	-	481	96.2
東	28	28.0	68	68.0	4	4.0	-	-	96	96.0
和白	28	28.0	68	68.0	4	4.0	-	-	96	96.0
博多	26	26.0	68	68.0	6	6.0	-	-	94	94.0
中央	22	22.0	72	72.0	6	6.0	-	-	94	94.0
南	22	22.0	72	72.0	5	5.0	1	1.0	94	94.0
城南	27	27.0	70	70.0	3	3.0	-	-	97	97.0
早良	22	22.0	70	70.0	7	7.0	1	1.0	92	92.0
早良南	28	28.0	69	69.0	3	3.0	-	-	97	97.0
西	25	25.0	71	71.0	4	4.0	-	-	96	96.0
西部	35	35.0	63	63.0	2	2.0	-	-	98	98.0
全体	404	26.9	1,031	68.7	63	4.2	2	0.1	1,435	95.7

④開館時間及び休館日についての評価

	大いに満足		満足		不満		極めて不満		計	満足度 (%)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	
総合	95	19.0	359	71.8	42	8.4	4	0.8	454	90.8
東	34	34.0	63	63.0	3	3.0	-	-	97	97.0
和白	17	17.0	69	69.0	14	14.0	-	-	86	86.0
博多	21	21.0	69	69.0	10	10.0	-	-	90	90.0
中央	12	12.0	70	70.0	17	17.0	1	1.0	82	82.0
南	18	18.0	73	73.0	9	9.0	-	-	91	91.0
城南	14	14.0	76	76.0	10	10.0	-	-	90	90.0
早良	12	12.0	71	71.0	17	17.0	-	-	83	83.0
早良南	33	33.0	65	65.0	2	2.0	-	-	98	98.0
西	14	14.0	76	76.0	10	10.0	-	-	90	90.0
西部	22	22.0	75	75.0	3	3.0	-	-	97	97.0
全体	292	19.5	1,066	71.1	137	9.1	5	0.3	1,358	90.5

⑤総合的な評価

	大いに満足		満足		不満		極めて不満		計	満足度 (%)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	
総合	185	37.0	302	60.4	11	2.2	2	0.4	487	97.4
東	36	36.0	64	64.0	-	-	-	-	100	100.0
和白	31	31.0	69	69.0	-	-	-	-	100	100.0
博多	28	28.0	71	71.0	1	1.0	-	-	99	99.0
中央	24	24.0	72	72.0	4	4.0	-	-	96	96.0
南	28	28.0	70	70.0	2	2.0	-	-	98	98.0
城南	24	24.0	73	73.0	3	3.0	-	-	97	97.0
早良	28	28.0	70	70.0	1	1.0	1	1.0	98	98.0
早良南	42	42.0	58	58.0	-	-	-	-	100	100.0
西	26	26.0	72	72.0	2	2.0	-	-	98	98.0
西部	32	32.0	67	67.0	-	-	1	1.0	99	99.0
全体	484	32.3	988	65.9	24	1.6	4	0.3	1,472	98.1

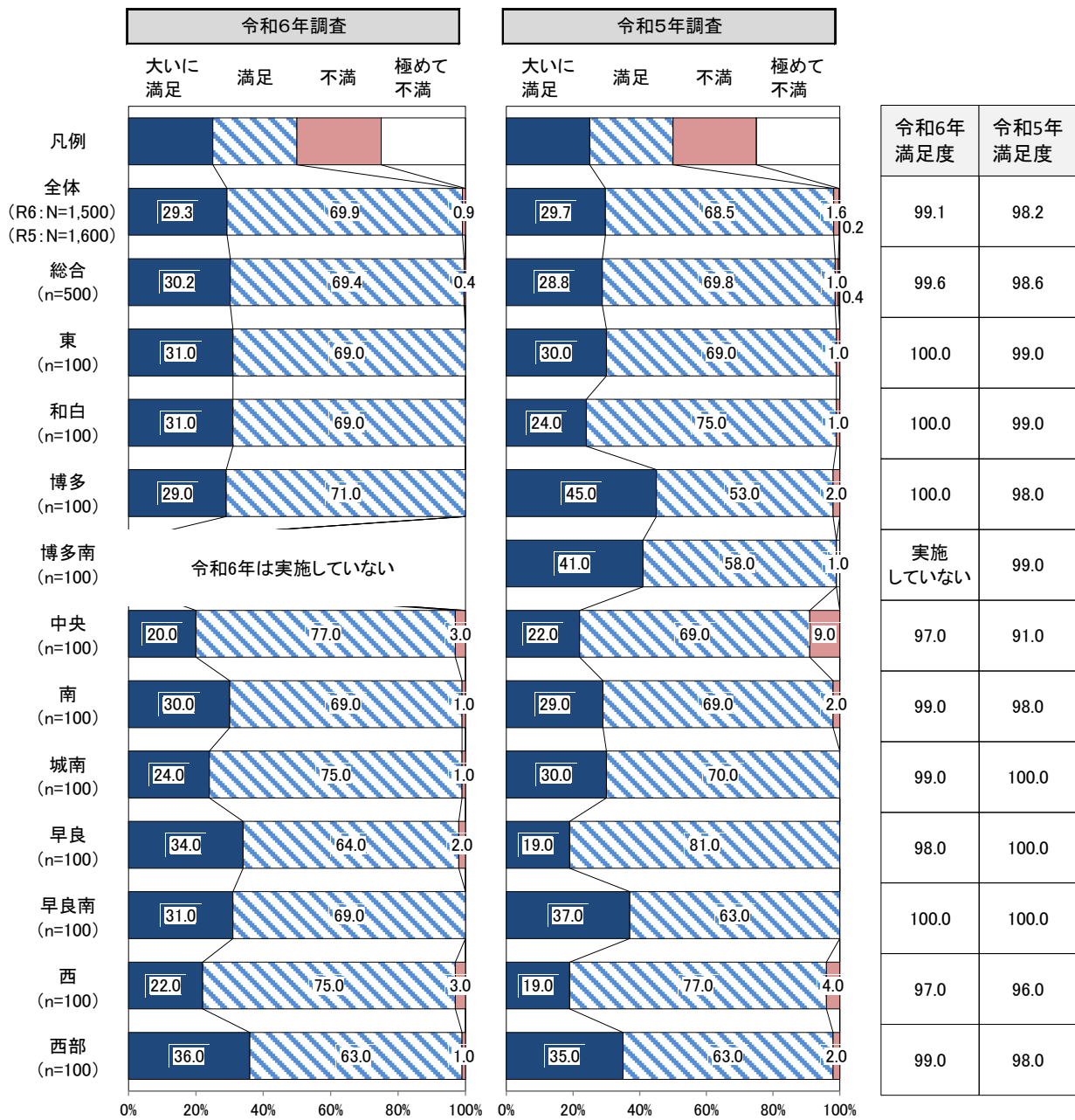
※満足度＝「大いに満足」＋「満足」

Ⅲ. 前年度比較

① 来館頻度

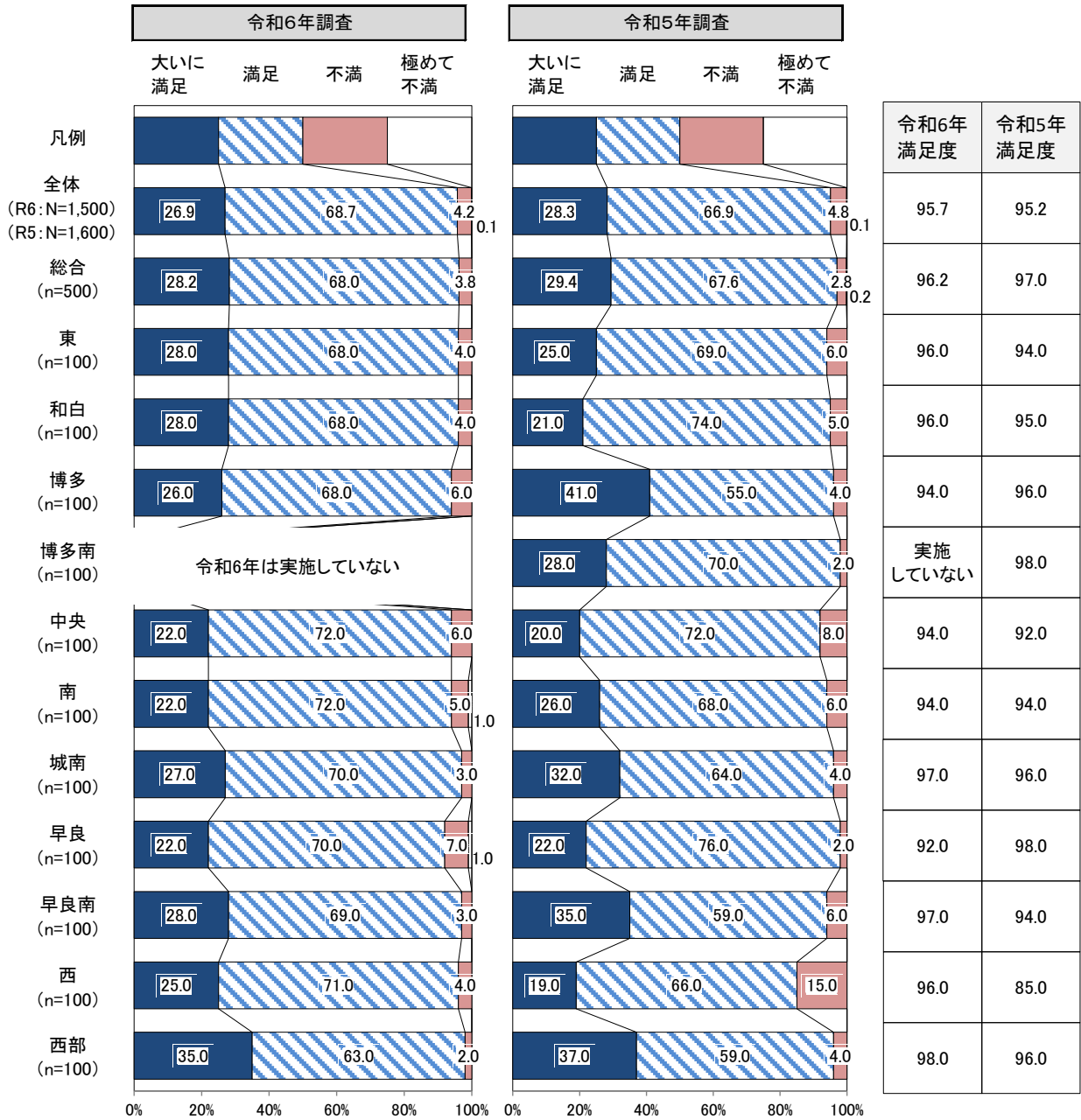


② 窓口サービス(あいさつ、接客など)についての評価

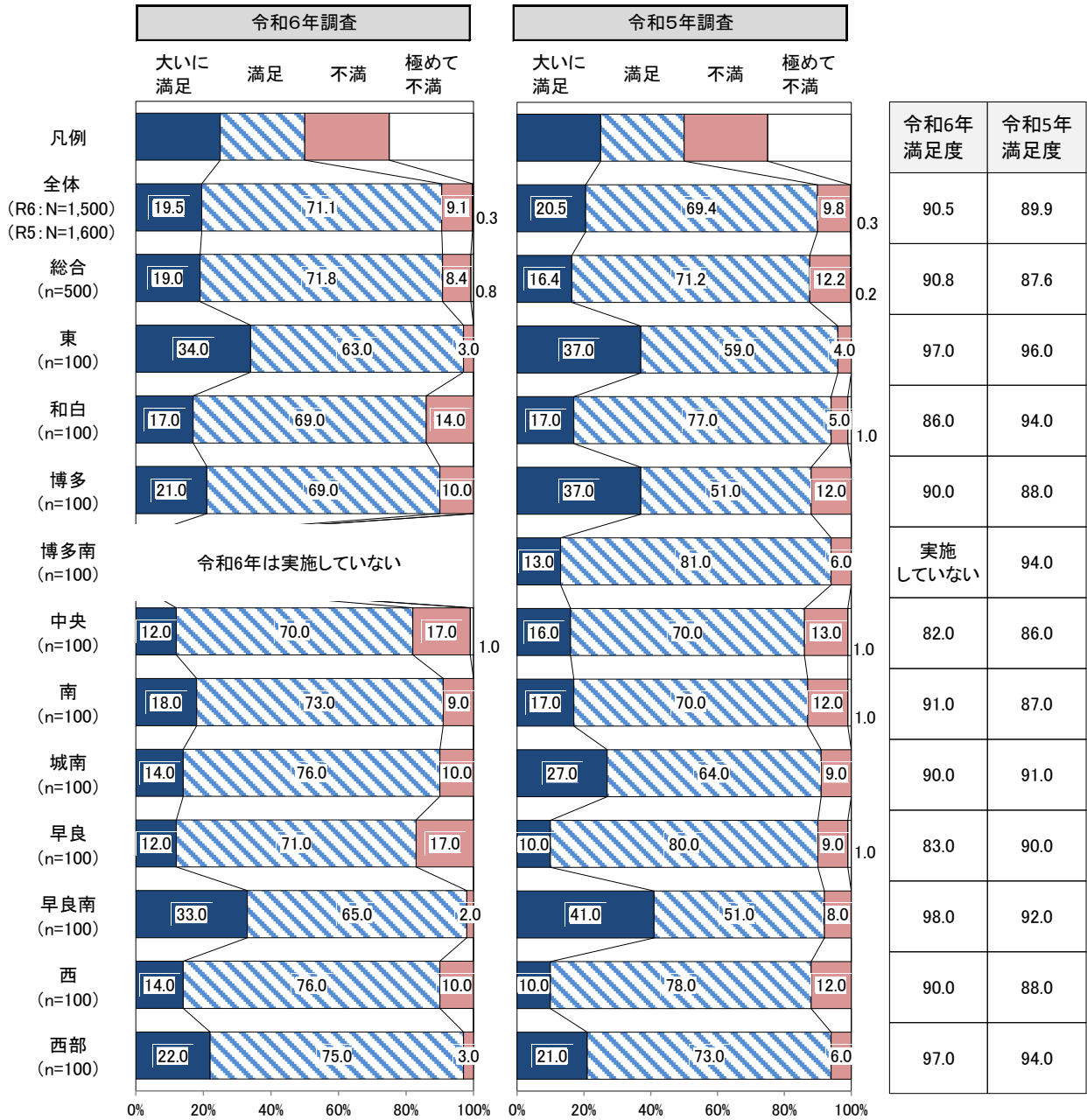


令和6年満足度	令和5年満足度
99.1	98.2
99.6	98.6
100.0	99.0
100.0	99.0
100.0	98.0
実施していない	99.0
97.0	91.0
99.0	98.0
99.0	100.0
98.0	100.0
100.0	100.0
97.0	96.0
99.0	98.0

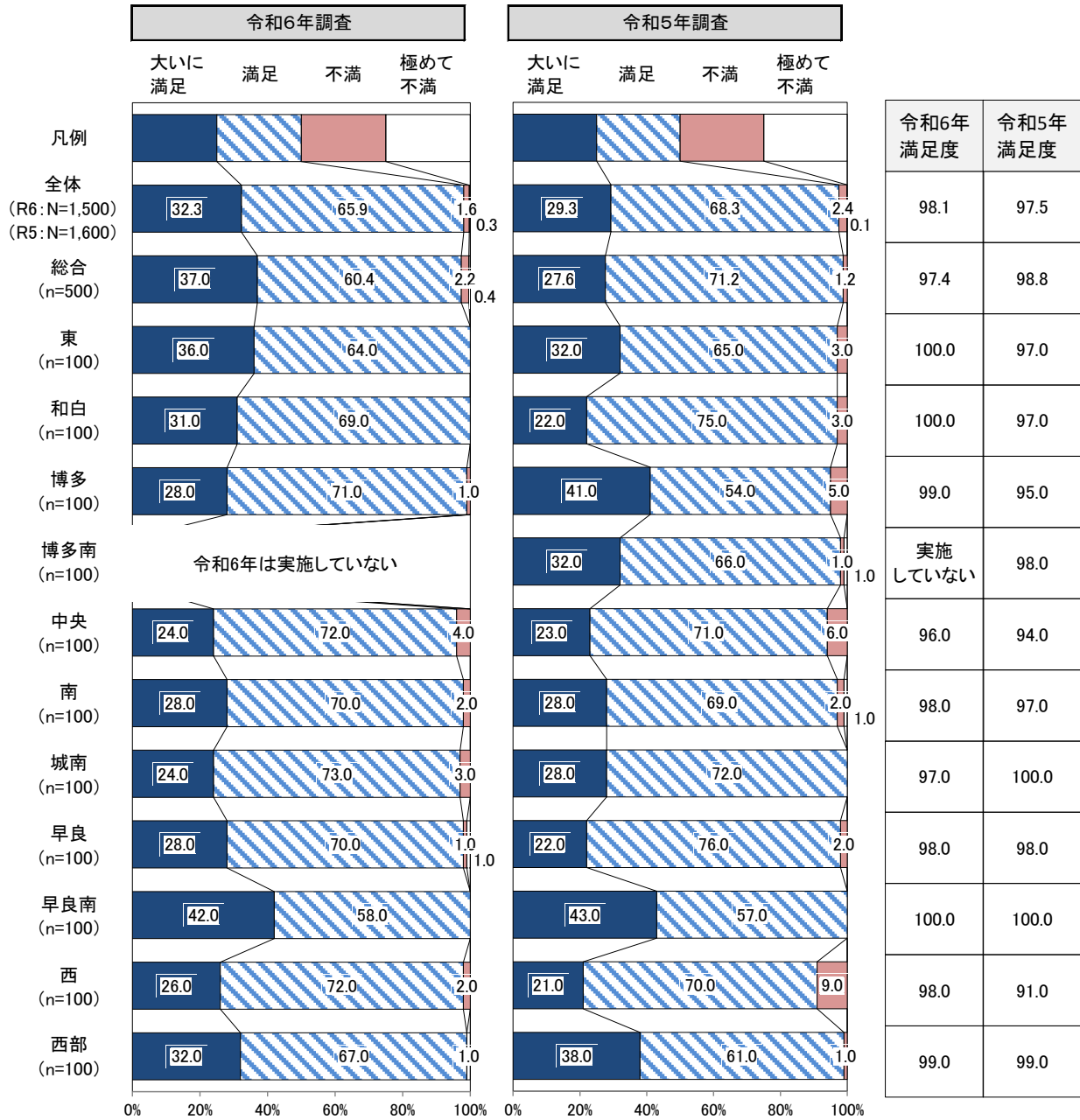
③図書館利用サービス(貸出冊数、貸出期間など)についての評価



④開館時間及び休館日についての評価



⑤総合な評価



IV. 時系列比較

<数表>

※R2(2020)年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施していない

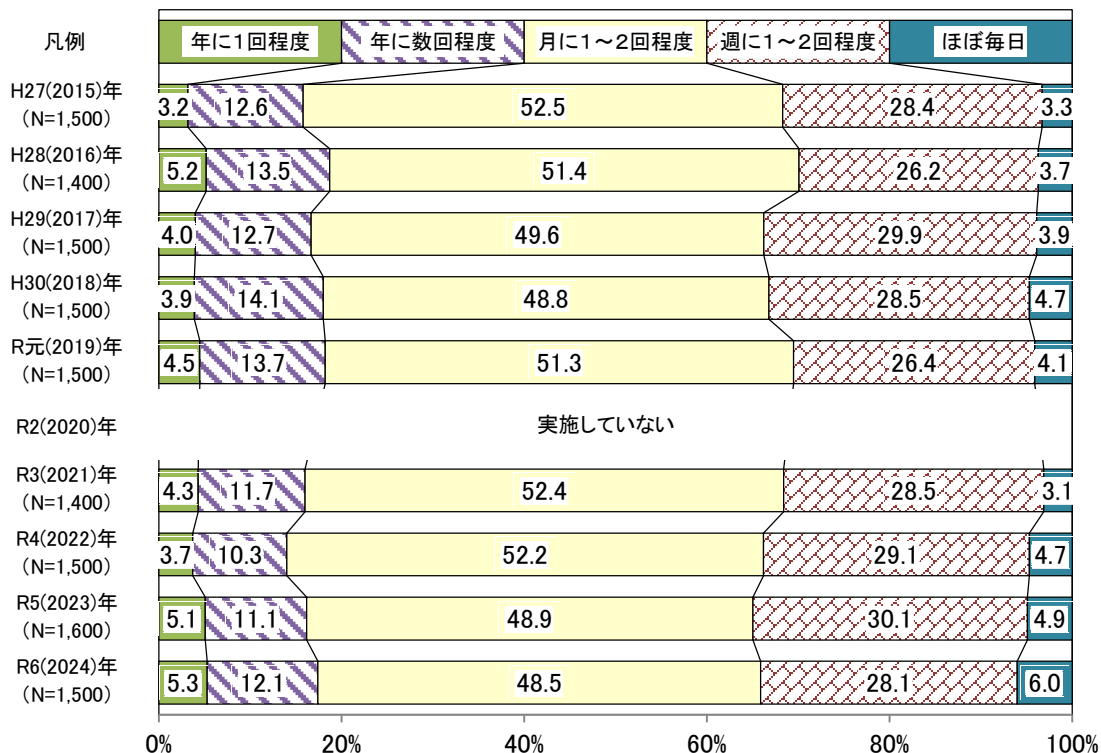
①来館頻度

		(人)					(%)				
		年に1回程度	年に数回程度	月に1～2回程度	週に1～2回程度	ほぼ毎日	年に1回程度	年に数回程度	月に1～2回程度	週に1～2回程度	ほぼ毎日
全体	H27(2015)年 (N=1,500)	48	189	787	426	50	3.2	12.6	52.5	28.4	3.3
	H28(2016)年 (N=1,400)	73	189	719	367	52	5.2	13.5	51.4	26.2	3.7
	H29(2017)年 (N=1,500)	60	190	744	448	58	4.0	12.7	49.6	29.9	3.9
	H30(2018)年 (N=1,500)	59	211	732	427	71	3.9	14.1	48.8	28.5	4.7
	R元(2019)年 (N=1,500)	67	206	770	396	61	4.5	13.7	51.3	26.4	4.1
	R2(2020)年	実施していない					実施していない				
	R3(2021)年 (N=1,400)	60	164	734	399	43	4.3	11.7	52.4	28.5	3.1
	R4(2022)年 (N=1,500)	55	155	783	436	71	3.7	10.3	52.2	29.1	4.7
	R5(2023)年 (N=1,600)	81	178	782	481	78	5.1	11.1	48.9	30.1	4.9
	R6(2024)年 (N=1,500)	79	182	727	422	90	5.3	12.1	48.5	28.1	6.0
総合	H27(2015)年 (n=500)	15	68	252	148	17	3.0	13.6	50.4	29.6	3.4
	H28(2016)年 (n=500)	37	80	245	117	21	7.4	16.0	49.0	23.4	4.2
	H29(2017)年 (n=500)	25	73	229	159	14	5.0	14.6	45.8	31.8	2.8
	H30(2018)年 (n=500)	37	102	231	113	17	7.4	20.4	46.2	22.6	3.4
	R元(2019)年 (n=500)	50	97	225	114	14	10.0	19.4	45.0	22.8	2.8
	R2(2020)年	実施していない					実施していない				
	R3(2021)年 (n=500)	16	51	270	138	25	3.2	10.2	54.0	27.6	5.0
	R4(2022)年 (n=500)	16	55	248	152	29	3.2	11.0	49.6	30.4	5.8
	R5(2023)年 (n=500)	20	56	239	149	36	4.0	11.2	47.8	29.8	7.2
	R6(2024)年 (n=500)	34	72	219	143	32	6.8	14.4	43.8	28.6	6.4
分館計	H27(2015)年 (n=1,000)	33	121	535	278	33	3.3	12.1	53.5	27.8	3.3
	H28(2016)年 (n=900)	36	109	474	250	31	4.0	12.1	52.7	27.8	3.4
	H29(2017)年 (n=1,000)	35	117	515	289	44	3.5	11.7	51.5	28.9	4.4
	H30(2018)年 (n=1,000)	22	109	501	314	54	2.2	10.9	50.1	31.4	5.4
	R元(2019)年 (n=1,000)	17	109	545	282	47	1.7	10.9	54.5	28.2	4.7
	R2(2020)年	実施していない					実施していない				
	R3(2021)年 (n=900)	44	113	464	261	18	4.9	12.6	51.6	29.0	2.0
	R4(2022)年 (n=1,000)	39	100	535	284	42	3.9	10.0	53.5	28.4	4.2
	R5(2023)年 (n=1,100)	61	122	543	332	42	5.5	11.1	49.4	30.2	3.8
	R6(2024)年 (n=1,000)	45	110	508	279	58	4.5	11.0	50.8	27.9	5.8

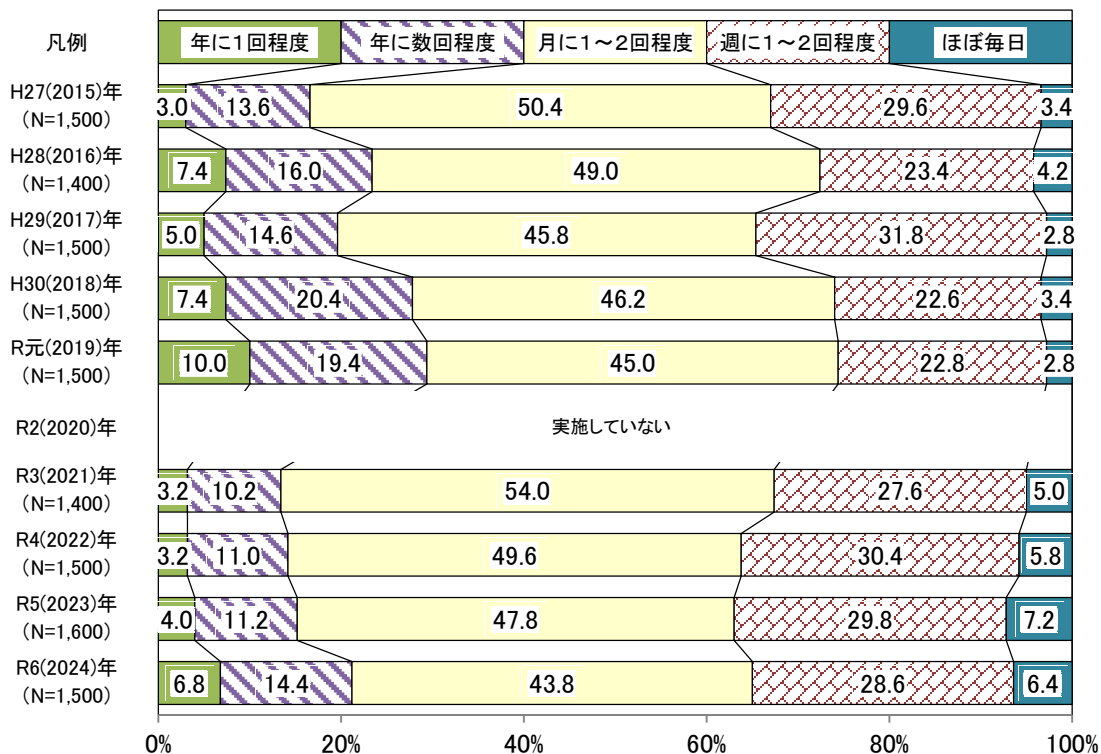
<来館頻度推移>

※R2(2020)年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施していない

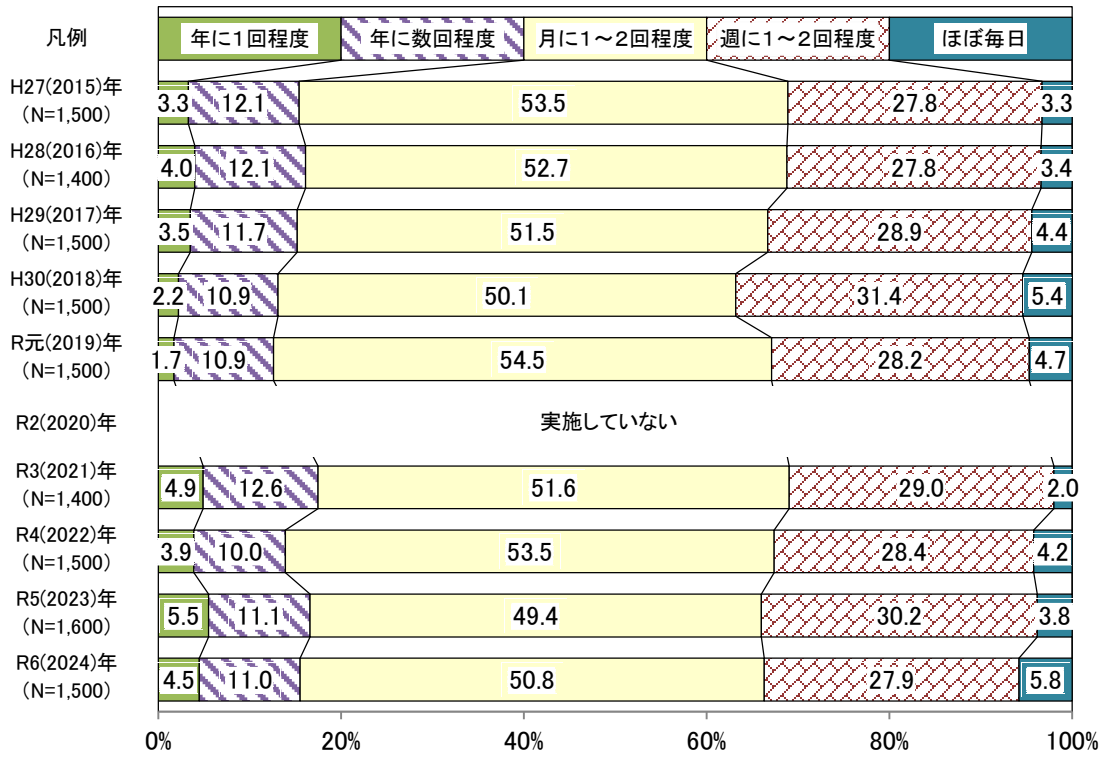
【全体】



【総合】



【分館計】

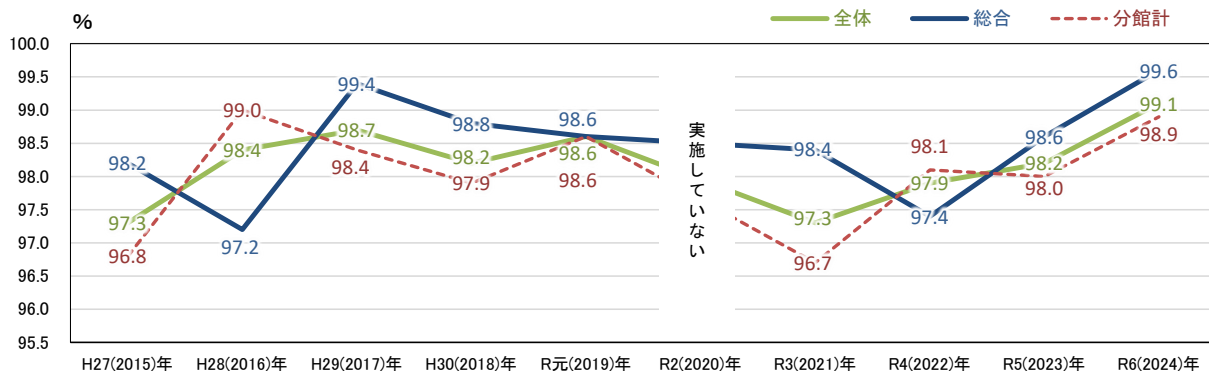


<満足度推移>

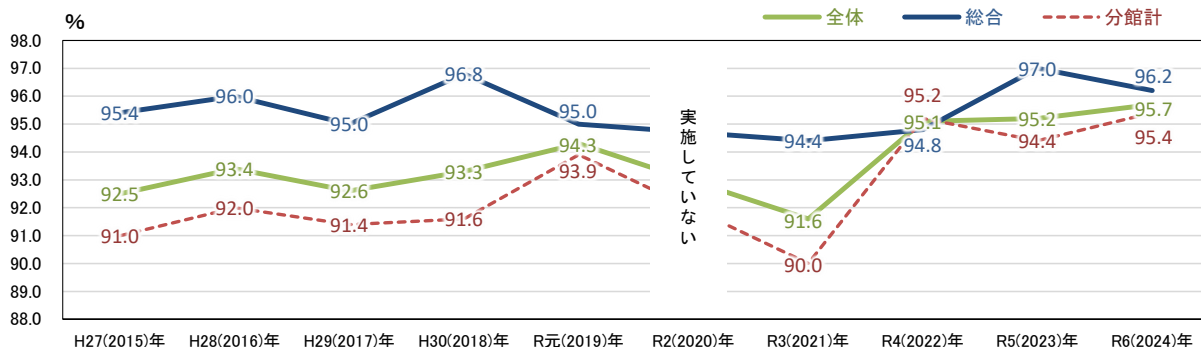
※R2(2020)年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施していない

全体【N=1,500 (H27・H29・H30・R元・R4: N=1,500)
(H28・R3: N=1,400) (R5: N=1,600)】
総合【n=500】
分館計【n=1,000 (H27・H29・H30・R元・R4: n=1,000)
(H28・R3: n=900) (R5: n=1,100)】

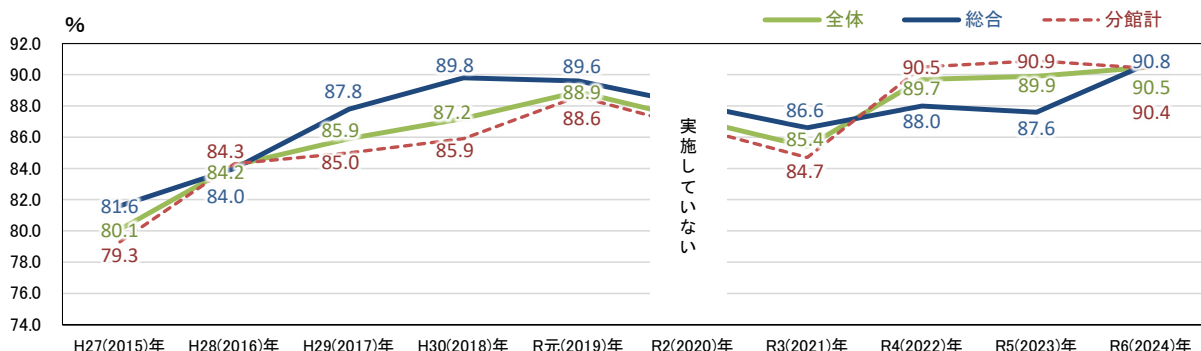
■窓口サービス(あいさつ、接遇など)についての評価



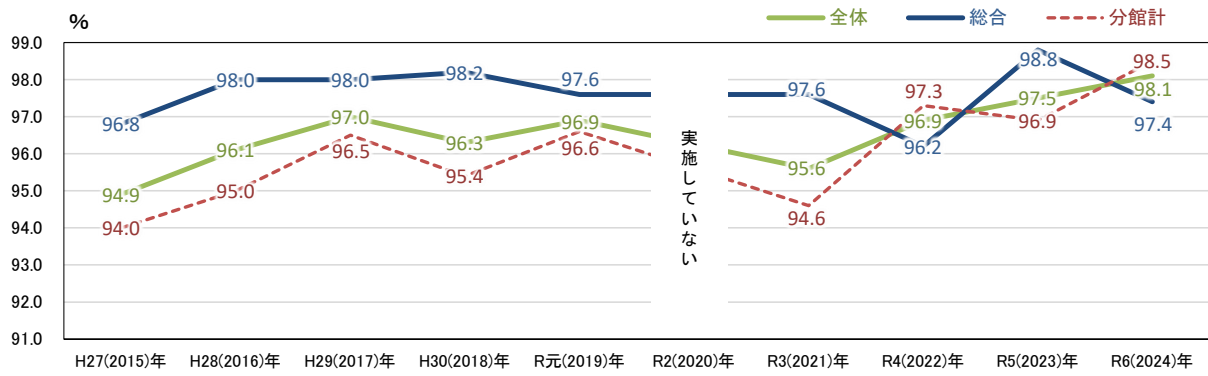
■図書館利用サービス(貸出冊数、貸出期間など)についての評価



■開館時間及び休館日についての評価



■総合的な評価



V. 調査票

図書館ご利用者アンケート

日頃より、福岡市の図書館をご利用いただきありがとうございます。
図書館のご利用について、アンケートのご協力をお願いいたします。

(1) 福岡市の図書館はどれくらいご利用されていますか。

- ① 年に1回程度 ② 年に数回程度 ③ 月に1~2回程度 ④ 週に1~2回程度 ⑤ ほぼ毎日

(2) 窓口サービスはいかがですか。(あいさつ, 接遇など)

- ① 大いに満足 ② 満足 ③ 不満 ④ 極めて不満

(3) 図書館利用サービスはいかがですか。(貸出冊数, 貸出日数など)

- ① 大いに満足 ② 満足 ③ 不満 ④ 極めて不満

(4) 開館時間及び休館日はいかがですか。

- ① 大いに満足 ② 満足 ③ 不満 ④ 極めて不満

(5) どの時間帯に図書館を利用したいですか。

- ① 9時~11時 ② 11時~13時 ③ 13時~15時 ④ 15時~17時 ⑤ 17時~19時

(6) 総合的にいかがですか。

- ① 大いに満足 ② 満足 ③ 不満 ④ 極めて不満

ご協力ありがとうございました。今後の運営に活用させていただきます。

調査地点番号	調査日	調査員番号

図書館要覧

令和6年度

抜粋

福岡市総合図書館

FUKUOKA CITY PUBLIC LIBRARY

2.分館の施設概要

東図書館	〒813-0044 福岡市東区千早4丁目21番45号 なみきスクエア内 TEL(092)674-3982 FAX(092)674-3973 昭和52年7月16日開館(平成28年6月4日現在地へ移転開館) /753㎡(1階) (鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建一部4階建、延11,566㎡)
和白図書館	〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目22番27号 和白地域交流センター内 TEL(092)608-8490 FAX(092)608-8495 平成15年8月9日開館 /644㎡(4階) (鉄筋コンクリート造6階建、延4,924㎡)
博多図書館	〒812-0015 福岡市博多区山王1丁目13番10号 博多市民センター内 TEL(092)472-5996 FAX(092)472-5999 昭和58年8月26日開館 /541㎡(3階) (鉄筋コンクリート造5階建、延4,123㎡)
博多南図書館	〒812-0883 福岡市博多区南本町2丁目3番1号 博多南地域交流センター内 TEL(092)502-8580 FAX(092)502-8579 平成12年1月30日開館 /563㎡(2階) (鉄筋コンクリート造11階建、延18,279㎡うち福岡市部分8,577㎡)
中央図書館	〒810-0042 福岡市中央区赤坂2丁目5番8号 中央市民センター内 TEL(092)751-9534 FAX(092)751-9535 昭和55年3月23日開館 /486㎡(1階) (鉄筋コンクリート造3階建一部4階建、延3,406㎡)
南図書館	〒815-0032 福岡市南区塩原2丁目8番2号 南市民センター内 TEL(092)561-3048 FAX(092)561-3054 昭和53年7月22日開館(令和4年8月27日改築開館) /540㎡(1階) (鉄筋コンクリート造地下1階地上2階建一部4階建、延6,581㎡)
城南図書館	〒814-0142 福岡市城南区片江5丁目3番25号 城南市民センター内 TEL(092)864-4823 FAX(092)864-4824 昭和59年8月1日開館 /562㎡(1階) (鉄筋コンクリート造4階建、延4,068㎡)
早良図書館	〒814-0006 福岡市早良区百道2丁目2番1号 早良市民センター内 TEL(092)845-8835 FAX(092)845-8841 昭和57年2月14日開館 /520㎡(2階) (鉄筋コンクリート造4階建一部5階建、延4,099㎡)
早良南図書館	〒814-0176 福岡市早良区四箇田団地9番1号 早良南地域交流センター内 TEL(092)400-0690 FAX(092)400-0691 令和3年11月6日開館 /665㎡(1階) (鉄筋コンクリート造4階建、延5,182㎡)
西図書館	〒819-0005 福岡市西区内浜1丁目4番39号 西市民センター内 TEL(092)884-3874 FAX(092)884-3895 昭和63年3月1日開館 /453㎡及び児童図書室99㎡ 計552㎡(1階) (鉄筋コンクリート造4階建、延5,208㎡)
西部図書館	〒819-0367 福岡市西区西都2丁目1番1号 西部地域交流センター内 TEL(092)807-8802 FAX(092)807-8884 平成22年7月20日開館 /610㎡(2階) (鉄筋コンクリート造3階建、延9,958㎡)

※ 市民センター内にある分館の開館年月日は、市民センターの開館年月日を表示

3.総合図書館及び分館の入館者数

	令和5年度	令和4年度
総合図書館	639千人	576千人
東図書館	388千人	377千人
和白図書館	100千人	94千人
博多図書館	80千人	82千人
博多南図書館	86千人	88千人
中央図書館	144千人	146千人
南図書館	168千人	102千人
城南図書館	181千人	182千人
早良図書館	124千人	116千人
早良南図書館	185千人	170千人
西図書館	154千人	151千人
西部図書館	129千人	125千人

* 南市民センターの大規模改修工事に伴う、南図書館の長期休館

令和3年1月5日から令和4年8月26日まで

* 博多南地域交流センターの空調設備更新工事に伴う、博多南図書館の長期休館

令和6年2月29日から令和6年10月末まで

総合図書館・分館の活動及び実績

(1) 資料の収集状況

ア 図 書

区 分		令和5年度収集			除籍等	令和5年度末 蔵書冊数	
		購入	寄贈等	計			
総合 図書館	一般	一般図書	3,709	880	4,589	11,243	715,722
		参考図書	314	79	393	61	69,180
		国際資料	400	268	668	5	80,558
		郷土資料	311	333	644	0	105,921
	小 計	4,734	1,560	6,294	11,309	971,381	
	こども	児童研究資料	188	39	227	38	31,144
		児童資料	1,192	226	1,418	1,385	107,227
		小 計	1,380	265	1,645	1,423	138,371
	団体 貸出	一般図書	690	27	717	140	54,007
		児童図書	1,632	17	1,649	1,848	131,009
		小 計	2,322	44	2,366	1,988	185,016
	計	8,436	1,869	10,305	14,720	1,294,768	
東	一般図書	801	270	1,071	652	52,681	
	児童図書	525	140	665	182	23,698	
	小 計	1,326	410	1,736	834	76,379	
和白	一般図書	757	149	906	1,427	57,151	
	児童図書	389	51	440	159	24,615	
	小 計	1,146	200	1,346	1,586	81,766	
博多	一般図書	647	170	817	959	42,669	
	児童図書	446	73	519	399	21,410	
	小 計	1,093	243	1,336	1,358	64,079	
博多南	一般図書	823	44	867	1,156	48,553	
	児童図書	383	23	406	301	27,762	
	小 計	1,206	67	1,273	1,457	76,315	
中央	一般図書	800	102	902	1,582	44,213	
	児童図書	421	53	474	536	20,000	
	小 計	1,221	155	1,376	2,118	64,213	
南	一般図書	780	153	933	964	45,018	
	児童図書	386	61	447	360	18,168	
	小 計	1,166	214	1,380	1,324	63,186	
城南	一般図書	624	88	712	701	46,133	
	児童図書	505	22	527	327	19,605	
	小 計	1,129	110	1,239	1,028	65,738	
早良	一般図書	628	163	791	1,415	40,906	
	児童図書	476	20	496	521	20,525	
	小 計	1,104	183	1,287	1,936	61,431	
早良南	一般図書	724	100	824	88	44,668	
	児童図書	466	43	509	43	17,486	
	小 計	1,190	143	1,333	131	62,154	
西	一般図書	691	101	792	826	42,638	
	児童図書	428	36	464	289	17,837	
	小 計	1,119	137	1,256	1,115	60,475	
西部	一般図書	683	63	746	887	52,930	
	児童図書	394	50	444	148	17,789	
	小 計	1,077	113	1,190	1,035	70,719	
分館計		12,777	1,975	14,752	13,922	746,455	
合 計		21,213	3,844	25,057	28,642	2,041,223	

(単位：冊)

区 分		令和4年度末 蔵書冊数	令和3年度末 蔵書冊数	令和2年度末 蔵書冊数	令和元年度末 蔵書冊数	
総合図書館	一般	一般図書	722,376	724,605	732,214	737,293
		参考図書	68,848	68,427	68,167	67,768
		国際資料	79,895	79,019	78,321	77,396
		郷土資料	105,277	104,713	103,979	103,062
		小 計	976,396	976,764	982,681	985,519
	こども	児童研究資料	30,955	30,841	30,504	30,042
		児童資料	107,194	107,151	108,381	110,805
		小 計	138,149	137,992	138,885	140,847
	団体 貸出	一般図書	53,430	53,463	52,983	52,318
		児童図書	131,208	134,549	135,741	137,209
		小 計	184,638	188,012	188,724	189,527
	計		1,299,183	1,302,768	1,310,290	1,315,893
	東	一般図書	52,262	51,745	50,892	49,135
児童図書		23,215	22,880	22,450	22,183	
小 計		75,477	74,625	73,342	71,318	
和白	一般図書	57,672	57,055	56,540	56,974	
	児童図書	24,334	24,133	23,960	23,847	
	小 計	82,006	81,188	80,500	80,821	
博多	一般図書	42,811	43,621	43,900	45,663	
	児童図書	21,290	21,394	21,073	21,227	
	小 計	64,101	65,015	64,973	66,890	
博多南	一般図書	48,842	48,071	48,645	48,562	
	児童図書	27,657	27,255	27,439	27,191	
	小 計	76,499	75,326	76,084	75,753	
中央	一般図書	44,893	44,410	46,240	45,652	
	児童図書	20,062	19,755	19,819	19,487	
	小 計	64,955	64,165	66,059	65,139	
南	一般図書	45,049	44,277	43,367	44,928	
	児童図書	18,081	17,671	17,366	17,941	
	小 計	63,130	61,948	60,733	62,869	
城南	一般図書	46,122	45,973	46,385	45,946	
	児童図書	19,405	19,194	19,076	18,777	
	小 計	65,527	65,167	65,461	64,723	
早良	一般図書	41,530	43,075	43,429	43,665	
	児童図書	20,550	20,791	20,799	20,518	
	小 計	62,080	63,866	64,228	64,183	
早良南	一般図書	43,932	43,192	18,567	0	
	児童図書	17,020	16,510	11,944	0	
	小 計	60,952	59,702	30,511	0	
西	一般図書	42,672	42,706	42,565	41,896	
	児童図書	17,662	17,356	17,328	17,210	
	小 計	60,334	60,062	59,893	59,106	
西部	一般図書	53,071	52,750	53,176	53,515	
	児童図書	17,493	17,209	17,291	17,143	
	小 計	70,564	69,959	70,467	70,658	
分館計		745,625	741,023	712,251	681,460	
合 計		2,044,808	2,043,791	2,022,541	1,997,353	

イ 逐次刊行物収集一覧（令和6年4月1日現在）

（単位：種）

区分	購入						その他の寄贈	
	雑誌		新聞		法令集 追録	国会議 事録他	雑誌	新聞
	日本	外国	日本	外国				
総合	417	39	36	10	6	2	441	9
東	72	－	7	－	－	－	5	7
和白	83	－	8	－	－	－	4	7
博多	52	－	6	－	－	－	3	4
博多南	67	－	6	－	－	－	2	5
中央	48	－	6	－	－	－	6	5
南	64	－	6	－	－	－	7	3
城南	60	－	6	－	－	－	4	5
早良	53	－	6	－	－	－	3	6
早良南	59	－	6	－	－	－	2	－
西	53	－	6	－	－	－	2	5
西部	56	－	7	－	－	－	3	7

ウ マイクロフィルム（令和6年4月1日現在）

（単位：巻）

新聞	雑誌	明治期 刊行図書	官報	一般資料	計
6,184	53	16,358	1,079	722	24,396

エ オンラインデータベース（令和6年4月1日現在）

タイトル数 7種類

(2) 資料の利用状況

ア 個人登録者数

（単位：人）

区分	令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	一般	児童・生徒	計	一般	児童・生徒	計	一般	児童・生徒	計
総合	107,027	19,915	126,942	100,537	19,455	119,992	189,269	23,842	213,111
東	40,154	9,178	49,332	37,099	8,901	46,000	44,493	9,278	53,771
和白	11,922	2,125	14,047	11,197	2,104	13,301	21,001	2,819	23,820
博多	13,690	2,673	16,363	12,638	2,583	15,221	21,982	3,353	25,335
博多南	11,527	3,025	14,552	10,759	2,934	13,693	20,674	3,776	24,450
中央	21,913	2,851	24,764	20,492	2,764	23,256	33,077	3,318	36,395
南	22,819	5,016	27,835	20,221	4,621	24,842	36,690	5,569	42,259
城南	18,464	4,483	22,947	17,382	4,426	21,808	30,837	5,446	36,283
早良	10,858	2,448	13,306	10,209	2,397	12,606	16,849	2,873	19,722
早良南	4,081	1,625	5,706	2,993	1,199	4,192	1,628	680	2,308
西	20,008	4,136	24,144	18,830	4,094	22,924	32,529	5,197	37,726
西部	14,408	3,880	18,288	13,374	3,861	17,235	19,468	4,644	24,112
分館計	189,844	41,440	231,284	175,194	39,884	215,078	279,228	46,953	326,181
デジタル	843	80	923	127	1	128	－	－	－
アミカス	5,714	656	6,370	5,275	638	5,913	6,906	646	7,552
合計	303,428	62,091	365,519	281,133	59,978	341,111	475,403	71,441	546,844

※デジタルとは、ふくおかサポートを利用した新規のデジタル貸出カードの登録をいう。

イ 個人貸出冊数

(単位：冊、%)

区分	令和5年度			自動貸出機		令和4年度	令和3年度	令和2年度
	一般書	児童書	計	利用冊数	割合			
総合	610,471	327,925	938,396	440,609	47.0%	991,177	941,403	931,291
東	315,224	208,029	523,253	240,394	45.9%	537,730	433,446	450,200
和白	88,806	45,214	134,020	76,931	57.4%	137,652	118,489	126,369
博多	74,393	61,013	135,406	70,593	52.1%	157,348	156,332	134,226
博多南	72,790	51,701	124,491	58,220	46.8%	141,416	125,861	118,994
中央	170,464	83,448	253,912	99,439	39.2%	273,184	234,826	241,988
南	175,723	134,702	310,425	135,102	43.5%	184,237	0	180,612
城南	171,183	108,182	279,365	136,052	48.7%	302,281	277,269	290,953
早良	127,687	70,185	197,872	81,561	41.2%	193,467	131,449	177,208
早良南	198,473	159,548	358,021	249,805	69.8%	341,407	132,609	0
西	173,008	92,684	265,692	110,859	41.7%	277,825	231,763	256,109
西部	121,246	84,819	206,065	119,759	58.1%	216,751	181,573	209,544
分館計	1,688,997	1,099,525	2,788,522	1,378,715	49.4%	2,763,298	2,023,617	2,186,203
アミカス・科学館	121,850	36,092	157,942	0	0.0%	168,943	143,065	134,045
合計	2,421,318	1,463,542	3,884,860	1,819,324	46.8%	3,923,418	3,108,085	3,251,539

ウ 個人貸出利用者数

(単位：人)

区分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
総合	258,717	267,616	250,124	244,364	301,590
東	165,394	164,895	130,255	136,136	167,885
和白	40,009	39,390	31,828	34,987	45,813
博多	37,414	42,467	39,954	36,200	40,040
博多南	35,578	39,405	34,294	34,414	41,386
中央	85,637	90,227	74,174	77,166	91,371
南	85,776	48,802	0	49,197	85,546
城南	77,816	81,548	73,179	77,966	94,988
早良	69,331	67,038	43,984	59,236	73,255
早良南	88,264	83,979	32,836	0	0
西	90,719	93,229	75,858	83,791	101,881
西部	62,646	64,560	51,430	59,473	77,126
分館計	838,584	815,540	587,792	648,566	819,291
アミカス・科学館	71,851	73,595	59,658	56,930	58,003
合計	1,169,152	1,156,751	897,574	949,860	1,178,884

カ 福岡市電子図書館

インターネットを通じて、パソコンやタブレット、スマートフォン等から電子書籍を無料で借りて読むことができる電子図書館を令和3年3月3日に開館した。

利用対象者は、福岡市内に在住している人、又は福岡市内に通勤、通学している人で、有効な総合図書館貸出カードを持っている人である。

○電子書籍の利用状況等（各年度：3月31日現在）

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度
貸出人数	20,762 人	20,110 人	20,715 人
貸出点数	32,280 点	30,094 点	31,197 点
コンテンツ数	11,737 点	10,852 点	9,643 点

キ 予約（リクエスト）サービス

(ア) 館別予約冊数

(単位：冊)

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
総 合	194,730	208,193	244,620	165,384	161,614
東	162,554	160,951	131,057	129,105	127,998
和 白	31,693	30,788	23,218	25,567	27,278
博 多	36,385	40,471	39,929	33,790	32,571
博多南	30,977	38,608	33,041	30,429	32,639
中 央	98,973	104,968	85,959	85,618	84,375
南	84,787	45,931	7	48,290	74,017
城 南	78,409	86,514	78,297	75,848	77,946
早 良	68,504	64,350	40,215	56,436	59,321
早良南	46,366	41,701	14,284	-	-
西	100,973	103,832	85,357	91,673	94,314
西 部	57,411	58,398	46,181	50,619	54,987
分 館 計	797,032	776,512	577,545	627,375	665,446
アミカス・科学館	136,558	141,073	113,915	109,478	98,188
合 計	1,128,320	1,125,778	936,080	902,237	925,248

(イ) 方法別予約冊数

(単位：冊)

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
インターネット	977,271	976,196	809,493	760,157	735,618
館内検索機（OPAC）	66,507	65,814	52,187	57,865	84,046
リクエストカード・電話	84,542	83,768	74,400	84,215	105,584
合 計	1,128,320	1,125,778	936,080	902,237	925,248

(ウ) WebOPAC検索件数

(単位：件)

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
アクセス件数	646,329	692,610	700,205	717,088	860,606

※ インターネットからの蔵書検索回数

ク 相談事務

(単位：件)

区 分		総合図書館			分 館	合 計
		主題別 部 門	ポピュラー 部 門	こども 図書館		
レファレンス	窓 口	14,185	10,552	6,268	24,484	55,489
	電 話	8,207	0	25	6,872	15,104
	文 書	7	0	0	0	7
	メール	88	0	4	0	92
	小 計	22,487	10,552	6,297	31,356	70,692
利用案内	窓 口	9,712	15,080	3,049	34,551	62,392
	電 話	3,265	4,361	21	15,804	23,451
	文 書	0	0	0	0	0
	メール	23	0	0	0	23
	小 計	13,000	19,441	3,070	50,355	85,866
合 計	窓 口	23,897	25,632	9,317	59,035	117,881
	電 話	11,472	4,361	46	22,676	38,555
	文 書	7	0	0	0	7
	メール	111	0	4	0	115
	小 計	35,487	29,993	9,367	81,711	156,558

※ レファレンスの部門別内訳

(単位：件)

区 分	所蔵調査	書誌調査	文献調査	事実調査	計
一 般 参 考 部 門	753	5	124	3	885
人 文 科 学 部 門	9,962	137	2,284	39	12,422
社 会 科 学 部 門	2,136	35	330	19	2,520
自 然 科 学 部 門	2,157	23	404	6	2,590
国 際 資 料 部 門	2,692	2	821	150	3,665
国 連 資 料 部 門	234	0	91	80	405
計	17,934	202	4,054	297	22,487

○ 国立国会図書館のレファレンス協同データベース登録状況

(単位：件)

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
事例登録数	117	104	129	125	110
事例被参照数	284,703	248,545	315,923	253,524	212,402

※全国の図書館等がレファレンス事例を登録し、図書館員や一般利用者に提供するシステム

ケ 郵送貸出サービス（障がい者向け）

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用回数（回）	1,300	1,038	1,076	955	943
貸出冊数（冊）	2,241	1,916	2,146	2,628	1,770

コ 複写サービス

（単位：枚）

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
電子（モノクロ） （CD-ROM含む）	154,737	148,040	141,344	172,028	249,613
電子（カラー）	2,788	2,426	1,676	1,778	3,875
マイクロフィルム	10,926	14,709	4,876	5,059	9,483
計	168,451	165,175	147,896	178,865	262,971

（3）その他の利用状況

ア マイクロフィルム等閲覧件数

（単位：件）

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
マイクロフィルム	981	567	475	456	1,815
オンラインデータベース	952	689	617	753	1,127
インターネット	1,148	1,090	840	126	5,756

イ 国立国会図書館 デジタル化資料送信サービス利用状況

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用者数（人）	128	113	132	127	202
複写タイトル数（件）	64	136	396	225	287
【再掲】複写枚数（枚）	746	1,174	3,910	3,289	2,668

※国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料が対象

ウ ボランティア活動実績

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
登録者数	49 人	63 人	125 人	46 人	74 人
1日平均活動人員	3.67 人	4.12 人	3.84 人	3.06 人	4.35 人
1回あたりの平均活動時間	1時間51分	1時間49分	1時間50分	2時間3分	1時間45分
総活動時間	1,982時間	2,208時間	1,564時間	1,545時間	2,070時間

令和4年度
福岡市総合図書館の運営に関する評価

令和5年10月
福岡市総合図書館

福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議委員名簿

(五十音順)

	所 属 等
上村 篤子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (社会教育関係)
岡本 洋幸	公益財団法人九州経済調査協会 総務企画部次長兼BIZCOLI館長
白根 恵子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (学識経験者)
増田 亜希子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (家庭教育関係)
安永 行政	福岡市総合図書館運営審議会委員 (本市の住民)

○新ビジョン事業計画一覧表

図書館像	項目		内容	内部評価	外部評価
誰もが楽しめる 魅力ある図書館	図書資料の貸出・ 返却拠点の新設	1	分館の新設	A	A(4)B(1)C(0)D(0)
		2	貸出・返却拠点等の新設	B	A(0)B(5)C(0)D(0)
	利用時間の見直し	3	休館日、開館時間の見直し	B	A(1)B(3)C(1)D(0)
	図書館イベントの充実	4	図書館イベントの充実	B	A(2)B(3)C(0)D(0)
	快適な空間づくり	5	快適な空間づくり	A	A(2)B(3)C(0)D(0)
さまざまな情報を求める 市民に応える図書館	図書館サービスの充実	6	資料収集の充実	A	A(4)B(1)C(0)D(0)
		7	レファレンス(相談)サービスの充実	A	A(4)B(1)C(0)D(0)
		8	課題解決型支援の充実	A	A(4)B(1)C(0)D(0)
	地域読書活動への支援	9	団体貸出先の拡大	B	A(1)B(4)C(0)D(0)
		10	地域読書活動への支援	A	A(4)B(1)C(0)D(0)
市関連施設の図書室の 相互協力	11	市施設の図書室との相互協力	B	A(1)B(4)C(0)D(0)	
子どもと本をつないで 豊かな心を育む図書館	子どもへの読書普及	12	モデル児童図書目録の配布	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
		13	子どもの貸出カード作成推進	B	A(0)B(5)C(0)D(0)
		14	ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化	B	A(2)B(3)C(0)D(0)
		15	読書活動ボランティア講座の強化	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
	学校図書館への支援	16	学校図書館支援センターの充実	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
総合図書館の特色を 生かした図書館	映像資料部門の充実	17	図書館外施設での映像資料上映事業	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
		18	資料展示事業	B	A(0)B(5)C(0)D(0)
	文書資料部門の充実	19	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実	B	A(1)B(4)C(0)D(0)
		20	文学館の利用拡大	B	A(2)B(3)C(0)D(0)
効率的で効果的な 図書館運営	図書館運営の強化	21	運営方法の検討	A	A(5)B(0)C(0)D(0)
		22	図書館ボランティアとの共働きの推進	B	A(1)B(4)C(0)D(0)
		23	職員の育成及び技術向上	B	A(2)B(3)C(0)D(0)
		24	施設の有効活用などによる財源確保	B	A(0)B(5)C(0)D(0)
	情報発信の推進	25	情報発信の推進	A	A(5)B(0)C(0)D(0)

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判定	評価内容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(総括)

福岡市総合図書館新ビジョン基本理念	
市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館	
利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。	

成 果 指 標					
成 果 指 標	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
図書館利用者における 図書館サービスの満足度 【令和5年度:90%】 ＜総合図書館開館日＞	88.9% (+1.7)	—	85.4% (-)	89.7% (+4.3)	89.9% (+0.2)
	290日	271日	246日	221日	288日
※図書館サービスに関する調査3項目の満足度のうち、最も低い値を成果とした					
※()は前年度からの増減					
※令和元年度は利用者アンケート調査を実施せず。					

目 標 数 値					
目 標 数 値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①入館者数 【令和5年度:3,500千人】	—	2,627,641人	1,640,847人 [-986,794] [-37.6%]	1,543,636人 [-97,211] [-5.9%]	2,215,702人 [672,066] [43.5%]
②個人貸出冊数 【令和5年度:4,800千冊】	4,108,973冊 [-58,073] [-1.4%]	3,958,372冊 [-150,601] [-3.7%]	3,251,539冊 [-706,833] [-17.9%]	3,108,085冊 [-143,454] [-4.4%]	3,923,418冊 [815,333] [26.2%]
③貸出利用者数 【令和5年度:1,400千人】	1,214,402人 [+3,106] [+0.3%]	1,178,884人 [-35,518] [-2.9%]	949,860人 [-229,024] [-19.4%]	897,574人 [-52,286] [-5.5%]	1,156,751人 [259,177] [28.9%]
④新規登録者数 【令和5年度:30千人】	24,712人 [-1,495] [-5.7%]	22,528人 [-2,184] [-8.8%]	16,558人 [-5,970] [-26.5%]	18,648人 [2,090] [12.6%]	21,363人 [2,715] [14.6%]
※入館者数については、平成30年度は装置の不具合が判明したため非表示。					
※[]は前年度からの増減。					
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館					
令和元年度 総合図書館のみ 令和2年2月27日から同年3月20日まで					
令和2年度 総合図書館及び分館 令和2年4月4日から同年5月25日まで					
令和3年度 総合図書館及び分館 令和3年5月12日から同年6月20日まで					
※南市民センターの大規模改修工事に伴う、南図書館の長期休館					
令和3年1月5日から令和4年8月26日まで					

内 部 評 価	事業別評価	
<p>〈評価〉</p> <p>成果指標である「図書館サービスの満足度」は89.9%となっており、前年度と比べ微増ではあるが、非常に高い水準を保っており、目標の90%まで僅かな状況である。また、国の方針に基づき、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図ったことから、4つの目標数値すべて大幅にプラスに転じている。</p> <p>事業別評価については、コロナ禍により縮小されていた事業について昨年度と比較して推進できた事業もあるが、コロナ前と同様の取組みができなかった事業も多く、昨年度と比べてマイナス評価となっている。</p> <p>〈対応〉</p> <p>コロナ禍により公共施設が受ける影響も徐々に解消しつつあり、福岡市総合図書館新ビジョンの推進及び目標達成に向けて、計画的に事業を実施するとともに、図書館サービスの向上を図るための取組みを推進していく。</p>	A評価	12事業
	B評価	13事業
	C評価	—
	D評価	—

外部評価

- ・コロナ禍の中、図書館業務、運営についてはご苦勞があったと推察する。その中で、サービスの満足度指数が高水準を保っていることは高く評価できよう。一方では、目標数値がすべてプラスに転じているとはあっても、新型コロナウイルス感染症以前の数値には及んでおらず、これからという印象があるのも事実である。利用者のニーズはコロナ禍を経て、また時代とともに大きく変化しており、高度な情報化社会へと転換しつつあるはずなので、その対応なども視野に入れた施策を構築する時期に来ていると思われる。
- ・おおむね計画通りに進んでいる。
- ・総合図書館ホームページへのアクセス件数、SNSでの発信件数、オンラインイベントへの参加者数なども積極的に公開し、デジタル時代の図書館職員の頑張りを数字として表現してはどうか。
- ・福岡市総合図書館新ビジョン基本理念には「交流の拠点となる図書館」と記載されているものの、交流拠点の実現にむけた評価項目は見当たらない。取組みの中には交流拠点形成につながる内容もあるため、記載を工夫するとよいだろう。
- ・withコロナは続いており、感染防止対策をとりながら様々な取組みをされていることは評価できる。人口増加に見合う予算の増額はされておらず、文化政策が不十分と感じている。未来は子どもたちにある。子どもたちのタブレット学習があたりまえになり、肉声による「ことば」の教育の機会が失われていっている。本は「ことば」でできている。まずは絵本を親子で楽しむことから始める、子どもの「ことば」と「こころ」を育むためのさらなる多様な取組みが図書館にも求められていると思う。
- ・工夫の上取り組まれていると思う。内部評価と大きく外れることはなかった。それでも内側からでは見えづらい場合は外からの声を積極的に取り入れ、検討が必要なこともあると感じた。また、年代によって利用コンテンツが違うため電子化にも力を入れてほしい。
- ・コロナ禍により減少していた利用状況も順調に回復傾向にあり、利用者満足度も高水準にある。今年度(令和5年)に期待している。

事業別評価

委員①		委員②		委員③		委員④		委員⑤	
A評価	12	A評価	18	A評価	7	A評価	14	A評価	14
B評価	13	B評価	7	B評価	17	B評価	11	B評価	11
C評価	0	C評価	0	C評価	1	C評価	0	C評価	0
D評価	0	D評価	0	D評価	0	D評価	0	D評価	0

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判定	評価内容
A	計画どおり取組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取組んでおらず、不十分である。
D	取組んでいない。

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	分館の新設				
事業計画	早良南地域交流センターの2021年11月の開館に合わせて分館開館準備に取り組みます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	【早良南図書館】 開館準備			◇開館	
令和4年度					
計画	円滑な分館運営を行うため、指定管理者と協議を行いながら調整を図っていく。 また、指定管理による管理運営により、利用者満足度の高い図書館運営を目指す。				
取組状況	早良南図書館については、受付や接遇において利用者の評価が高く、また、近隣の公民館等での出張おはなし会や世代に合わせたイベント等を積極的に実施したり、個人登録者数や個人貸出冊数が目標値を超えるなど、指定管理による円滑な運営管理を行っている。 南図書館が8月27日にリニューアル開館し、特に混乱することなく開館後の運営が行われた。				
令和5年度					
計画	円滑な分館運営を行うことで、利用者満足度の高い図書館運営を目指す。 新たな市民センター等の建替改修等がある場合は、魅力のある分館づくりに努める。				

内部評価 (令和4年度)	
<p>早良南図書館は開館してから1年以上経ち、運営が安定しているとともに、利用者アンケート調査では、窓口サービス(あいさつ、接遇など)や総合評価について満足度が100%と評価が高いことからA評価とする。</p> <p>なお、南図書館のリニューアル開館においても、予定通り開館することができ、多くの市民の方に利用していただいている。</p>	A

外部評価 (令和4年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに進んでおり、内容も十分である。 ・早良南、南図書館ともに快適な空間でコンパクトに作られており、使い勝手がよい。また窓口対応もスムーズであり、高評価に値する。 ・R4年に改築開館した南図書館、R3年に開館した早良南図書館は開館後の運営も順調で、アンケートの満足度も高いことはおおいに評価できる。一方、老朽化した分館(中央図書館S55年、早良図書館S57年、博多図書館S58年)の改築は市民センターのリニューアル待ちとなっており、目途がたっていないため、B評価とした。 ・利用者が満足し、次の利用者を迎えてくれるような場所であるようで良いと思う。このような場所が自分の住まいからいつもの交通手段で行けるような場所があると更に満足度も上がると思う。 ・早良南図書館、南図書館ともに順調に運営されており、喜ばしい。欲を言えば、図書館のスペースがもう少し広げればと思う。高齢者から乳幼児まで、それぞれがゆったり過ごせるとさらに良い結果が得られるのでは。特に夏休み、自由研究や宿題のために図書館を利用する児童も多いのでは。 	A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	貸出・返却拠点等の新設				
事業計画	利用者の利便性の向上を考慮し、交通の便の良い公共施設等における図書の貸出・返却拠点の設置を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討、協議				
			◇設置		
令和4年度					
計画	既設の貸出・返却拠点等の維持に努めるとともに、市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との協議を進める。				
取組状況	令和5年2月末日に返却拠点の一つであった地下鉄西新駅構内「ハートフルショップmomo」が閉店したことに伴い、同施設での図書返却サービスが終了したが、西新駅の構内に返却ポストを新たに設置してもらうことについて、地下鉄事業者と協議をすすめた。				
令和5年度					
計画	引き続き、既設の貸出・返却拠点等の維持に努めるとともに、市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との協議を進める。				

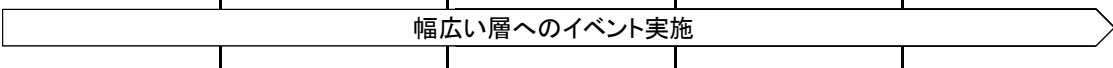
内部評価 (令和4年度)	
既設の貸出・返却拠点等の維持に努めた。 諸事情により西新駅構内の返却拠点が廃止となったが、地下鉄事業者と協議を実施し同じ西新駅構内で返却拠点を設置する見通しが立ち返却拠点数を維持することができる見込みとなった。 新たな拠点の設置については検討中であるが、具体的な設置は進んでいないことからB評価とする。	B

外部評価 (令和4年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・西新駅での返却拠点については、もう少しスピードのある調整ができないか。地下鉄事業者と総合図書館は同じ市の組織である。返却拠点廃止の方向性が決定した時点で、地下鉄事業者に新しい設置場所の提案を求め、協議・設置を進めるべき。 ・福岡市の規模を考えると、返却拠点が少なすぎるのではないか。公民館や公共の施設などにも設置する方向を具体的に探りたいものである。 ・福岡市の人口は増え続けている。貸出返却拠点の新設は長年の課題であるが、いまだに検討の域にとどまっている。次年度こそ、予算の確保と課題解決の新たな一歩が望まれる。 ・回収する手間など考えることも多いが、返却⇒貸出のサイクルが早まる手段だと思うので、返却拠点設置はぜひ計画を進めてほしい。 ・交通の便の良いところに返却拠点が増設されると、延滞が少なくなると思われる。福岡市は人口が多く、一つの区でも中規模の市と同等の人口を有する。分館から遠い地域の公民館を分室扱い(人員配置も含む)にできると良いと思われる。 	A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	利用時間の見直し		
内容	休館日、開館時間の見直し				
事業計画	図書館分館ごとの市民ニーズ等に基づき、休館日と開館時間の見直しを検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	【休館日】 検討	段階的に実施			
	【開館時間】 検討	段階的に実施			
令和4年度					
計画	令和3年度実施できなかった市政アンケート及び利用者アンケートの結果、東図書館、早良南図書館での実施状況、成果を検証し、継続的に検討を行う。				
取組状況	市政アンケートを実施し、過去1年間に図書館を1回利用した市民、ならびに全く利用しなかった市民に対して利用しない理由を尋ねたところ、主な理由として「時間がない」(33.0%)、「本は購入して読みたい」(25.1%)が挙げたが、「利用したい時に開いていない」は6.6%にとどまった。また、図書館が実施した利用者アンケート調査(令和5年5月)の結果では、「開館時間及び休館日」についての評価は、満足度89.9%であった。東図書館と早良南図書館は他の分館よりも休館日を少なく、開館時間を長くし、運営を行っている。				
令和5年度					
計画	引き続き、利用者アンケートの結果、東図書館、早良南図書館での実施状況、成果を検証し、継続的に検討を行う。				
内部評価 (令和4年度)					
市政アンケートの結果、普段利用していない市民にとって、開館日や開館時間の見直しに対するニーズは高くないこと、また、図書館利用者アンケートの結果、満足度は高水準を維持していることが分かった。 ただ、市民ニーズに沿った開館時間の設定については、引き続き東図書館と早良南図書館の成果を検証し継続的な検討が必要なことからB評価とする。					B
外部評価 (令和4年度)					
<ul style="list-style-type: none"> 「開館日」「開館時間」等の見直しの議論を深めるには、図書館を利用していない市民へのアンケートを充実させる必要がある。 閉館時間について、市民の活動拠点に近い分館での、延長を検討していただきたい。 普段、利用していない市民が来館したくなるような図書館を目指すことが肝要なのではと思う。東図書館、早良南図書館での取り組みの成果をいかし、交通の便のよい分館をモデルケースとして利用時間延長を行い、館内レイアウトの見直しなども合わせて、利用者増に取り組んでみてはどうか。 引き続き、利用者・非利用者の声を聞き、週一回程度の特別開館の日時を設けてみてはどうか。 他館より、開館日・開館時間が多い東・早良南図書館の利用状況が好調であることから考えると、やはり開館日・開館時間と利用の関連は深いと思われる。 					A : 1 B : 3 C : 1 D : 0

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書館イベントの充実		
内容	図書館イベントの充実				
事業計画	子ども向けのおはなし会や体験講座、大人向けの講座など、幅広い層に向けて多様なイベントを実施し、これまで図書館を利用していなかった層への訴求や、参加者の満足度の向上を目指し、引き続き、読書の普及や図書館の活用促進を図ります。 また、市の関連部署と連携したイベント、総合図書館の映像資料部門や文書資料部門、各分館との連携による企画を実施していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
					
令和4年度					
計画	新型コロナウイルス感染症の状況や対策に十分に配慮しながらも、総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「こどもの読書週間」や「読書週間」などを中心に昨年実施できなかった事業をはじめとする読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを企画・実施する。絵本月間を12月に創設し、読書フォーラムを中心とした読書普及イベント等を実施する。				
取組状況	新型コロナウイルス感染症の状況や対策に十分配慮しながら「図書館マンス」の「図書館TRAVEL」をはじめ、「こどもの読書週間」でのイベント、おはなし会の開催、SDGsの関連本展示や起業・経営相談会など課題解決型支援を行った。また、中学生を対象としたSDGsに関するワークショップでは身近で具体的な社会課題を選び、図書館資料やタブレットを使って現状を調べ、解決策が提案された。高等学校ビブリオバトル福岡県大会では14校が参加して「読みたくなる本」の紹介が熱心に行われ会場が盛り上がった。コロナ影響下で関係各所の協力を得て、でき得る限りイベントの実施に努め、令和3年度よりもイベント開催が増加した。また、こども図書館での調べ学習に役立ててもらうため、図書館の利用の仕方を教える動画配信をYouTubeで行うなど、代替策の工夫に努めた。 12月に絵本月間を創設し、各館において、さまざまな「おはなし会」、絵本づくり、工作、絵本展示などを行い、読書行事には合計1,295名の参加があった。 ・読書行事等イベント 総合図書館・分館 778回 14,268人 (令和3年度 238回 4,151人) ・展示 総合図書館 130回 (令和3年度 135回)				
令和5年度					
計画	新型コロナウイルス感染症の状況や対策に十分に配慮しながらも、総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「絵本月間」、「こどもの読書週間」、「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを企画・実施する。				
内部評価 (令和4年度)					
新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、オンラインや動画配信も活用してできるだけイベントの実施に努め、読書活動の促進や情報発信に取り組むことができたが、当初の計画と比べて十分ではなかったことからB評価とする。					B
外部評価 (令和4年度)					
・取組内容は幅広く、YouTubeなどを活用して積極的に情報発信をしている。コロナ禍でも、イベントを充実させたい担当者の熱意がうかがえる。 ・さまざまなイベントが実施されたのはA評価に値すると思われるが、ヤングアダルト層へのアプローチが弱い気がする。 ・感染症の状況を見つつ対策をしながら、分散開催やオンライン開催、動画配信を活用するなど、工夫して取り組みを行っていることは評価できる。さらなる取り組みを求める。 ・様々な年代に合わせたイベント企画を評価させていただきます。 ・コロナ禍の中、よく取り組まれたと思う。					A : 2 B : 3 C : 0 D : 0

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	快適な空間づくり	
内容	快適な空間づくり			
事業計画	<p>やすらぎや交流の場といった、初めての来館者も過ごしやすい環境の創出など、大幅な館内レイアウトの変更について、施設設備の大規模更新による休館(6カ月程度)にあわせて行うこととし、長期保全計画に基づく設備更新を計画的に推進します。</p>			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	令和4年度			
計画	<p>引き続き、計画的に設備更新工事を実施する。 新型コロナウイルス感染症対策による全市的な工事の時期等の見直し指示等を踏まえ、更新工事の工程や工事期間中の館内体制等、工事実施時における課題を検討する。</p>			
取組状況	<p>長期保全計画に基づき映像ホールシネラ舞台機構吊物設備改修工事、地域熱供給熱交換器の洗浄整備を行った。 令和6年度の全館空調設備更新工事の工程や工事期間中の館内体制等、工事実施時における課題を検討した。</p>			
令和5年度				
計画	<p>引き続き、計画的に設備更新工事を行う。 令和6年度に実施する、休館を伴う全館空調設備更新工事に向けた実施設計を行い、休館が必要な範囲・期間、工事期間中の運営体制等について検討を行う。</p>			
内部評価 (令和4年度)				
<p>長期保全計画に基づき計画的に設備更新工事を実施できた。 令和6年度の全館空調設備更新工事の工程や工事期間中の館内体制等、工事実施時に向けた課題を検討し、令和5年度の設計に反映するための基本情報とすることができたためA評価とする。</p>			A	
外部評価 (令和4年度)				
<p>・計画通りに進んでいる。 ・新設、および改修図書館と比較して本館の老朽化は否みがたいが、設備保全についてはよく努力されている。それはそれとして気を配るべきポイントはあろうかと思われる。たとえば中庭はどうだろう。あの空間は生かされているだろうか。たとえばVHSが開架している空間は、図書館全体の中でどう解釈すべきか迷うところである。掲示物のレイアウトなども工夫がほしい。また動線の確保が検討されていないと感じる。 ・設備更新工事は計画に基いて実施されているが、館内レイアウトについてのトータルデザインや具体的な図面などは示されていないため、B評価とした。 ・各地域の図書館はスペースが狭いことから、展示や配置に工夫が必要だと思われる。見慣れてくるとそのままになりがちなので、定期的に外からの意見を取り入れてみては。 ・永く市民に親しまれるよう、今後も施設・設備の適切なメンテナンスを計画的に実施していただきたい。</p>			<p>A : 2 B : 3 C : 0 D : 0</p>	

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	資料収集の充実				
事業計画	公共図書館としての役割を発揮するため、前期で見直した図書資料の収集方針に沿って資料収集を行い、市民ニーズに応えるよう努めます。 また、電子書籍の取り扱いについて、業界や他都市の動向を踏まえて、検討を継続していきます。さらに、収集した資料を幅広く活用できる方策を検討していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	資料収集方針に沿った資料収集				
令和4年度					
計画	市民ニーズに対応しながら、総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行っていく。また、電子図書館のコンテンツ充実に努める。				
取組状況	公共図書館としての役割を発揮するため、総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行うとともに、市民ニーズに応えるよう、予約待ち人数の多い図書の複本購入等を実施した。 電子図書館については、本館・分館読書相談員全員で選書を行い、利用者ニーズの高いコンテンツの収集に努めた。(コンテンツ数:令和3年度末9,643点 ⇒ 令和4年度末10,852点)				
令和5年度					
計画	市民ニーズを測りながら、総合図書館及び分館の収集方針に沿って幅広く資料収集を行う。また、電子図書館の選書も本館・分館で分担して行い、バラエティに富んだコンテンツの充実に努める。				

内部評価 (令和4年度)

限られた予算の中で総合図書館及び分館の資料収集に努め、予約待ち人数が多く市民ニーズが高い図書の複本購入等も実施した。また、電子書籍については市民ニーズに応えるべく選書を進め、コンテンツを順調に増やしたことからA評価とする。	A
---	---

外部評価 (令和4年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに進んでいる。 ・電子書籍が徐々に充実してきたことは評価できよう。ただ、市民のニーズだけに応えるのがベースなのは絶対的なものか、検証が必要だろう。たとえば年鑑などの充実は図書館の使命であると思われる。 ・市民のニーズをはかりながら、資料収集が行われていることは評価できる。児童書に関してはニーズに合わせることも大切だが、長い間子どもたちに読み継がれてきた良書を本館にも分館にもそろえて手にとれるようにしておくことが大切である。⑫にも関連するが、モデル児童図書の収集が不十分と考える。 ・要望の高いものへの対応を評価させていただきます。季節ごとのイベントに関するものはいつも争奪戦なので、副本の購入のご検討を。 ・限られた予算の中で、努力されている。予算の増額を望む。 	A : 4 B : 1 C : 0 D : 0
--	----------------------------------

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	レファレンス(相談)サービスの充実				
事業計画	窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施するとともに、レファレンス情報のホームページでの提供を進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	レファレンスサービスの実施				
令和4年度					
計画	レファレンスについて、窓口での対面など従来の方法に加え、HPや電子メールなどデジタル化を進める。				
取組状況	<p>窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施し、令和4年度の主題別部門及び文書資料部門のレファレンス件数は合計で25,491件となった。</p> <p>利用者が来館しなくてもサービスが利用できるよう国立国会図書館のレファレンス協同データベースを活用して、当館のHP上でレファレンス事例を参照できるようにしている。HPの「テーマ資料」のタブには利用者の関心が高いSDGsや中高生向けなどのテーマについて、お勧めの図書を紹介した。なお、「テーマ資料」検索からは本の予約まで可能である。</p>				
令和5年度					
計画	HPにおけるレファレンス事例の周知を図るとともに、窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスの利用促進をより一層図っていく。				

内部評価 (令和4年度)	
ホームページでレファレンス事例を検索でき、またレファレンス自体も電子メールでやりとりを行うなど、レファレンスにおけるデジタル化の活用を図っていることからA評価とする。	A

外部評価 (令和4年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに進んでいる。 ・レファレンス業務は、今後とも図書館活動において重要なエレメントになると思われる。さまざまなルートを設定してあるものの、公共図書館におけるレファレンスの基本は対面ではないだろうか。そうした意味からも対面のレファレンス業務のさらなる充実が望まれる。「レファレンスだより」紙面を工夫していただきたい。 ・来館しなくてもレファレンスを利用できるようデジタル化の取り組みにより、件数が増加していることは評価できる。レファレンス担当の職員の専門性を高め、研鑽を積めるような取り組みが望まれる。 ・電話や窓口、ネットなど年齢や環境によって便利度が違う。そこに対応していることを評価させていただきます。 ・レファレンスサービスに代表される情報サービスは貸し出しと並んで図書館の基本的サービスである。特にファクトチェックの必要性が重視される現在、レファレンスを通して市民に貢献できるのではないだろうか。レファレンスサービスの存在をPRすることも必要である。 	<p>A : 4</p> <p>B : 1</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	課題解決型支援の充実				
事業計画	ビジネスや医療、子育て支援などの課題解決に対して、関係部局及び国・県等と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示や講演会、相談会等を行っていきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	医療・ビジネス・子育て支援等の情報提供				
令和4年度					
計画	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を行いながら、関係部局や関係機関等と協力して、医療、ビジネス、行政などの課題解決支援として、図書館資料を活用した情報提供や関連事業を実施する。				
取組状況	<p>ビジネス支援として、中小企業診断士による起業・経営相談会を開催し、相談件数が増加した。</p> <p>医療支援として、総合図書館、分館で九州がんセンターや済生会福岡総合病院から医師等を講師として招き講演会を実施した。</p> <p>電子図書館で、健康医療に関するコンテンツを提供するとともに、HPの「テーマ資料」検索を活用し、がん情報に関する本を紹介した。</p> <p>行政支援として、「SDGs」や「選挙と政治」、「世界水泳」などをテーマとして、市の関係部局と連携して展示を行い、関係の本の紹介やパンフレットの配布し、情報提供を行った。また、福岡法務局と連携して相続と遺言に関する展示を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業・経営相談会 総合図書館・分館 77回（令和3年度 23回）、相談36件（令和3年度 5件） ・医療に関する講演会 総合図書館・分館 2回 参加 52人（令和3年度 1回 参加 3人） 				
	令和5年度				
計画	医療、ビジネス、行政、国などの課題解決支援として、市の関係部局・機関および外部の機関等と連携して展示を行うなど、図書館資料を活用した情報提供や関連事業を実施する。				
内部評価（令和4年度）					
<p>新型コロナウイルスの感染状況が収束に向かいはじめたことに伴いがん講演会を実施することができ、起業・経営相談会の開催回数を増やすことができた。一方、行政支援として、SDGs等の関連書籍の展示やHPでの紹介とともに、電子図書館やHPのテーマ資料検索などデジタル化により健康医療関係の本を紹介した。福岡法務局と連携して展示を行うなど、積極的に取り組みを進めたことからA評価とする。</p>					A
外部評価（令和4年度）					
<p>・計画通りに進んでいる。外部連携などでの図書館職員の奮闘ぶりがうかがえる。利用者の声として、例えば「総合図書館への相談がきっかけで、起業することができました」のような事例公開があると、図書館利用者の獲得につながる。</p> <p>・新型コロナ感染症が蔓延していた昨年、一昨年との比較はあまり意味がないように思われるが、まずは実施されはじめたことは評価してよい。特に医療関係の講演会は意義深い試みであろうと思われる。</p> <p>・講演会がリアル開催できない時の手立て（リモート開催も併用するなど）が必要ではないかと考える。また、事業計画には「医療・ビジネス・子育て支援等の情報提供」とうたわれているが、報告には子育て支援への取り組みがひとつも上がっていない。</p> <p>・電子図書館などと組み合わせたの取り組みを評価させていただきます。</p>					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	団体貸出先の拡大				
事業計画	地域の読書活動の拠点である地域文庫や学校、高齢者福祉施設等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	団体貸出先の拡大				
令和4年度					
計画	登録団体数は、令和5年度目標の420団体を達成したが、公民館の登録は公民館全体の約半数であり、地域での貸出機会の拡大を目指し、さらに登録数の増加に向けた取り組みを進める。				
取組状況	読書活動ボランティア講座等の催事機会に団体貸出制度の案内を行うなどの取り組みを行い、団体貸出の登録団体は令和4年度末時点で454団体となり、令和3年度に比較して13団体増加した。このうち、公民館の登録は75館で4館増加し登録率52%、放課後児童クラブの登録は130か所で1か所増加し登録率94%となった。 また、登録団体に対し、新着本の紹介等を行い、貸出図書のさらなる利用の促進に努めたが、配本冊数は、令和4年度179,505冊(令和3年度183,980冊)で前年度より約2.4%減少した。				
令和5年度					
計画	令和5年度は460団体の登録を目標に、地域での貸出機会の拡大を目指し、公民館の登録数の増加に向けた取り組みを一層進める。				

内部評価 (令和4年度)

令和5年度目標の420団体登録を達成できたが、配本冊数は減少したことからB評価とする。	B
---	---

外部評価 (令和4年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画通りにできている。 ・地域に密着する公民館の登録が半数なのは改善すべきであろう。 ・団体登録数が増えていることは評価できる。 ・配本冊数増には魅力的な資料が必要であり、予算の確保を求める。 	A : 1 B : 4 C : 0 D : 0
--	----------------------------------

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	地域読書活動への支援				
事業計画	地域において読書活動を行っている団体の活動状況を調査してニーズを把握するとともに、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言や支援等を行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
令和4年度					
計画	地域における読書ボランティアの活動の支援及び公民館における子どもの読書活動の推進に重点的に取り組むため、公民館の運営を支援する部署などの関係各課と連携して、文庫活動の活性化を図るとともに、文庫間の交流については、コロナ影響下においても工夫に努め促進する。				
取組状況	<p>地域における読書ボランティアの主要な活動拠点となっている公民館や学校を訪問し、活動状況を確認し定期情報紙「子どもと本の日通信」や「学校図書館支援センターだより」、ホームページ等で発信するとともに、公民館の運営を支援する部署と連携し、団体貸出における公民館の登録数を令和3年度と比較し4団体増やし75団体とした。</p> <p>さらに、公民館では親子を対象にスタンダード文庫を活用した読み聞かせ講座を開催した。(24館、347人) また、地域文庫の活動拠点を掲載し配付していた地域文庫マップについて、各文庫の現在の活動状況等も紹介したものに改め、各文庫の相互交流に役立つものとした。</p>				
令和5年度					
計画	地域における読書ボランティアの活動の支援及び公民館における子どもの読書活動の推進に重点的に取り組むため、スタンダード文庫の地域住民への周知や公民館の運営を支援する部署と連携した公民館の団体貸出登録の促進に努める。				
内部評価 (令和4年度)					
地域読書活動に関する情報発信やスタンダード読み聞かせ講座の実施、文庫間交流の支援を進めるとともに、団体貸出を行う公民館の拡大が図れたことからA評価とする。					A
外部評価 (令和4年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに進んでおり、内容も十分である。 ・ほぼ計画通りであったためA評価とする。 ・公民館での、スタンダード文庫読み聞かせ講座の開催は評価できる。乳幼児とその保護者向けの講座は重要である。さらに、小学生の保護者向けの読み聞かせ講座が各区で開催されると本好きの家族が増えることが期待できると考える。また、読書ボランティア講座も総合図書館だけではなく、分館や公民館などでの開催の必要性も感じられる。 ・ボランティアに参加したい方への良い取り組みだと思う。 					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力		
内容	市関連施設の図書室の相互協力				
事業計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を実施するとともに、今後とも市関連施設との連携について検討していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	相互協力の実施				
令和4年度					
計画	議会図書室、科学館及びふくふくプラザ各図書室との相互協力を継続し、議員や職員、市民への周知を図る。				
取組状況	市議会議員及び行政職員の調べもの支援のため、議会図書室を通じて図書資料の貸出を実施した。また、福岡市科学館のサイエンスナビ(図書室)において、図書資料の貸出・返却を実施するとともに、ふくふくプラザでは図書資料の返却を実施した(福祉図書・情報室窓口での返却受付、施設入口に返却ポスト設置)。各施設においては、相互に利用周知を図った。				
令和5年度					
計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザ各図書室との相互協力を継続するとともに、議員や職員、市民への周知を図る。				

内部評価 (令和4年度)	
議会図書室、科学館及びふくふくプラザ各図書室との相互協力を行い、市関連施設との連携を継続実施できたが、利用周知はまだ十分とは言えないことからB評価とする。	B

外部評価 (令和4年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画通りに進んでいる。 ・実施状況が外部には見えにくい運営業務であるが、内部評価自体も過去3年間B評価というのは対策が不十分なのではないか。 ・市の関連施設との相互協力が行われているように見受けられず、周知が十分ではないと考える。 ・催しに合った図書の特別貸出期間が合っても良いと思う。 	A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	モデル児童図書リストの配布				
事業計画	子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作成・配布				
令和4年度					
計画	令和4年度版のモデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園、小学校、公民館等)へ配付するとともに、「司書が選ぶ100冊の絵本」に掲載されている図書と併せて、こども図書館で展示を行い、貸出を促進する。				
取組状況	<p>モデル児童図書リストに掲載した図書の企画展示を行うとともに、モデル児童図書リスト(前年の受入図書の中から選定した本)を配付(約3,800部)し、カウンターでのレファレンスのツールとしても有効に活用した。</p> <p>また、令和3年度作成の「司書が選ぶ100冊の絵本」及び従来のモデル児童図書目録(S62年～H27年作成)に掲載された図書をできるだけ常設で展示し、貸出を行った。</p> <p>[参考]令和4年度モデル児童図書リスト掲載図書の、年間1冊当たりの貸出回数の平均</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児用133回 ・小学1・2年用100回 ・小学3・4年用62回 ・小学5・6年用28回 				
令和5年度					
計画	令和5年度版のモデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園、小学校、公民館等)へ配付するとともに、「司書が選ぶ100冊の絵本」に掲載されている図書と併せて、こども図書館での常設展示や12月の絵本月間期間中の集中広報などを行い貸出を促進する。				

内部評価 (令和4年度)	
モデル児童図書リストの配付、モデル児童図書の展示、紹介等を計画通り行い、掲載図書の貸出を促進することができたことからA評価とする。	A

外部評価 (令和4年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに進んでいる。多様な社会の実現にむけて、長期的には外国人の子供への配慮(外国語の本のリスト)も必要になるだろう。 ・児童への働きかけとしては十分評価できる。 ・モデル児童図書リストの作成、配布は評価できる。⑥に関連するが、モデル児童図書を選定しても手にとることができなければと思う。モデル児童図書の本のうち、半数が蔵書数一桁だった。高学年リストでは、1冊のみ蔵書の本が3タイトルある。蔵書を増やし、周知に努めてほしい。 	<p>A : 5</p> <p>B : 0</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む 図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	子どもの貸出カード作成推進				
事業計画	図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの作成を推進することにより、読書の普及等を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討, 協議	実施			
令和4年度					
計画	図書館催事や講座、団体貸出、学校訪問等の機会を捉え、図書館の貸出カードの作成を促す声かけに努める。毎年実施している小学生読書リーダー養成講座は、令和4年度においても動画等の資料により、「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した実施を各小学校に依頼することとし、その際に併せて貸出カードの作成案内を行う。				
取組状況	徐々に再開された小学生の図書館見学や、各小学校に実施を依頼している動画等の資料による「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した、小学生読書リーダー養成講座(45校1,192名が参加)等において、貸出カードの作成案内を行った。また、学校図書館支援センターによる学校図書館訪問時に、図書館の利用案内とともに貸出カードの作成案内を行った。				
令和5年度					
計画	図書館催事や講座、団体貸出、学校訪問等の機会を捉え、図書館の貸出カードの作成を促す声かけに努める。特に、小学生読書リーダー養成講座は「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した各小学校での実施により受講者数の増加が期待でき、その際に併せて貸出カードの作成案内を行う。				

内部評価 (令和4年度)	
新型コロナウイルス感染症対策により、積極的な推進はできなかったが、小学生読書リーダー養成講座の小学校での実施などの機会を捉えて、貸出カードの作成案内に努めたことからB評価とする。	B

外部評価 (令和4年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画通りに進んでいる。 ・昨年の内部評価と文言がほとんど変わらず、改善が見られない。具体的な数値目標が必要なのではないか。 ・分館と連携し、地域の読書ボランティアの協力も得て、取り組むことが必要ではないかと思う。 ・学校の図書が充実していると進めづらいとは思いますが、新しい図書の発見は必要なことなので、ぜひ進めてほしい。 	A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化			
事業計画	広報やイベントを充実させるとともに、中高生に訴求する資料収集を進めます。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
令和4年度				
計画	電子図書館を活用しヤングアダルト向けに図書の紹介を行うとともに、ヤングアダルト層を対象とするイベントを実施し、図書館の利用促進につなげる。			
取組状況	<p>ヤングアダルト向けの図書の収集やお勧め本リストの配布など従来の方法に加え、電子図書館を活用し、ヤングアダルト向けの特集を組みコンテンツを提供した。また、HPの「テーマ資料」検索において関連書籍を紹介した。</p> <p>また、高等学校ビブリオバトル福岡県大会には14校が参加して、高校生が知的書評合戦を熱く繰り広げ盛況となった。</p> <p>さらに、大学の学生団体との共催で、中学生を対象としたSDGsに関するワークショップを開催し、図書資料を活用して中学生が課題に取り組んだ。</p>			
令和5年度				
計画	ヤングアダルト向けに電子図書館等を活用して図書の紹介を行うとともに、ヤングアダルト層を対象とするイベントを実施し、図書館の利用促進につなげる。			

内部評価 (令和4年度)

電子図書館によるヤングアダルト向けのコンテンツの提供や高等学校ビブリオバトル福岡県大会の開催、中学生向けのワークショップの開催など様々な方法で読書活動の促進や情報提供に取り組んでいるが、中高生の図書カードの登録者増につながっていないことからB評価とする。	B
---	---

外部評価 (令和4年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りで、内容も十分である。内部評価の「中高生の図書カードの登録者増につながっていないことからB評価とする」については、図書カードの利用登録者の獲得には別のしかけが必要だろう。 ・結局のところ、読書好きの中高生対象にとどまり、広い文化資源の宝庫としての図書館の存在をアピールすることができていないのではないかと。ビブリオバトルの運営についても改善の余地がある。 ・ヤングアダルト層をターゲットにした様々な取り組みをしていることは評価できるが、一部の読書好きの中高生向けイベントの感が否めないと思われる。もっと、広くアピールできる取り組みが求められる。 ・ヤングアダルト層は電子のほうが取り組みやすいと思われる。中学生は全市一斉でタブレットを貸与、高校の多くはタブレット購入で入学。授業でも活用している電子コンテンツに絞っても良いのでは。 ・登録者増につながっていないのは残念だが、大変よく取り組んでおられる。気長に取り組んでもらいたい。小学生読書リーダー養成講座受講経験のある中学生・高校生対象にボランティアを募り、ヤングアダルト向けの各種取り組みに協力してもらうことはできないか。 	<p>A : 2</p> <p>B : 3</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>
---	---

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	読書活動ボランティア講座の強化				
事業計画	読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	読み聞かせ講座の実施				
	ストーリーテリング講座・おさらい会の実施				
令和4年度					
計画	令和4年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコースを実施する。講座受講修了者には、地域文庫MAPを配布し、地域活動への参加につなげる。				
取組状況	令和4年5月～6月に絵本の読み聞かせコース(4日間、定員40名)、9月～11月にストーリーテリングコース(4日間、定員40名)を実施し、延べ273名の参加があった。講座受講者には、福岡市内で活動している文庫団体の活動拠点及び活動状況を掲載した地域文庫MAPを配布し情報提供を行った。なお、地域文庫マップについて、従来の活動拠点のみの掲載に加え各文庫の現在の活動状況等を紹介し、ボランティア希望者と文庫のつなぎ、各文庫の相互交流に役立つものとした。				
令和5年度					
計画	令和5年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコース、2月にスキルアップコース(新設)を実施する。講座受講修了者には、地域文庫MAPを配布し、地域活動への参加につなげる。				

内部評価 (令和4年度)	
令和4年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコースを実施し、講座受講修了者には、内容を充実した地域文庫MAPを配布したことからA評価とする。	A

外部評価 (令和4年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに進んでおり、内容も十分である。 ・計画がほぼ実施されたと思う。 ・絵本の読み聞かせコース、ストーリーテリングコースともに充実の内容で高評価である。継続してほしい。 ・ボランティア活動したい方にとっても、充実した内容の取り組みだと思う。 	<p>A : 5</p> <p>B : 0</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	学校図書館への支援		
内容	学校図書館支援センターの充実				
事業計画	<p>前期での成果を踏まえ、総合図書館内に設置した学校図書館支援センターにおいて、市立小・中・特別支援学校の学校図書館への人的・物的支援を行い、学校司書の活動をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 ・学習支援用図書の貸出、学校司書への支援 				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公共図書館司書の専門性を生かした学校図書館への支援				
	学習支援図書の貸出				
	学校図書館の活用・運営に係る情報収集と提供				
令和4年度					
計画	<p>学校現場の意向、要望に沿った支援をすすめると共に、学校図書館支援センター事業の認知、周知に努める。また、新設校の計画段階からの助言や、読書に困難がある児童・生徒のため、マルチメディアDAISY等の貸出資料の貸出を進めるなど事業の充実を図る。</p>				
取組状況	<p>令和4年度は85回の訪問を実施した。小学生用の学習支援用図書貸出については、62校から162回の利用があり6,434冊の貸出を行った。中学生用の学習支援用図書貸出については、2校から2回の利用があり、55冊の貸出を行った。</p> <p>市内小学校5・6年生を対象に「小学生読書リーダー」に認定する「小学生読書リーダー養成講座」について、学校と連携し「福岡TSUNAGARU Cloud」により動画等の資料を配信し、45校で実施があり、受講者1,192名全員を認定した。</p> <p>特別支援学校については、おはなし会やブックトークの実演、選書や配架の工夫、新設校の初期購入図書の選書など、具体的な支援を行った。また、特別支援学校高等部の卒業生を対象に図書館利用案内を作成し配付した。</p> <p>マルチメディアDAISYは、点字絵本やLLブック等も含め「たっちるつくセット」として小学校1校に貸出を行った。</p>				
令和5年度					
計画	<p>学校現場の意向、要望に沿った支援及び定期的な支援をすすめると共に、学校司書未配置校の支援、新任司書への研修支援、新設校の計画段階からの助言、読書に困難がある児童・生徒のための資料の貸出を進めるなど事業の充実を図る。</p>				

内部評価 (令和4年度)	
<p>中学校向け支援の利用は少ないが、小学校向け支援については貸出利用や、相談、要請訪問、計画訪問など年度を通して実施した。特別支援学校向け支援については各校の状況に応じた支援に努めた。全般的に事業の認知と活用が進むとともに新設校などの学校図書館整備への助言や初期購入図書の選書も行ったことからA評価とする。</p>	A

外部評価 (令和4年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りで、内容も十分である。 ・昨年度と比較して、学習支援図書の貸出が若干減少している(新型コロナ感染症の影響もあろう)。中学校への支援が改善されてもいように見受けられる。 ・小学校、特に特別支援学級への支援、周知が進んでいることは評価できる。学校司書の配置が不十分(5校にひとり)なことが、図書館の支援の効果を限定的にしている残念である。 ・デイジーの取り組みは徐々に広がっているように思われる。また支援学校への取り組みも評価できる。 ・支援活動はよく取り組まれている。図書館で解決できる問題ではないが、学校司書一人で5校担当している、学校司書としての機能は果たせない。担当校数を減らす働きかけを望む。 	<p>A : 5</p> <p>B : 0</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の充実		
内容	図書館外施設での映像資料上映事業				
事業計画	収集した映像資料についてさまざまな手法を用いて市民等に提供することで、効果的な図書館の映画保存事業のアピールを行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	手法検討	上映事業の実施			
令和4年度					
計画	11館の公民館において上映会を予定(4月1日現在)しているが、他の公民館についても利用を打診するなど、上映会の開催数を増やしていく。 過去のアジアフォーカス・福岡国際映画祭観客賞受賞作品を中心に、2作品程度選定して、著作権処理、ブルーレイディスク制作を行い、上映可能作品を増やしていく。				
取組状況	年度当初までに申し込みがあっていた11館の公民館と上映会の日時や上映作品について協議・調整を行うとともに、事業の周知・PRに努めた結果、追加での上映希望があり、令和4年度は、17館で、のべ18回の上映会を開催し、のべ424人の市民の参加があった。 また、アジア映画のブルーレイディスクを3作品制作し、上映会に活用できる作品を10作品とするなど、事業の充実に務めた。				
令和5年度					
計画	これまで希望がなかった博多区、城南区も含め全ての区の公民館29館で上映会を開催する。 上映会に活用する作品を2作品程度選定し、ブルーレイディスク制作を行い、上映可能作品を増やしていく。				

内部評価 (令和4年度)	
<p>事業の周知・PRに務めた結果、当初予定の11館から、17館の公民館で、のべ18回上映会を開催することができ、より多くの市民にアジア映画に触れる機会を提供することができた。 著作権者との交渉を進めるとともに、映像事業に関する寄付を確保するなどした結果、3作品ブルーレイディスクを制作し、上映可能作品のラインナップを増やすことができた。 観覧者のアンケートでも、総合図書館は行ったことがないと回答された方が多く、身近な公民館で見れてよかったという意見、アジアの映画は見たことがなかったが、共感したといった意見もあり、総合図書館での上映に比べ、幅広い層の方楽しんでいただけたことが伺える。 以上のことからA評価とする。</p>	A

外部評価 (令和4年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに進んでおり、内容も十分である。 ・徐々に裾野が拡大しているのが見られ、さらなる充実が期待される。 ・幅広く市民に映像資料を提供できる貴重な機会であり、計画が進んでいることは高評価である。さらに、親子で楽しめるような作品の上映が望まれる。 ・いつも利用する場所でのイベントは喜ばれると思う。広がってほしい取り組み。 ・公民館での上映会は良い取り組みだと思う。公民館自体のPRにもなり、制作国に関連した図書が公民館で展示などすれば、図書利用にもつながるのではないか。 	<p>A : 5 B : 0 C : 0 D : 0</p>

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の充実		
内容	資料展示事業				
事業計画	<p>展示事業をシネラの広報に限定せず、アジア映画のポスター展を中心に多様な展示を計画し、映像文化の普及・振興、市民サービスの促進を行います。場所はビデオライブラリーを使った展示空間の新設を検討します。</p>				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	令和4年度				
計画	<p>映像資料展示については、定例の上映映画ポスター展示に加え、映像ホール・シネラ内も使ったポスター展示、ビデオライブラリー内でのスチール写真展示、9.5mmパテベビー誕生100年を記念した映写機器の展示を行う。 展示空間の新設については、引き続き検討を進める。</p>				
取組状況	<p>映像資料展示については、エントランスにおいて、毎月の上映企画に沿ったポスター展示を実施するとともに、映像ホール内において、「アジア映画を観る一追悼 佐藤忠男」(11月)関連のポスター展示を行った。 また、9.5mmパテベビー誕生100年を記念して、シネラ内において、映写機、カメラ、フィルムの展示を6月～12月に実施した。 新たな展示エリアの検討に関しては、設備改修との調整など必要となる館内協議を進めた。</p>				
令和5年度					
計画	<p>上映企画に合わせたショーケース展示として、「安住の地を求めて」(4月)、「映画の中の食卓」(5月)のポスター展示を実施する。また、シネラエントランスでの上映企画に合わせたポスター展示を毎月実施していく。 新たな展示エリアの検討に関して、設備改修との調整を進めていく。</p>				
内部評価 (令和4年度)					
<p>「アジア映画を観る一追悼 佐藤忠男」(11月)では、企画上映に加え、ポスター展示、小冊子の作成など特に力を入れた内容となり、観覧(来場)者からの評価も高いものとなった。パテベビーの展示についても、12月25日に上映会へ発展させることができた。 展示空間の新設については、館内での調整にとどまった。 以上のことから、B評価とする。</p>					B
外部評価 (令和4年度)					
<p>・概ね計画通りに進んでいる。 ・展示空間は明らかに時代遅れである。抜本的な改修が望まれる。 ・展示空間のリニューアルのための予算を確保してほしい。 ・館外上映に併せてミニ資料展示も行ってみたい。</p>					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の充実		
内容	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実				
事業計画	文書資料(歴史的公文書・行政資料・古文書資料・郷土資料)のデジタルデータ化・活用を進めるとともに、文学情報提供システムを拡張することにより、文書資料の情報提供システムを構築し、文書資料への理解と利用の促進を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	デジタルデータ化・活用の推進				
	デジタルデータの作成・蓄積, ホームページ掲載・展示・市民提供等				
	文書資料情報提供システムの構築(文学情報提供システムの拡張)				
検討	システムの拡張・情報提供				
令和4年度					
計画	<p>広報紙「古文書だより」第2号の刊行とホームページへの掲載。 ホームページ「コレクション紹介」に古文書資料収蔵品を追加掲載。 古文書資料収蔵品データベースに、新たに整理・保存が終了した資料の目録データを掲載する。また、過去に発行した紙製本の目録に掲載したデータのうち、データベース未搭載のものを順次公開する。 昭和56年の開業から40年が経過し、また来年3月には七隈線天神南一博多間の延伸事業が完成する機会を捉え、「福岡市地下鉄の歩み」をテーマに歴史的公文書等の展示を実施する。</p>				
取組状況	<p>古文書資料に関する情報発信を目的とした「古文書だより」第2号を配布したほか、ホームページにも掲載した。 ホームページの「コレクション紹介」に3点の古文書資料を掲載した。 新たに収蔵した明治4年の山笠写真に関するパネル展示を行い、ホームページのデジタルアーカイブに追加した。 「古文書資料収蔵品データベース」に新たに3846点のデータをアップした。 開業から40年、七隈線天神南一博多間の延伸事業の完成に合わせて「福岡市地下鉄のあゆみ」展を開催、展示概要のしおりを配布したほか、ホームページにも掲載した。</p>				
令和5年度					
計画	<p>広報紙「古文書だより」第3号の刊行を行うとともに、ホームページ「コレクション紹介」及び古文書資料収蔵品データベースの更なる充実を図る。 世界水泳選手権2023福岡大会に合わせて、福岡のプールに関する歴史的公文書等の展示を実施する。</p>				

内部評価 (令和4年度)	
<p>古文書資料については、古文書資料収蔵品データベースへの目録データの追加掲載、古文書だより第2号の発刊、コレクション紹介への追加掲載など、昨年度に引き続き、更に内容の充実を図ることができた。また、古文書の山笠写真のパネル展示、公文書の福岡市地下鉄のあゆみ展については、記者投げ込みを行った結果、マスコミの取材があり、当館の文書資料について多くの市民等にアピールすることができた。 一方、資料のデジタルデータ化とその提供については、資料の保存と活用という両面から、今後とも調査・研究、検討を進めていく必要がある。 以上のことから、B評価とする。</p>	B

外部評価 (令和4年度)	
<p>・概ね計画通りに進んでいる。マスコミを活用した告知など積極的な姿勢がうかがえる。 ・「福岡市地下鉄の歩み」展はよい企画であった。しかしながら、展示するエリアについての検討が必要ではないか。せつかくよい企画があっても市民にどう見せるかの工夫がなされてもよい。 ・「古文書だより」刊行など、文書資料への理解と利用促進の取り組みは評価できる。資料のデジタルデータ化については予算を確保し、提供のあり方の検討を引き続き進めてほしい。 ・資料へのアクセス面や劣化の面からも、デジタルデータ化への検討はぜひ進めてほしい。</p>	A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の充実	
内容	文学館の利用拡大			
事業計画	市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、事業の充実及び情報提供の強化による利用拡大を図ります。また、インターネットによる福岡ゆかりの文学情報提供システムを新たに構築します。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	総合図書館HP等での情報提供の充実			
	企画展、常設展、文学講座等の情報提供の充実			
	企画展の開催、広報強化			
	企画展開催・報道機関等による広報強化			
	福岡ゆかりの文学情報提供システムの構築			
	構築	情報提供		
令和4年度				
計画	文学館事業として以下の事業を実施する。 企画展図録「ミステリーの女王 夏樹静子と福岡」のコンテンツをもとに写真展・パネル展の実施を検討 新テーマによる企画展示を福岡市文学振興事業実行委員会に諮り、実現を目指す。 常設展示「映画化された小説」を会期中展示替えを実施して開設 ももちはま草紙、読書講座等の文学講座を感染予防を徹底して実施し、文学館の認知度アップを図る。			
取組状況	夏樹静子分を含め過年度企画展図録の普及を継続した。 令和4年度企画展として「まなざしと記憶—宇野浩二の文学風景」を総合図書館1階ギャラリーにて開催するとともに、関連イベントとして宇野撮影の写真展「西海旅日記」、宇野研究者による関連講座2回、学芸員によるギャラリートークを実施した。 感染予防を徹底し、定例文学講座90回「山笠を昇く/書く—元博多っ子記者、大いに語る」を3年ぶりの祭りの開催に合わせて街歩きとともに実施した。 常設展示として、「映画化された小説」を会期中展示替えをして開設し、関連講座として、「三島由紀夫と映画」を「第5回三島由紀夫とアダプテーション研究会」との共催でオンライン開催した。			
令和5年度				
計画	福岡市文学館企画展については、これからの企画内容や実施方法などを含め、福岡市文学振興事業実行委員会に意見を諮りながら進めていく。 常設展示として、(上半期)「風よ—作品・書簡からみた伊藤野枝(仮)」、(下半期)「成層圏の時代—竹下しづの女と龍骨(仮)」および関連講座を実施する。 また、コロナ禍で停滞していた大学等外部機関、組織との連携事業を充実させ、文学館の認知度アップを図る。			
内部評価 (令和4年度)				
<p>コロナによる行動制限等の影響が残っている中でも、感染対策を講じながら企画展を実施し、関連講座なども含め、のべ3,816名の参加、観覧があった。</p> <p>常設展「映画化された小説」においては、延べ8,934名が観覧した。</p> <p>また、常設展示関連講座として、三島由紀夫とアダプテーション研究会との共催による「三島由紀夫と映画」をオンラインにより開催するなど、コロナ禍に対応した方法も実践した。</p> <p>さらに、例年実施されているミュージアムウィーク2022にも参加し、来場者増に努めた。</p> <p>過年度企画展のコンテンツ活用については不十分であったが、コロナ制限下でも様々な工夫をして事業を実施したことから、B評価とする。</p>				B
外部評価 (令和4年度)				
<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画通りに進んでいる。 ・せっかくの企画だったが、展示のインパクトが弱いように思う。マスコミ等への投げ込みに力を入れたいものである。 ・文学が好きで精通している市民のための展示だけではなく、これから親しむ若い世代でも楽しめるような展示も行ってほしい。 ・ぜひ継続して行ってほしい。 				A : 2 B : 3 C : 0 D : 0

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	運営方法の検討				
事業計画	現在指定管理制度を導入している総合図書館および東図書館の成果を検証し、図書館の運営方法を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総合(建物管理のみ)、東(運営)				
	早良南(仮称)				
令和4年度					
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを実施し、適切な運営に反映するよう努める。				
取組状況	<p>総合図書館、東図書館、早良南図書館ともに、定期的なモニタリングを実施し、適切な運営に反映するよう努めた。</p> <p>また、指定管理者の提案による様々な事業やイベントでもアンケート等による満足度を調査し、指定管理者による企画や取り組みが利用者にとどのように評価されているか、また利用に関する数値はどのように推移しているかなど、客観的な視点での検証も行った。</p>				
令和5年度					
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを引き続き実施し、必要に応じて協議するなど、満足度の高い、適切な運営に反映するよう努める。				
内部評価 (令和4年度)					
<p>各指定管理者の事業報告やモニタリング等を基に検証したところ、総合図書館、東図書館、早良南図書館の各々の指定管理者が、一定の管理運営経験と実績を有していることもあり、安定的な管理運営で、利用者満足度も高く、適正な運営ができた。</p> <p>計画どおり進められたことからA評価とする。</p>					A
外部評価 (令和4年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに進んでおり、内容も十分である。 ・指定管理制度のよい面が生かされており、モニタリングを的確に継続していけば、よい事例となるのではないと思われる。 ・今後も定期的に調査や見直しを行い、慎重に取り組んでほしい。 ・利用者の声など、外からの意見を積極的に聞いてほしい。 					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	図書館ボランティアとの共働の推進				
事業計画	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため図書館ボランティアとの共働を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	活動内容の追加・実施				
令和4年度					
計画	新型コロナウイルス感染症の影響で、新規ボランティアの受け入れは困難。既に登録しているボランティアを継続して受入れ、図書館ボランティアとの共働を進める。(令和4年4月1日時点登録者数63名)				
取組状況	新規ボランティアの募集は行わなかったが、活動実績は2,208時間と前年度(1,564時間)から大きく伸びた。活動内容は「図書資料の修復」が1,722時間(78%)で最多、次いで「郷土・特別資料室に関する作業」が214時間(9%)となっている。				
令和5年度					
計画	ボランティア活動機会の増加を図るため、活動範囲の拡大について検討する。				
内部評価 (令和4年度)					
コロナ禍で新規ボランティア募集を抑制している中で、登録者数に対して活動時間は過不足ない状態であるが、コロナ前と比較すると活動時間は減少していることからB評価とする。(令和元年度2,542時間)					B
外部評価 (令和4年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画通りに進んでいる。 ・図書資料の修復は分かりやすいボランティア活動であるが、市民との協働という意味では、他にさまざまあるのではないか。 ・本の修理などの他にも、図書館とボランティアが協働できる場はあると思う。他の図書館の調査を行い、検討してほしい。 ・これから活動が活発になることを期待。 					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	職員の育成及び技術向上				
事業計画	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。また、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施し、研修成果の情報共有を図ることで、図書館サービスの向上と充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	研修等の強化(分館での研修の充実)				
令和4年度					
計画	<p>全体研修については、福岡市職員、図書館職員としての基本となる研修のほか、防災研修など年間を通して計画的に実施していく。</p> <p>専門研修については、令和4年度以降も会場集合形式で開催されるものに加えて、インターネットを介したオンラインによるもの、または併用によるものなど様々な開催形式が考えられるため、有効に活用して積極的に参加し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。</p>				
取組状況	<p>全体研修については、公務員倫理、人権、情報セキュリティ研修等の実施や、避難訓練等の防災研修などを実施した。</p> <p>専門研修については、文化庁の著作権に関する研修や県立図書館のレファレンス、資料整理保存などのテーマ別研修に随時派遣するとともに、オンラインによる講習等の受講を奨励し専門知識の習得に努めた。</p>				
令和5年度					
計画	<p>全体研修については、福岡市職員、図書館職員としての基本となる研修のほか、防災研修など年間を通して計画的に実施していく。</p> <p>専門研修については、令和5年度も会場集合形式で開催されるもの、オンラインによるもの、併用によるものなど多様な開催形式が想定されるため、有効に活用して積極的に参加し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。</p>				
内部評価 (令和4年度)					
<p>予定した研修や最近、問題化している情報セキュリティについての研修を実施することができた。また、参加可能な範囲で専門研修への派遣を行ったことからB評価とする。</p>					B
外部評価 (令和4年度)					
<p>・概ね計画通りに進んでいる。今後は研修会の内容、参加者数などの詳細を記載してほしい。</p> <p>・全体的な研修はそれなりになされており、評価できる。専門性向上のために、職員自らテーマを設定するなどのシステムを構築することも検討すべきか。</p> <p>・レファレンス担当や児童担当など、高い専門性が求められる部署については職員の配置の配慮(配置換えを頻繁にしないなど)や研修の充実を予算確保の上、行ってほしい。</p> <p>・国立教育政策研究所社会教育実践研究センター主催の図書館司書専門講座や日本図書館協会主催の児童図書館員養成専門講座などへ職員(会計年度任用職員も含む)参加させてはどうか。</p>					<p>A : 2</p> <p>B : 3</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	施設の有効活用などによる財源確保				
事業計画	駐車場収入による財源確保に努めるとともに、寄付金収入等の増額方法について検討します。 また、デジタルサイネージや施設広告、施設の目的外利用等について、新たな収入確保を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	駐車場収入による財源確保				
	新たな他財源	その他財源の確保			
令和4年度					
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、その他財源確保における手法等について検討する。				
取組状況	駐車場の運営について、駐車場用地の土地貸付収入等により、約370万円の歳入があった。 また、他都市等へも積極的なPRを行ったため、映画フィルム貸与料で約80万円の歳入があった。 このほか、ふくおか応援寄附が約400万円寄せられた。				
令和5年度					
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、その他財源確保における手法等について検討する。				
内部評価 (令和4年度)					
駐車場運営では前年度と差はほとんど出なかったものの、前年と比較して、映画フィルム貸与料で約70万円増、寄付金は約250万円増となった。 前年に比べて歳入額は増加したが、新たな財源の確保、その手法等については、引き続き検討が必要なため、B評価とする。					B
外部評価 (令和4年度)					
・概ね計画通りに進んでいる。新たな財源として、クラウドファンディングなども検討してはどうか。 ・財源の確保は急務である。単なる寄付を考えるのではなく、フレンドシップ制度などの導入など検討する必要があるのではないかと。図書館利用に際してのプライオリティの設定、神社などにある顕彰なども考えてよいだろう。 ・駐車場運営など、取り組みは評価できる。福岡市の人口は増え続けている。文化政策として、図書館の予算の増額が求められる。					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	情報発信の推進		
内容	情報発信の推進				
事業計画	引き続き、インターネット等を活用した情報発信に努めるとともに、新聞やミニコミ誌などのメディアへの働きかけを進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討	実施			
令和4年度					
計画	効率的で効果的な広報を目指し、ホームページおよびSNSの運用方法の見直しを含めた改善策を探りながら、情報発信を行う。				
取組状況	<p>図書館の開館情報やイベント情報等をホームページやSNSを通して発信した。また、パブリシティによる情報発信にも努めた(報道機関への資料提供数6件に対し報道又は掲載件数45件)。</p> <p>ツイッターは前年度よりも投稿回数を伸ばし526回でインプレッション数は612,394、また、フェイスブック241回でインプレッション数は18,423となっている。</p> <p>媒体ごとの登録者数は、フェイスブック426人、ツイッター2,319人、メルマガ589人と増加した。(昨年度フェイスブック298人、ツイッター1,298人、メルマガ512人)</p> <p>他施設と連携した広報を行う足がかりとして、市の文化施設の広報と面談し情報交換などを行った。</p>				
令和5年度					
計画	効率的で効果的な広報を目指し、ホームページおよびSNSの運用方法の見直しを含めた改善策を探りながら、情報発信を行う。また、市の文化施設を中心に、展示やイベントの連携を積極的に行い、情報の共有や拡散を行う。				
内部評価 (令和4年度)					
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、制限が無い形でイベントなどが十分に実施できなかったことから、報道機関などへの資料提供は微増(5件→6件)にとどまったが、SNSによるメルマガ配信のお知らせや開館情報の発信、メディア取材時の相手方SNSを通じた広報依頼など、新たな形での情報発信を行った。SNSでの登録者も増えてきていることからA評価とする。</p>					A
外部評価 (令和4年度)					
<p>・計画通り進んでおり、内容も十分。フェイスブックでの「いいね件数」は少ないが、SNSは継続した情報発信が重要。</p> <p>・HPなどの運用については丁寧に、且つこまめになされており、評価に値する。イベントなどの発信をマスコミ等を利用して行っているのが具体的に見えないくらいがある。</p> <p>・様々な方法で情報を発信されており、評価できる。他の施設との連携に取り組んでほしい。</p> <p>・市関係施設のSNSとの連携(リポスト)などが必要だが、適度な情報量というのも重要だと思う。</p>					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0